



TITLE:

和漢書分類目録:第3冊:工學 著者  
名索引(著者名索引)

AUTHOR(S):

京都帝國大學附屬圖書館

---

CITATION:

京都帝國大學附屬圖書館. 和漢書分類目録:第3冊:工學 著者名索引.  
1941

ISSUE DATE:

1941-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/200821>

RIGHT:

Title	第3冊: 工學 著者名索引 : 和漢書分類目録( 著者名索引 )
Author(s)	京都帝國大學附屬圖書館
Citation	. (1941)
Issue Date	1941-09-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/200821">http://hdl.handle.net/2433/200821</a>
Right	
Type	Book
Textversion	publisher

昭和十六年九月

京都帝國大學  
和漢圖書分類目錄

(著者索引)

第三冊  
工學

京都帝國大學附屬圖書館

著  
者  
索  
引





アカーアサ

赤井左一郎	三六	明石三郎兵衛尉 兵道記	三〇	秋保安治 工業概論	一	アグネ工學社 金屬	一八
香料製造化學(共)	三六	明石町下水道略誌	全	秋岡武次郎 地圖學史	一五	淺井郁太郎 工業礦物	一六三
赤井恒嘉 極秘六角雛形	三七三	明石東次郎 火藥類通覽(共編)	二四四	秋月源太郎 機械製作法(共) 仕上工作法	二〇二 二〇一	淺井榮資 航海圖表	二九五
赤井東海	三三	明石博高 防雷鍼略説	二三	秋田鑛山専門學校 秋田鑛山専門學校學術報告	一四八	淺尾莊一郎 光電管 ブラウン管並電子顯微鏡論	一〇・一四四 一一四・一四三・一四五
赤井巖三議 海防論	三三・三五	赤野正信 交流理論(共)	二三	秋田市役所 秋田市水道誌	八	安積重信 禦戎策	三三
赤木正雄 溪流及砂防工學	四〇・六	赤松則陽 海防辨	三二・三五	秋野榮之助 自動車の知識(共)	一〇三	安積貞 精校海國兵談	三三
赤澤政五郎 火力發電所(共)	一一〇・一二四	赤松正水 鉛蓄電池に對する有機物質の 影響に就て(共)	一〇六・一〇八	秋間保郎 テレウオジョンとトーカー の研究(共)	一四	朝川晋四郎 刪定紀効新書秘解	三四
赤司繁太郎 兵語辭典	三〇三	安藝皎一 河川の自然勾配に及ぼす砂礫の 性質と掃流力との影響に關する 調査並に之に基く河川平衡 勾配に關する實驗的研究 砂防堰堤の洗堀防止に關する 水理實驗(共)	四九・七四 四九・七四	秋本繁松 鐵筋コンクリート拱橋	七	淺川權八 瓦斯エンジン 機械の素 實驗工學 石油エンジン	六八 七一 七
明石國助(染人) 染織史考 染織文様史の研究 日本染織史	三三〇 三三〇 三三〇			秋山轍輔 寫眞沿革史 双眼寫眞	二四 二四・二四		

淺川權八(續)

ディーゼルエンジン

内燃機關

淺川彰三

ペイント製造及検査法(共)

淺川勇吉

計測器一般

工業用材料(共譯)

硬度及び硬度測定法(共)

朝倉清一

建築設計通書

朝倉文夫

建築と彫刻

和洋建築及彫刻

朝倉元次

水力發電所及變電所之設計

淺田龜吉

山東省鐵業資料

淺田彌平

化學機器圖集(共編)

淺野幸作

アルミニウム製造法

淺野定次

冷凍法と其應用(共)

淺野末太郎

斷層の研究

淺野彦太郎

海洋學

淺野好

運河

開水路の水利

淺原源七

化學に於けるX線の應用(共)

コロイド化學(共譯)

旭硝子株式會社試驗所

旭硝子株式會社試驗所報告

發生爐瓦斯試驗報告

朝日新聞社

朝日住宅圖案集

新しい簡易小住宅

今日の住宅

朝日新聞社(續)

滿洲・上海事變全記

朝日新聞政治經濟部

海軍縮小の話

朝比奈秀雄

海圖と海底測量

朝武上獅子雄

糖業より觀たる沖繩

足田輝雄

高溫度測定法

安蘇四郎

朝鮮鐵石學及探鑛法

アターアユ

阿多俊介

孫子(共譯)

安建正寛

兵衛要訓

兵衛要訓抄録

安達嘉一

無線通信工學(共)

安達佐太吉

初等對照座標法

足立四郎吉

日本海軍之發展

足立震太郎

精油及香油の話

足立康

南都六宗寺院の建築

足立康吉

はかり機械

厚木勝基

應用コロイド化學

限外顯微鏡寫眞

工業用非金屬材料

人造絹絲

セルロイド及び可塑物工業

天然及び人造纖維工業

バルブ及紙

有機質材料

厚見利作

實用探炭學

石炭と炭鐵業の知識

厚見利作〔續〕 通氣と保安	一七	阿部直道 三略講話 六輯三略講話	三八 三三	天野郁介 實用建築材料編〔編〕	三五	荒井源三郎 最新電力輸送及配電	二五
渥美右一郎 舞臺寫眞	三三・三四	阿部信夫 海軍讀本	三〇	天利義昌 特殊鑄鐵鑄物	一六・一七	新井榮吉 サージタンク	九
アトキンソン〔英〕 日本醸酒編	二九	阿部 巽 旋盤工作法〔共〕 ねちの切り方〔共〕	二〇 二〇	甘利 忠 鐵工要具解説及作業一斑〔編〕	一〇	新井忠吉 機械工作法及工作機械	一〇〇
阿藤一男 鐵筋コンクリート構造〔共〕	三	阿部松治 亞麻工業	二五	網島 毅 無線局の設計	一九・四〇・七五	新井白石 鑑直垂考 孫武兵法擇 品革威考 本朝軍器考	三六 三〇 三四 三五
阿發 滿〔米〕 冶金錄	一七・一八	阿部美樹志 鐵筋混凝土工學	元	雨宮登三 ガス狀炭化水素の電氣的分解 ガス狀炭化水素より液體燃料 の合成	二六 二九・三二	新井保男 原板の修正法	二二・二三
阿 耳特 北滿鐵産誌	一五・一六	阿部良夫 電波に關する論文集〔譯〕	一四	雨宮良孝 熱によつて起る硝子板表面の 失透に就て〔共〕	二六・二七	新井幸長 紡織試驗法の理論と實際	三三
アブラハム〔獨〕 理論電氣學	一二	阿部吉紹 石炭液化	三五	アメリカ水道協會 實踐上水道	三	荒川 勇 低溫タールの成分に關する研究 〔共〕	三八
安倍龍平 海寇竊策〔補〕	三三	天沼俊一 石燈籠〔編〕	二九	天羽 馨 建築施工法〔共〕	二七		
阿部謙夫 水文學	一五	日本建築史圖錄 日本建築史要 花肘木	二五 二六 二九	鮎川昌行 紅毛火術錄	三四〇		



荒川喜代治 糊附法と力織機(共)	二三	荒木鶴吉 活性炭素	二〇三	有坂鉛藏(續) 兵器沿革圖說	二一・三〇・三五	栗津秀幸 探鐵用地質學	一四・一六八
荒川大太郎 無線通信	一〇五・一〇・三九	荒木 彬 電氣製鐵及製鋼法(共編)	一六	兵器考	三五	栗野誠一 熱及熱力學(共)	九四・九五
荒川文吾 テレウジョンの基礎知識	一四	新木啓助 變壓器	一三〇	有澤武貞 軍役古今通解	三六	冷 凍	一七・一四四
荒川文六 荒川電氣工學 直 流 機	一〇五・一〇五 一〇五・一〇〇	新 文夫 火力發電所	一〇五・一四	孫子講註	三〇	冷凍工學及其應用	一〇・一四四
電氣計器 Denki-Kogaku no Zikken (電氣工學の實驗)	一〇五・一一 一〇五	荒川川開門普通水利組合 荒川川開門普通水利組合誌	七	アリッヒ(蘭) 甘蔗糖及瓜哇製糖論 甘蔗糖及其製造	二四二 二四二	アーネルト(露) ソ聯極東の産金地	一五三
電氣理論 變壓器及蓄電池	一〇五・一一 一〇五・一〇・一〇七	新野 弘 伊豆半島地質概報(共)	二六	亞 倫(米) 銀礦指南	一四七・一四	アーノルド(獨) 過渡現象	一五
荒木吉次郎 電氣學及磁氣學に於ける解析數學 の應用に關する論文(譯)	二二	荒畑勝三 普佛戰爭史(譯)	三一	アル ス アルス機械工學大講座 アルス建築大講座 アルス工學全書 アルス最新寫真大講座 アルス新興機械工學講座 アルス鐵筋コンクリート工學 講座	六 二五 九 二五 二五 九 九	交流理論	三一
荒木孝興 工業分析の結果より見たる臺灣 産石炭に就いて	三・七三	有賀 輝 寫真化學	二〇九	アルス電氣工學大講座 アルス土木工學大講座	二〇 四	安東伊三郎 礦物界之現象	一六三
荒木鶴雄 航空機材料及化學	二九	有賀長雄 戰時國際公法	三二	合志一夫 水銀整流器(譯)	一三	安東洪次 比色的水素イオン濃度測定法	一九三
		有坂鉛藏 武器武裝	三四			安東重彦 臺灣に於ける水素工業に就て	二〇四・三五
						安東新午 重質油類の高壓水素添加	二八・三九

安東新午〔續〕

低溫タール酸性油より炭化水素  
類の生成に就て 二三

低溫タールの高壓水素添加 三九・三三

フェノール類の接觸的高壓水素  
添加 三九・三三

安藤一雄

化學工業試驗法(共) 一九三  
無機製造工業化學(共) 一九二

安藤弘平

電氣熔接機器(共) 一八九

安藤 定

別働第二旅團戰記(編) 三〇六

安藤秀雄

電 鍍(共) 一九二・〇一

安藤 博

無線電話 一四〇  
無線電話之研究 一四〇

安藤廣之

土木工學 四・五三  
土木工學橋梁編 六七

イイイケ

飯島 懿男

鋼鐵製造術 一八三

飯塚保五郎

青森縣大釋迦油田地形及地質圖  
說明書 一五・二六  
北海道空知油田地形及地質圖  
說明書 一五・二六

北海道宗谷油田地質圖說明書 一五・二六

山形縣大石田油田地形及地質圖  
說明書 一五・二六

山形縣新庄油田地形及地質圖  
說明書 一五・二六

飯田 歌言

制御方式及び配電盤(共) 三六

飯田耕一郎

アーチ設計法(共) 四

飯田 政雄

印畫調色法 三三・三三  
補力減力法 三三・三三

飯高一郎

鑄物の熱處理 一六  
金屬と合金 一六  
理論合金學 一六

飯沼 元

眞空管(共譯) 一四

飯野 香

公衆浴場建築 二五・二九

庵崎貞俊

最新列國海軍(共) 三三

庵原良介

煙害鑑定法(共) 一七〇

猪鹿倉忠俊

水力・石炭・石油(共) 一五・一六・一七・一八  
日本の水力・石炭石油(共) 一五

五十嵐篤好

新器測量法 七

五十嵐雅言

禁闕殿門名目抄(編) 二六

五十嵐正道

近世鐵道測量表 五  
土木測量表 五

井川 正雄

硝子(硝子石炭)中に保有さるゝ  
硫酸・鹽酸・炭酸等の根の  
分析法 三六・三七

伊木常誠

羽後國南秋田油田南部地質及  
地形圖說明書 一四・一七  
越後國魚沼油田地質及地形圖  
說明書 一四・一七

越後國頸城油田地質及地形圖  
說明書 一四・一七

越後國頸城油田地質及地形圖  
說明書 一四・一七

越後國寺泊油田地質及地形圖  
說明書 一四・一七

池崎忠孝

軍事問題論攷 三〇一

池田 榮一

工事と配線圖 一七  
材料と機器 二七・二八  
電氣工事讀本 二七

池田榮一〔續〕 配電と法規	二五・三七	池田武智 電信學	二二・三七	池田芳郎 應用數學	一六	池邊常刀 弱電測定法	一〇・一二・二七
池田勘藏 建築土木保障總合及危害豫防 統計〔編〕	四・二五三	池田仲治郎 大工術〔編〕 風流な窓と欄間〔編〕	二五 二六九	池田芳郎 工業物理學 電氣工學と數學 流體力學と翼並に水力機の理論〔共〕	一七 一〇五 二九六	池本泰兒 日本道路史	三
池田貫道 砂糖製造法〔増訂〕 日本糖業新論	二四三 二四三	池田長之助 工作機械一般〔共〕	九	池谷武雄 水力學及水力機械 水力原動機 水力發電所	六九・九七 三九 二二・三四	イサーイシ	
池田謙三 銅製鍊 本邦銅鑛乾式製鍊法	一五 一五	池田篤三郎 流量表	三	池谷増太 交流理論及其計算法〔共〕	三三		
池田讓次 小住宅附帶設備管見 配管配線工事施工指針	二八五 二五・二七	池田 楳 長江流域に於ける桐油事情	三七	池田谷久吉 大阪府建築法規類集〔編〕	二九	井坂理五郎 千葉縣セメントコンクリート 試験鋪裝	五
池田次郎 活字合金の研究〔共〕 鉛・アンチモン・錫合金のブリネル 硬度と平衡圖との關係に就いて 〔共〕	一三 一八	池田 稔 高層建築	二七	池田英治 鐵道工學特論	四〇・六	猪坂直一 製絲法講話〔共〕	二三
池田純久 軍事行政	三三	池田義信 革鞣圖考〔編〕	三三	池部春常 砲玉著町表	三五	石井英橋 各國地圖・國際寫真測量大會及び 國際測量家協會の諸 地籍測量	一五九 三七
		池田吉郎 酒造る道	三九	池部宗薫 鐵骨構造〔共〕 鐵骨構造〔共譯〕	三三・五二 三三・五三	石井悅朗 瓦斯製造工業 鉛蓄電池の諸研究	二三 二〇八

石井清彦 山形縣最上油田地形及地質圖 説明書 一七五・一七六	石川一郎 化學肥料 九・一五	石川成章(續) 有用礦物資源と鑛産 二五・二六	石川等 電極・黑鉛・カーボランダム(共) 一〇五・一〇七
石井新次郎 膠質狀態學 二四七	石川巖 寫眞藥功用略解 三〇	石川莊吉 石炭低溫乾燥試驗報告樺太炭に 就て(共) 二九	石川政吉 回轉機械の主要部分 九〇・九二 蒸気罐 九三 熱機關試驗法 一〇・九四
石井達郎 耐火構造(共) 一五・一七〇	石川追太郎 橋梁學 六七	石川武二 回路網及の濾波器(共譯) 搬送電信及電信機械 一五 一七・一八	石川芳次郎 工業電熱 一三六
石井貞次 客貨車 六 空氣制動機 六	石川勝志 實用石工學 五四	石川貞治 北海道(地質調査)鑛物調査報文 (共) 一六	石川賴三 磁石鋼 二八・二八三
石井直 米國合衆國に於ける電氣信號 電氣聯動裝置概況報告書 一四六	石川源二 燈臺 二九六	石川登喜治 鑄造法 一六	石川流宣 數寄屋雛形 二七三 日本海山潮陸圖 二九六
石井義雄 鐵及び鋼 一八三	石川浩洋 實用鑄金學(編) 一六	石川利雄 南洋材カボル親にターペンタイン の物理的諸性質に關する試驗 (共) 四八・五〇	石黒美種 電氣家の爲の最近科學十三講 (共譯) 一〇八
石居一郎 實驗製絲論 二三	石川純一郎 藝術的效果の上より觀たるコン クリート壁面上の一生面 二五・二六	石川留吉 金鑄鍊法(共) 一八五	石澤命知 滲炭と窒化 二八・二八三
石尾貞朝 榮養品嗜好品製造化學 二四二	石川成章 鑛物學 一六三 鑛物講話 一六・一六五 地文鑛物講話(共編) 一五	石川徹 學校建築 二五・二六	石島涉 石灰藻類 一五八



石津 勤	讀史戰論	三四	石田 道夫	機構學(共)	九・九	石橋正樹(續)	塗料及塗裝 塗料及び塗裝	一〇・三〇 一九・三〇	石本巳四雄	地震現象より見たる地殻變動 振動實驗及測定法 物理地下探査(編)	九・七八 一六
石津利作	清酒釀造新論	三九	石田 求	軸受合金 軸受合金及活字合金	六 六・二	石橋雅義	電氣測定法 容量分析實驗指針	一八 一五	石本恵吉	鐵と石炭	一五
石塚信太郎	法隆寺東院に關する發掘調査、 今村・小林及び鈴木窯に於ける 煙燒瓦の燒成結果並に私見	二二・二三	伊地知軍司	軍擴の經濟戰(譯)	三二	石藤豐太	日本釀酒編(共譯)	三九	石山龍雄	回轉變流機の理論と應用 電動機應用(共) 誘導機(共)	三三 三〇 二三
石田喜一郎	プロモイル印畫法	三三・三三	伊地知 敏	石鹼に關する調査報告書	三六	井島重保	羊毛の研究と本邦羊毛工業	三五	石山徹郎	埃及建築史(譯)	三〇
石田 鑛一	實驗機械工學	六	石野俊夫	熔融鹽電解	二五・二九	石丸 藤太	現代の海權爭鬭(譯) 補助艦問題と最近の我軍艦(共) 列國海軍と其の國民(譯) 倫敦軍縮會議へ	三三 三二 三二 三二	意匠美術寫眞類聚刊行會	英吉利の古家具意匠集 ウヰリアム・モリス圖案集 埃及裝飾美術意匠集 北伊太利のロマネスク裝飾 美術集	二七 二七 二七 二六 二六
石田四郎	金屬材料ハンドブック(共) 航空機材料 自動車・車輛・船用發動機用 材料 發動機用材料(共)	二七 二六 九〇・四・五 九〇・五	石橋絢彦	工業字解(編) セメント篇(編) セメント類使ひ方 鐵橋圖譜(編) 堀割盛土土坪表	八 二四 二五 二七 二五	石丸文雄	木工・植工・土工・地形編 土木應用力學 林道橋梁及森林鐵道編	七 五〇 六・七一	石本喜久治	建築譜 最近建築樣式論(共)	二三 二五・二六
石田龍次郎	人口の分布と密度	一五	石橋弘毅	家庭燃料	三三	石本喜久治	建築譜 最近建築樣式論(共)	二三 二五・二六	石本巳四雄	地殻現象より見たる地殻變動 振動實驗及測定法 物理地下探査(編)	九・七八 一六

石原憲治	屠場・畜舎(共)	日本農民建築	石原 純	電氣磁氣理論	電氣力學	電磁氣學	電子理論	石原富松	閃亜鉛鑛及び類似礦物の焙燒的性質	石原善雄	特殊鋼	イースト			伊豆公夫	日本軍事發達史(共)	井土經重	兒島灣開墾工事方法(編)	兒島灣開墾史	泉 岩太	ペニヤ及合板製造法
二五・二六	二六〇			一〇・二三	二三	二三	二四		二五・二四	八・八三					三三		三二	三二	三二		二六六
石動 弘	小型活動寫眞	反轉現像	伊勢貞春	室町殿屋形私考	伊勢貞丈	甲冑名考	軍用記	佐橋佐源太藤原佳榮家藏馬鎧之圖	平義器談	武器考證	武門故實百條細評	武門故實百條評	本朝軍器考頭書	本朝軍器考標疑	本朝軍器考餘評	眞羽之圖	鳴弦器目考	蝶之緒留様	義家朝臣録着用法第	磯貝 勇	中國地方に於ける砂鐵鍊法の史的研究(共)
三〇・三四	三三・三四		二二		三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	一八五	
磯川精一	通俗清酒釀造法(共)	磯崎傳作	土木施工法(共)	磯田清藏	抄紙機械解説	磯野達一郎	廻轉界磁變壓器	交流發電機	同期機械	非同期進相機	誘導機械	誘導電動機解説	誘導電動機計算	誘導電動機大要	誘導電動機取扱法	誘導電動機の應用	磯部 市	酸性白土(共)	石炭液化と代用燃料(共)	磯部義彦	電弧銲接實習法(共)
二九		四・七		二五		一〇・三〇	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	二七・五三	三五		一八	
板垣鷹穂	建築の様式的構成	建築様式論叢(共編)	市浦 健	俱樂部(共)	一 雲	劍法夕雲先生相傳	市川繁彌	屋内電氣設備	市川新松	福井縣鑛物志	市川濟一	紡 織 機	市川爲恭	遠西武器圖略(譯)	市川忠一	機械工學便覽(編)	機械割出及製圖法(編)	市川俊雄	水 及 油	燃料及測熱法	
二五七	二五八		二五・二七九		三四・四一		二七		二六		八・三四		三三		六	六	三	一五	一五	三〇	

市川直雄	電氣製鋼法	一八	市川安次郎	機關車講義	五	市川義方	水理眞寶	七	市川良正	アスファルト及其製品 アスファルト工業	五・二〇 一・九・三六	市來鐵郎	共同建築の話	二九	荻 會	新らしき獨逸の建築	二四	一條諦吉	アルミニウム總覽年鑑(編)	一五	市瀬 齊	工學獨逸語解釋研究(共)	九	一戸清方	工場用材料	三	
伊藤榜山子	天狗藝術論	三四・四一	一色義寛	水力機(共)	七	井出靜舟	日本建築詳細圖(共)	二六	出弟二郎	全米電力問題解決策としての水力 開發及送電線に關する研究 (共譯)	三〇	出來 茂	金屬の疲勞	一八	糸山孝吉	機關車	四	伊東敬一	實用電信學	二七	伊東忠太	見學紀行 建築に現れたる日本精神 建築 篇	二五 二六 二六	清國北京紫禁城殿門ノ建築	二・三三		
伊東忠太(續)	殿堂建築の話	二五	東洋建築(共編)	東洋建築史	二五・二七 二六	東洋建築の研究	日本建築の研究	二五 二六	日本佛寺建築の源流	二六	熱河遺蹟の建築史的價值 法隆寺建築論 論叢・隨想・漫筆	二・二六 二九	伊藤 一次	石灰室素	二八	伊藤榮三郎	英和同辭機械用語新辭典 和英同辭新辭典 電氣術語新辭典 英和獨佛對譯	二七	伊藤 馨	孫子詳解	三〇	伊藤義太郎	地中送電線の理論と實際	二五	伊藤景治	數寄屋工法集(編)	二七
伊藤敬二郎	陸地測量學	七	伊藤圭介	硝石篇(譯)	二四	伊藤敬之助	粘 土	一七	伊藤賢治	最新無線の知識	一五	伊藤憲太郎	建築統制	二九	伊藤 剛	水 理 學	三	伊藤竹之助	我國綿業の現勢と諸問題	二三	伊藤爲吉	日本建築構造改良法	二六	伊藤千代藏	鐵骨構造電弧銲接の理論と實際	一八	

伊藤貞市	二五	伊藤政之助	三〇	伊藤亮次	三三・三四	稻田三之助	二七
結晶學		戰爭史		寫眞印刷		電信・電話	二九
日本鐵物資料(編)	二六	伊藤正徳	三三	伊藤令二		無線工學	二九
本邦鐵物圖誌	二六	軍縮?	三三	岩淵水門に關する水理試驗(共)	四七・七	ラジオ	二九
伊藤貞吉	四〇・四九	潜水艇と潜水戰	三三	横濱流堤流量試驗(共)	四七・七	稻田周之助	三三
建築工學		伊藤正文	二六	北上川降開式轉動堰模型試驗(共)	四七・七	軍政及軍備	三三
伊藤德之助	二六	建築保健工學	二六	背水曲線の一般的解法(共)	四七・七	稻留武男	
工業數學	二六	ダンスホール建築	二五・二六	イナ―イノ		ディーゼル機關の燃料噴射及燃燒	六
伊藤俊男	二〇・二三	伊藤萬太郎	九			ディーゼル燃料の發火性(共)	三八・三九
製菓		水力機械學	九			(共)	
伊藤壽郎	二〇・二三	伊藤豐	二四			稲波季雄	三九・四一
土木測量法	二〇・二三	無線電機機器の調整及運用(共)	二四	稻井 豐		受信機械	三九・四一
伊藤虎三	二六	伊藤義次	二七	太子河系(南滿洲に發達せる石炭・	二五	稻葉通邦	三三
日本建築細部圖集	二六	新しい室内裝置と家具(共)	二七	二疊紀層)に就きて	二五	軍學不審問答評書	三三
日本建築建具圖集	二六	伊藤米治郎	二五	地質圖學	二五	稻葉實	三三
日本建築欄間圖集	二六	日本の海運	二五	稻垣敏澄		旋盤と其作業	三三
日本住宅手摺圖鑑	二六	伊藤庸二	二四	紫外光線ニ對スル保護眼鏡ニ	三六・三七	井西仁平	二五
伊藤博文	二六	熱電子管(譯)	二四	就テ	三六・三七	電氣鐵道要綱(編)	二五
兵政關係資料(編)	二六	伊藤龍吉	二四	稻垣英夫	二五	犬飼博淵	三九
伊藤正夫	二六・二七	修正法	二四	新意匠の住宅(共)	二五	孫子活説	三九
歴延法	二六・二七		二四	和洋住宅圖説(共)	二五		
				稻澤一徳	二五		
				綿布並に綿織物工業に關する	二五		
				調査書	二五		



犬伏節輔	
大桑發電事業誌(編)	二三
串原發電事業誌(編)	二三
西勝原發電事業誌(編)	二三
猪野勇一	
建築工事見積	二六
井上景太郎	
電氣鐵道	一四五
井上一次	
會津戰爭	三〇四・三〇五
越後戰爭	三〇四・三〇五
桶狭間の戰	三〇四・三〇五
加賀手取川の戰	三〇四・三〇五
川中島の戰	三〇四・三〇五
神功皇后の三韓征伐	三〇四・三〇五
神武天皇の大和地方御討平	三〇四・三〇五
高松城の水攻	三〇四・三〇五
三方ヶ原の戰	三〇四・三〇六
日本武尊の熊襲及び東夷征伐	三〇四・三〇六
井上 馨	
ワグネル氏工業ノ方針	七
井上一之	
浴場	二五・二六

井上禧之助	
歐洲戰場ニ於ケル鐵產地領有ノ戰局ニ及ボセル影響	二〇
盛京省南部地質及鐵産(共)	二〇
戰後歐羅巴ニ於ケル鐵産物	二〇
鐵及石炭	二七
〔臺灣〕鐵山地質調査報文	二六
井上 潔	
我國の紡績業に就て	二四
井上幸一	
日露戰史名譽列傳	二六
井上權一郎	
長崎警衛記錄	三九
井上繁次郎	
家具圖說	二七
建築師要覽(編)	二七五
製具指針	二九
井上仁吉	
工業瓦斯	二五
井上新二	
建築法規の解説(共)	二九三
鐵筋混凝土構造・計算表と圖表	三

井上新次	
無水酒精講話	三三
井上善吉	
應用機械工作及製圖法	三・二〇
井上春成	
電池及蓄電池(共)	二六
電 鍍(共)	一〇・二〇
電鍍及電鍍(共)	一〇・二五
井上秀二	
鐵筋コンクリート	二九
井上 均	
高周波現象(譯)	一四
井上 等	
誘導機(共)	二三
井上福一郎	
水力電氣工事編	五七
土木工事便覽	四三
木橋編	七
井上正賀	
釀造法一斑	二八

井上柳梧	
絹絲學	二四
人造絹糸の話	二六
井上義行	
陸軍刑法通解	三八
井口在屋	
ゐのくち簡易表	五
機械工學術語集	七
機械工師必携(共)	七
井口教授在職二十五年祝賀會	
井口在屋工學論文集	一〇
井口常雄	
木材試驗法	一〇・三・四
井野邊茂雄	
上野の戰	二〇・二五
鳥羽・伏見の戰	二〇・二五
函館戰爭	二〇・二六
稻生有年	
板金工作用機械プレス	九
金屬鑄接法	一八
プレス	八九・九

伊能泰治	二八	今井登志喜	一五	今岡賀雄	一九・四〇	伊元富爾	三三
燃料		西洋都市の發達		車輛無線	九・四四	戰時財政經濟法令總覽	
伊能忠敬	七	今井半次郎	一五・七一	眞空管及其應用	一九・四四	學校建築	三五・二六
測量日記抄(編)		石狩炭田に於ける幌内層と 夾炭層との關係に就て		無線航空路標識	二三・四三・三〇	入江軍兒	二五・二六
イハーイン		今井秀雄	二六	今木七十郎	八	國寶解説	二五九
茨城縣		鐵筋コンクリート建築構材 經濟斷面の撰定法	二六	工手便覧(編)		色川三中	三九
明治四〇年特別大演習茨城縣 記錄	三九	今井弘	二六・八三	今野圓藏	二五	製地圖解抄	
井深微	二二・三四	銅及銅合金	二六・八三	古生代の植物化石	二五	岩井信次	種々なる境界條件を有する擴散 偏微分方程式に就て 一九三・四六
商業寫真		今泉嘉一郎	一六	今村明恒	三・五一	岩井武俊	二六〇
伊部貞吉	三一・五二	鐵山測量術(共) 鐵屑集	一六 一三	地震學	一五七	日本古建築精華(編)	
材料の力學	三一	今泉辰次郎	二二	地波	二六	岩井秀雄	鶴見工場硝子熔解窯排棄瓦斯 に就て 二六・三七
鐵筋混凝土構造		實用塗工術	二二	今村甚一	九四	岩崎清	蒸気々罐及汽機(共) 九四
フェスト・ブシクト・メトード 解説	二・五三	今泉敏	一六	特殊鋼と炭素鋼(共編)	一八三	岩崎重三	應川礦物學 一六三
今井兼次	二四九・五三	有用鐵物の產地及用途(共)	一六	今村篤治郎	二六	金	一六四
海外に於ける建築界の趨勢		今岡純一郎	二五	經濟篇		銀	一六四
香料及化粧品	二六	造船篇	二五	妹澤克惟	二七・八		

岩崎重三(續)

鐵物岩石鑑定吹管分析及  
地質表

一五・一八

鐵物鑑定岩石地質表

實用鐵物學講義

石炭

探鑛法

日本鑛床學

日本鑛石學

日本探鑛法

日本土木地質學

燃料學

本邦石炭の研究

本邦石炭の研究及其研究法

一五・一七  
一四

岩崎振一郎

ヴィスコースに關する知見補遺

一六

岩崎祖堂

日本製絲業之大勢

一三

岩崎富久

衛生工學上水道

上水道

鐵筋混凝土設計法

四・八三  
一三

岩澤忠恭

道路の構造と鋪裝

一四

岩下 罷

甲冑著用圖(編)

一三

岩科遼一

建築構造力學

建築材料學

岩瀬榮一

膠質狀態理論(譯)

岩瀬慶三

三元金相論

岩垂 至

計算必携(共編)

岩手縣内務部第四課

岩手ノ金山(編)

岩波書店

火災

諸災

震災

水害と雪災

地質學及古生物學・鐵物學及び

岩石學・地理學

風災

一五  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三  
五四  
五五  
五六  
五七  
五八  
五九  
六〇  
六一  
六二  
六三  
六四  
六五  
六六  
六七  
六八  
六九  
七〇  
七一  
七二  
七三  
七四  
七五  
七六  
七七  
七八  
七九  
八〇  
八一  
八二  
八三  
八四  
八五  
八六  
八七  
八八  
八九  
九〇  
九一  
九二  
九三  
九四  
九五  
九六  
九七  
九八  
九九  
一〇〇

岩波書店(續)

防災科學

岩根保重

近代地理探檢

徳川時代地誌の概觀

岩橋小彌太

石山合戦(共)

天文法華亂

岩村 新

鐵煙除害に關する研究報告及補遺

岩本義虎

油脂・石鹼・塗料

巖谷不二雄

琉球建築(共)

尹 商(明)

武書大全

名將奇譚

印南高一

ト・キ

上田賢象

遼河水運調査資料

上田 清

硝子(共)

植實宗三郎

家具室内裝飾圖集

上治寅次郎

地質圖學

ウァー・ウシ

ヴァイウオーター(英)

列國海軍と其の國民

ヴィゲール(佛)

水晶發振器及其振器

ヴィシネフ(露)

技術と軍事工業

上田三平	三七	上田輝雄(續)	二六・二二	上野正夫	七	植村 琢	二三・二四
城輪橋趾		農事電化		鋼並鐵筋コンクリート不靜定橋		スペクトル寫眞	二三・二四
上田市役所	六	上田富三郎	九	植野 一郎	二二・三四	分光化學	一九・一〇〇
上田市上水道誌		實用渦卷ポンプ		水力發電所		植山慶治	二八七
上田潤一		上田亮章	三六	上原敬二	二五	近代的建物の機械設備(共)	
北海道駒ヶ岳火山の大爆發 後の基盤の水準變動	二五	鈴木必携		住宅と庭園の設計		ヴェーバー(獨)	一
上田大助		上野英三郎	三六	上原敏三郎	三六	工業分布論	
電氣鐵道(共)	二二・二五	農地測量學(共)	三六	北海道屯田兵制度、		ヴェーマルン(露)	二四七
上田辰三	八	上野英治	六	植原悦二郎	二六	膠質狀態理論	
都市計畫圖集(共編)		堰堤の設計	七	通信篇		魚澄惣五郎	三四・三五
上田輝雄		鐵筋混凝土橋梁	七	植松時雄	九・九	金ヶ崎合戦	
上田電氣機械工學(共)	二六	鐵筋混凝土橋梁實例集(編)	七	機械力學		ウオーター(英)	二九
整流子電動機	三三	鐵筋混凝土橋梁と暗渠實例集(編)	七	上村正夫	三〇	電氣機械故障の診療	
電氣機械	二二・二六	上野景明	一六	戰爭問題の史的考察(譯)		ヴォーリス(米)	二七五
電氣機械應用(共)	二六・二九	本邦鐵床及探鐵		植村癸巳男	一七	吾家の設計	
電氣機械器	二五・二六	上野誠一	一九・三七	樺太油田地質調査報告(共)		鶴飼平矩	三六
電氣機械檢査(共)	二六・二九	硬化油業	三七	關西本線龜ノ瀬隧道附	二七	武備目捷	
電氣機械設計(共)	二六・二九	食用油脂(共)	三六	近地ニ地の地質		氏家竹次郎	一八・一九
電氣機械の基礎的構成要素	二六	油脂化學及び油脂各論	三六	植村泰二	九・四六	船舶の熔接	
と其運用	二六	油脂實驗法(共)	三六	トキー(共)			
電氣機械理論(共)	二六	上野竹次郎	二六				
電動機應用	二二・二五	風 岡(編)					



氏家安信

日本帝國鐵山全圖(編)

一九

宇治川電氣株式會社

第一期水力電氣事業沿革志

三・三三

字式令吉

最新アミノ酸讀本

二四〇

宇治川忠郷

本朝軍器考餘

三六

牛原虚彦

映畫監督論

三・三四

牛伏川砂防工事沿革史編纂會

牛伏川砂防工事沿革史

六

## ウチ

内池武左衛門

亞墨利加小船先登記

三三

内口十喜治

砒礬鐵器工業

一九・三七

内坂素夫

電燈照明

三三・三五

内柴御風

本原盾匠刀劍圖說(編)

三三

本原盾匠鉾盾圖說(編)

三三

内田源兵衛

軍需工業動員法講話

三三

内田鯉五郎

鐵山技術者ポケットブック

一四七

探鐵設計

一六九

鐵鑛石の研究

一六五

内田佐久郎

建築と繪畫(譯)

二五〇

内田繁太郎

農林測量

三六

百分勾配對水平距離及高低差

三七

連算表(共)

三七

内田茂徳

官軍和蘭歩操軌範全圖

三九

内田茂文

藩風と古城(編)

三八

内田靜馬

基本家具設計圖集

二九

内田周平

山田長政戰艦圖記(編)

三六

内田俊一

化學工業とその裝置

一九五・二〇〇

氣體工業

一九五・一九九

空中窒素固定工業

一九九・二〇九

高壓裝置の理論と實際(共)

一三三

工業傳熱

一九三・一九七

最近に於けるガス輻射の研究

一九五・二四六

充填塔に關する研究(共)

二四四・二四六

蒸溜

一九四・二四六

電氣化學工業及窒素固定工業

二〇九

燃燒爐の效率

一九四・二四六

無水酒精製造に必要なエチル

二四・二四六

アルコール

一五・一九七

流體輸送

一五・一九七

内田正次郎

瓦斯發生爐(共)

二八・三三四

乾餾筒を有する瓦斯發生爐

三九・三四

試驗報告(共)

三三

條府瀝青炭の肉眼にて分別し

得る四成分に就て

石炭及び石炭ガス

一九九・二三・三四

内田正次郎(續)

石炭完全瓦斯化試驗(共)

三九・三三

石炭・コークス・木炭及煉炭

二〇・三三

石炭の完全瓦斯化及び其の

方式(共)

石炭の熱分解に就て

二八・三三

石炭油化の研究

二九・三五

熱量測定法

一〇・一八

燃研式斷熱熱量計

三九・三〇〇

本邦産各種石炭の油化成績

三五

Bone-Wheeler 瓦斯分析裝置

二四

並に其の使用法

二四

内田祥三

建築構造汎論

六七

鐵筋コンクリートの理論と實際

三〇

内田 壯

化學工業經營

六

内田泰司

耐火材料の研究

二六

内田 浩

機械(共)

六

内田正雄

海軍沿革論(共譯)

三三

内田宗義	二五	内丸最一郎(續)	九六	采野善治郎		梅原實太郎	三
珪酸鹽類工業概論		送風機及壓縮機		硝子熔解爐に用ふる「珪石質耐火煉瓦」と「粘土質種子瓦」		鐵筋コンクリート構造(共)	
内田義信	一三	唧筒	九六	との顯微鏡研究	三六・三七	浦上正二郎	九二
工業鑛物岩石學	一三	揚水機	九六	耐火材料	一四	機械設計實用表	
工業鑛物便覽(編)	一三						
内田泰郎	二四	内村三郎	三	宇野園三郎		浦口善爲	元
セメントの研究		鐵筋混凝土		砂防工大意	七	圖式及び用器・計算法(譯)	
内田良平	六	内山新之助	四〇・八二	宇野 惠	三元	浦田竹次郎	二七
全滿蒙鐵道統一意見書		都市計畫		素書國字解(校)		家屋設計の仕方	
内田錄雄	五	ウツ・ウン		宇弗珀宇說爾(蘭)	三三	浦野三朗	二〇・二八
鐵道工事設計參考圖面(編)	五			職將須知		水溶液電解	
鐵道工事設計用諸表(共)	五			馬込健之助		瓜生寅	三
鐵道隧道編(編)	七	尉 繚子	三七	クラウゼヴィッツの戰爭理論について	三〇・三三	測地略(編)	二五
内野 稔		尉 繚子	三七	戰爭論(譯)	三〇	地質學(共譯)	一四
火力發電所(共)	二〇・二四	宇都宮 謙	三〇七			瓜生康一	
内丸最一郎	九	支那事變と無敵皇軍(編)		梅浦健吉	九・三五	材料強弱論	二三
渦卷唧筒	九	宇都宮公次	一六	羊毛工業		鐵筋コンクリート計算法	三
瓦斯及石油機關	九	金屬鍍着法		梅浦精一	三三	鐵筋コンクリート工學	二九
機械設計及製圖(共)	九	宇都宮 鼎	三三	織工篇(譯)		鐵筋混凝土の知識と建築の實際	二八
蒸汽機關	九	歐洲戰爭海軍軍事調査資料		梅田晋一	三八	海野謙四郎	二三・三一
蒸汽タービン				美濃古城史(編)		同期發電機	
水力タービン							

海野 正  
纖維化學

エーエン

英國商務院  
英國ノ造船及造機業

英國勞働局工場監督部  
綿紡織機械安全設備

衛生工業協會  
衛生工業協會誌  
衛生工業便覽

營繕管財局  
營繕管財局營繕事業年報

江川三男治  
探鐵必携(編)

液體空氣會社  
金屬の銲接及切斷法(譯)

江口元起  
珊瑚礁(共)

三三

江口元起(續)  
南洋パラオ群島の珊瑚及珊瑚礁  
白聖紀(共)  
一五  
一五・一五

江口康雄  
測量作業法  
三

江口義雄  
住宅湘南莊(編)  
二五

江崎 清  
肖像寫眞の寫場撮影  
三三・三四

江崎三郎  
肖像寫眞の戶外撮影  
三三・三四

江崎伸市  
鐵筋コンクリート計算圖表  
三  
二五・二六

江澤讓爾  
工業分布論(譯)  
一

江島爲信  
關艇兵庫記  
三四

江連用水  
江連用水普通水利組合  
江連用水誌  
七

江田鎌治郎  
清酒釀造業の將來と釀家の態度  
三九

江田益英  
天工開物(校)  
一八

越後電氣株式會社  
越後電氣株式會社十周年  
紀念寫眞帖  
三

江藤春樹  
天然色寫眞術  
三三・三四

江藤 禮  
鐵筋決定圖表  
不靜定構造物の解法  
三 五

榎本脩吉  
曹 達  
三

榎本修二  
陶磁器  
二〇・二五

榎本卓藏  
送電電線路建設の實際  
發電水量の經濟的研究  
三五 二三

榎本恒太郎  
佛學方面  
工學佛語の研究  
九

榎本武揚  
裝鐵船略記(譯)  
三三

江畑弘毅  
工事用砂利  
土木建築工事用砂利  
四 二六

江原眞伍  
日本産三角貝  
一五

江村恒一  
日本建築要鑑(編)  
二六

江守保平  
交通運輸  
道路學  
四・六 三

エンゲルス(獨)  
普佛戰爭史  
三一

エンジニアリング社  
機械設計法  
二

ジャーバン・エンジニアリング  
二

遠藤於菟	二八三	遠藤 武	二八八	岡 白駒	三元
西洋住宅百種	二八六	室内家具裝飾法	二八八	孫 子(校)	
日本建築構造圖說	二八六	遠藤 彦造	二八三	岡 義明	五
日本建築詳細圖(共)	二八四	耐酸耐蝕金屬及合金	二八三	鐵塔及其設計(共)	
日本住宅百圖	二八四	鐵鋼の腐蝕と防錆の研究	二八二	岡 利亮	二二・二四
日本向きのパンガロオと	二八四	遠藤 政直	八・九	水洗及乾燥法	二二・二四
コッテエヂ(編)	二七三	唧 筒	八・九	特殊印書法	二二・二四
和洋建築設計圖會(編)	二七三	遠藤 義夫	一八	岡内 彰	二〇・二三
遠藤數馬	元	實用電弧銲接機	一八	實用寫眞化學	二〇・二三
寫法新術	元	遠藤 美壽	二五	岡内 簡	二四
遠藤金英	一五	X 線	二五	岡崎 武夫	五・六
地理學的教育的價值	一五	靜電氣學	二三	海工學	
遠藤金之助	二五・二六	遠藤 隆次	一五・一六	岡崎平三郎	五
旅客 驛	二五・二六	カムブリア紀	一五	地形施工法	五
遠藤源六	三・四・三	節足動物	一五	鐵道及其建設	五
戰時禁制品論	三・四	北米合衆國スミソニアン學會	二七	岡崎文吉	六
戰時國際公法	三・四	に於ける地質學部の近況	二七	純近ノ水力電氣	二五
遠藤 新	二九・二二	滿洲の地質及鑛産	二七		
建築論	二九・二二	遠藤 六郎	二五・二六		
遠藤誠道	二五・二五	北大東島試錐調査に於ける	二五・二六		
新生代の化石植物	二五・二五	試錐方法	二五・二六		

オイ—オカ

及川 邊	二〇・二七	岡 白駒	三元
屋內配電	二〇・二七	孫 子(校)	
尾池 義雄	三元	岡 義明	五
支那文學講話孫子	三元	鐵塔及其設計(共)	
老田他鹿藏	二〇	岡 利亮	二二・二四
染色法(增訂)	二〇	水洗及乾燥法	二二・二四
捺染法(增訂)	二〇	特殊印書法	二二・二四
配色法(增訂)	二一	岡内 彰	二〇・二三
岡 邦雄	七	實用寫眞化學	二〇・二三
近代技術史(共譯)	七	岡内 簡	二四
岡 熊臣	三六	砲術基礎(譯)	二四
兵制新書	三六	岡崎 武夫	五・六
岡 俊平	二〇・二五	海工學	
電氣化學製品	二〇・二五	岡崎平三郎	五
岡 宗次郎	二〇・二五	地形施工法	五
無機工業藥品	二〇・二五	鐵道及其建設	五
		岡崎文吉	六
		純近ノ水力電氣	二五



岡本 越〔續〕	一六九	小川敬次郎	混泥土及鐵筋混泥土原理	二五・元	小川琢治	內蒙古東部地勢地質一斑	一三	小川義朗	機械設計法	三
電氣熔接總論	九・八九	混泥土及鐵筋混泥土理論	二六・元	煙台炭坑及瓦房店炭坑調查報告	一七	小川若三郎	電氣材料	一〇・二五		
電氣熔接法	九・八九	混泥土及鐵筋混泥土理論應用	二六・元	煙台炭坑四近地質概查報告	一七	電氣材料	電氣材料の知識	一一五		
岡本東一郎	三	混泥土及鐵筋混泥土理論原理	三	氣・水・石三圈の相互關係	一六	尾川岸太	浸透劑及浸透性試驗法	一五・二〇		
實踐上水道〔譯〕	三	鐵筋混泥土之設計及施行法	三	北支那のカムブリア層	一六	尾川敬二	戰綱典令原則對照孫子論講	三〇		
岡本要八	一六	土木施工法及施工機械	五・七	經緯鏡台に依る長石の識別法〔共〕	一五	沖 巖	オキーク	五・二六		
臺灣鐵物調査報告	一六	小川月舟	二・三四	支那古代地理學史	一五	機械工業篇		八・七		
岡山市役所	三	橋圖の種々相	二・三四	盛京省南部地質及鑛產〔共〕	一三	水力學		八・七		
上水協議會議事錄	三	小川省吾	二九	地質學史〔共〕	一五・一五	水力機械		八・七		
岡山俊雄	一八	近世色染學綱要	二九	地質現象の新解釋	一五	水力機械實驗法		一〇・九		
山岳形に關する二三の問題	一八	近世色染學實驗法	二九	日本の水河時代に關する問題	一五	ポンプ及水壓機		九		
岡山秀吉	一六	小川清二	二九	と其研究法	一五	沖 爲成		五・二六		
金屬着色法	一六	航空發動機	二九	復州五湖嘴炭田概查報文	一七	土木建築工事數量の算出と		三六		
竹工・指物・玩具・挽物・彫刻・	二〇	小川晴陽	二・三四	小川 亨	一三	步掛〔編〕				
塗裝・木工術	二〇	古美術寫真	二・三四	米國に於ける天然瓦斯利用	一三	隱岐熊男				
木材着色・ワニス・ペンキ・漆・	二〇	小川太一郎	八・三〇	の現況	一三	日露戰役從軍叢話				
蒔繪塗物術	二〇	航空讀本	二七	小川三知	二五・一五					
岡山善峰	三	飛行機	三〇	モザイク及ステインドグラス	二五・一五					
道路工學及都市計畫	三	飛行機〔共〕	二九・三〇	小川芳太郎	八・九					
		飛行機工學	二七	機械設計學〔共〕	八・九					

沖野定賢  
造船業振興調査會調査報告(編)  
二九四  
内地私立工場設備概要(編)  
二九四

荻原清彦  
糊附法と力織機(共)  
二三

荻原貞夫  
砂防工事及林道(共)  
六

荻原俊一  
河川工法(共)  
五

荻生徂徠  
鈴 録  
三四

軍學不審問答  
軍法不審問答  
三三  
水 法  
三四

素書國字解  
孫子國字解  
三三  
三〇

奥泉欽次郎  
一般自動車講義  
一〇一  
自動自轉車  
一〇四

小串孝治  
送電配電(共)  
三三  
電線及電纜(共)  
三六

奥島清太郎  
飛 行  
二七

奥田秋夫  
鋼橋の理論と計算(共譯)  
七

奥田芳男  
建築計畫  
二七

奥中恒一  
遠距離受信エリミネーター  
二四  
受信機設計と組合  
二四

無線電話受信機の製作及裝置  
二四

小國己一  
建築工事仕様便覽(編)  
二六

奥村順四郎  
醸造學(共編)  
二六

奥村省三  
水力及水力機械  
九・七

奥村増肥  
荒地弧度算法  
三

小倉金之助  
圖計算及圖表  
元

小倉伸吉  
海洋學  
二八  
水路部の事業  
二九

小倉 强  
サナトリウム  
二五・二六  
仙臺城の建築  
二九

小倉 尚  
都市の空中襲撃と其防禦  
二五・二六

小倉正照  
顔料・繪具及インキ(共)  
二〇・二二

小栗孝三郎  
海軍趨勢  
二九  
帝國及列國海軍  
三〇

小栗捨藏  
工業用水  
一九・二〇  
製造化學總論  
一九・二〇  
無機化學工業  
一九

小栗吉隆  
新しい室内裝置と家具(共)  
二七  
家具製圖(編)  
二八  
和家具設計及工作・仕上法  
二九

オサール

尾崎久助  
建築と火災  
二七  
耐火建築  
二五・二六  
鐵骨構造(共)  
三

尾崎主税  
海軍戰略(譯)  
三

尾崎行雄  
軍備制限  
三

納 五平  
硫酸製造裝置  
二六

大佛次郎  
軍事探偵篇  
一〇

小澤久太郎  
上路補剛構桁を有する拱橋に  
關する研究  
四九・七〇  
本邦鋼道路橋衝擊係數に關す  
る一考察  
四九・七〇

小澤 滋	三八	小田亮平	一七五・一七六	越智圭一郎	一九・二〇一	小野二郎	二五・二六
日本兵食史	三八	秋田縣龜田油田地形及地質圖	一七五・一七六	無機工業藥品	二〇〇・二〇一	市 場	二五・二六
日本兵食史論	三八	秋田縣五城目油田地形及地質圖	一七五・一七六	有機工業藥品	二〇〇・二〇一	屠場・畜舎(共)	二五・二六
小澤省吾	二〇五	秋田縣五城目油田北地形及地質圖	一七五・一七六	落合和男	二〇六・二〇八	小野正三	二九
一般電氣工學	二〇五	質圖說明書	一七五・一七六	炭素の燃燒による直接起電燃料電池(共)	二〇六・二〇八	應川航空力學	二九
既設建物内の配線法(譯)	二〇五	質圖說明書	一七五・一七六	小野鑑正	二〇六・二〇八	航空力學	二九
直流機理論	二〇五	織田經二	二二	鑄物ノ強サ及一般性質	二〇六・二〇八	小野正三	二九
電氣機械試驗法	二〇五	染料及染料の色彩	二二	材料力學	二〇六・二〇八	小野 孝	二九
電機器實驗教程	二〇五	染料・染色及色彩	二二	小野鑑正	二〇六・二〇八	回路と真空管(共)	二九
押田三郎	二〇五	織田 寬	二二	架構力學	二〇六・二〇八	機械裝置(共)	二九
英米ノ市外電話事業	二〇五	英國工業史(譯)	二二	小野 薰	二〇六・二〇八	測定と應用(共)	二九
小園恒次郎	二〇五	小田内通敏	二二	ダンズホール	二〇六・二〇八	短波長無線電信電話(共)	二九
電車従事員必携(編)	二〇五	郷土地理	二二	鐵筋コンクリート構造計算圖表	二〇六・二〇八	電波の輻射(共)	二九
小田重久	二〇五	小谷寬之亮	二二	トラス	二〇六・二〇八	無線工學術語集	二九
瀝青滲透ブロック試驗成績(共)	二〇五	材料強弱學	二二	複式汎論	二〇六・二〇八	無線電信電話(共)	二九
東京市瀝青質鋪裝試驗(共)	二〇五	小樽高等商業學校	二二	骨組の力學(共譯)	二〇六・二〇八	小野武夫	二九
鋪裝及其の材料吸水率試驗成績(共)	二〇五	北海道石炭業概論	二二	小野嘉七	二〇六・二〇八	日本兵農史論	二九
小田秀吉	二〇五	北海道に於ける沃度及鹽化加里製造に關する調査	二二	工業合成化學	二〇六・二〇八	小野武雄	二九
地下構造物歩掛(共)	二〇五	小野賢一郎	二二	小野 清	二〇六・二〇八	折衷洋風建築設計圖集	二九
小田雅夫	二〇五	有田鐵業史(編)	二二	大阪城誌	二〇六・二〇八	洋館建築各部詳細圖	二九
宮水の細菌學的研究	二〇五		二二	日本城郭誌	二〇六・二〇八	小野鐵二	二九
	二〇五		二二	小野賢一郎	二〇六・二〇八	西洋地理學史	二九



小野信雄	水力タービン	九
小野文英	臺灣糖業と糖業會社	三三
小野諒兄	鐵道線路撰定及建設 鐵道線路の構造及強度	六〇
小野田セメント製造株式會社	小野田セメント製造株式會社 創業五十年史	五
小野寺長	和英對照電氣用語解説集	一六
小幡重一	音響實驗及測定法 實驗音響學	九・七・八 八
小濱重雄	戰時原料保障論	三八
小原龜太郎	顯微鏡による纖維研究法	三三
小原春孝	特殊鋼	一八

・オー・オーコ

尾本義一	照明工學實驗法 電氣機械取扱法	九・二四 九・二六
小宅千次郎	簡易電氣工學	一五
織本道三郎	梁之計算及圖表	五
オルソン(米)	應用音響學	一四
王喜(元)	治河圖略	七
王樹枏(清)	歐洲列國戰時本末	三
王暉(清)	兵杖記	三五
王德均(清)	開煤要法 航海簡法	一三 二五

王璧文(民)	明代建築大事年表(共編)	二四
王鳴鶴(明)	登壇必究(編)	三〇
翁鴻業(清)	尉繚子直解(校) 三略直解(校) 司馬法直解(校) 李衛公問對直解(校) 六韜直解(校)	三七 三六 三八 三二 三三
翁文灝(民)	中國鐵產誌略	一五・一六
黃石公(泰)	奇門遁甲書	三八・三一 三九
歐陽元(元)	河防記	七
大井才太郎	電信及電話	二七
大井清一	滿蒙の水道	五

大石三郎	ジュラ紀 中世代の植物化石	一五・一六 一五
大石主計	最近大電力系統變電所の設計及 据付法	二六
大石間二	機械製圖學	五
大石義郎	コンクリート鋪裝	五
大泉龍之輔	建築工事概算作製の要項 建築工事設計便覽(編)	一五・一六 二七
大分市役所	大分市水道誌	五
大井上博	航空發動機(共) 自動車用機關(共)	二九 九・一四
大井上義近	石狩煤田地質調査報文 岩手秋田兩縣鐵業調査報文	一七 二五

大井上義近〔續〕	二七	大河原達海	二七	大熊喜邦〔續〕	二五・二八	大越 諄	一〇・一七
空知郡煤田地質調査報文		建築構造學(共)		數寄屋建築		工具試驗法	
夕張郡地質調査報告	二六・二七	大木啓太郎		大建築學(共補)	二四九	大河平光雄	
大江新太郎	二五・二六	内國製爆發藥(編)	二四	大藏省		陰極線オシログラフプラ	一四
作庭意匠		大串榮太郎		工部省沿革報告	三	ウン管(共)	一四
大條正雄	一九・二三	金澤コンクリート試験鋪裝報告(共)	室	獨佛戰爭軍費始末書	三二	ブラウン管の應用(共)	一五
有機性藥品製造法		大岡 實	二五・二七	大藏省理財局	三八	大郷信齋	三〇三
大岡 實	二四	官衙及事務所		軍用切符ニ關スル調査		歷代事實田所書目(增訂)	
建築樣式	二七	大國隆正	一九	大藏省臨時建築部	二六	大河内 治	二
西洋東洋建築樣式	二五・二六	金・坑 辨		建築用本邦產木材及石材	二五	電氣測定法	
天台眞言の寺院建築	二三	大久保 謙	二〇・二四	大藏省臨時稅關工事部	三	大河内正敏	三
日本建築樣式	二五・二六	電動力應用(共)		橫濱稅關海面埋立工事報告		新與日本の工業と發明	
大賀惠二	一八・八	大久保準三	一七	大藏大臣官房臨時建築課	八	大河内友二	一四
工業熱力學	九・九七	實驗測定法及び實驗器械	二七	橫濱稅關新港設備概要		工業方面に於ける電子管の應用(共譯)	
蒸氣及瓦斯タービン	八・八五	大久保政德	三六	大藏大臣官房臨時建築課	三	大幸勇吉	一九二
傳熱理論	一八・八	兵役法詳解	二六	神戸出張所	四	科學と化學工業	一九二
熱力學と熱機關サイクル論	四	大熊喜邦	二五	神戶稅關新設備報告	四	膠質化學概要	二四七
大賀吉緒	一五	趣味の建築講話	二五	太黑 薰	二四七	水及び鹽素の多相平衡	一九五
石見國銀山舊記		新住宅の設備(編)	二五	膠質化學概論(譯)			
大門美代二							
重力式岸壁の耐震限度(共)	四九・八						

大阪朝日新聞社

寫真集報

二五

府立大阪一等測候所

淀川出水豫報調査報告

七九

大阪繪具染料同業組合

染料讀本

三九

大阪工業學校

機械工學實驗集

六

大阪工業試驗所

大阪工業試驗所報告

二五

めた、あるではいどノ生成ト

其應用ニ就テ

二〇四

めちるあるこーるノ接觸空氣

酸化ニ依ルふゐるむあるでひ

二〇四

大阪工業大學冶金學教室

大阪工業大學冶金學科研究

報告集

二四八

大阪鑛山監督局

大阪鑛山監督局管内鑛區一覽

一五

大阪財務研究會

日本酒釀造法講義

三九

大阪時事新聞社

健康住宅設計圖案集(共)

二七

大阪市

大江橋淀屋橋意匠設計圖案集

九

大阪市工業調査書

六

大阪市水道擴張工事目論見書

五

大阪市水道擴張誌及圖譜

五

大阪市第三回水道擴張誌

五

大阪市第四回水道擴張誌

五

大阪城

三六

上水協議會議事錄

三

陸軍特別大演習記念特別展觀圖錄

三九

大阪市橋梁課

大阪市橋梁寫真

六

大阪市港灣部

紐育港海陸聯絡設備

八

鐵筋混凝土計算規程

三

大阪市産業部

大阪の硝子工業

二七

大阪の罐詰工業

二四

大阪のセルロイド工業

二七

大阪の電球工業

二五

大阪の鉄力製品工業

二七

大阪市産業部(續)

大阪の鈕釦工業

二七

大阪の珐瑯鐵器工業

二七

大阪の莫大小工業

二五

大阪の洋傘工業

二七

大阪市水道部

大阪市第一回下水道改良誌

五

大阪市電氣局

電氣事業成績調書

二九

電燈市替の十年

二三

電熱利用文化臺所設計圖案集

二四

大阪市土木部

大阪都市計畫事業橋梁總覽

六

大阪市立工業研究所

大阪市立工業研究所業務年報

三

大阪釀造學會

釀造試驗法

二六

釀造諸表

二六

大阪商品陳列所

大阪府工業概覽

六

大阪築港事務所

大阪築港

八

大阪逓信局

管内電氣事業要覽

二〇

大阪電氣株式會社研究部

電氣銲接

一八

銲接研究

一九

銲接時報

一〇

大阪陶業株式會社

建築用テラコッタ

二六

大阪府

工業調査書

六

戰時影響調査報告

三三

淀川筋大塚決潰遺懷記念講演集

九

大阪府學務部社會課

實地調査の結果から見た

二六

大阪市内の住宅

二六

大阪府經濟部工務課

大阪府工業年報

三

大阪府工藝協會

金屬着色法等講習錄

一〇

大阪府立産業能率研究所 燃料及動力經濟講演錄 爐下熱ノ合理化講義錄	三三 一九四	大澤壽一 光電管・セレンウム管の工業 應用(共)	一四三・一四四	大島義清(續) ガス 低溫乾留工業(共) 電氣化學工業ニ關スル調査 燃料及燃燒概説 燃料概説(共)	三三 三三・三三 三〇六 三〇 一九九・三三八	太田勤治 織物構造	二三三・二三三
大阪毎日新聞社 健康住宅設計圖案集	二七三	大澤與美 X線と其應用	一二五	大杉齡次 實用セメント學(共)	二四	太田熊太郎 黄金鍛及び銅鐵鍛に就て	一七
大阪毎日新聞社京都支局 京郊民家譜 京郊民家譜	二六 二六 二六	大島貞益 土工術(譯)	七	大住吾八 絹紡織學 綿紡織(共)	二四 二三	太田誠一郎 測 量(共)	三四
大阪窯業株式會社 大阪窯業株式會社五十年史	三五	大島積水 臥榻兵話	三〇	大隅菊次郎 電氣機械 同期機	二二・二六 二三	太田均夫 食用油脂(共)	三七
大澤一郎 換氣と冷房空氣調整裝置 建築衛生工學(共) 建築機械設備(共) 建築工事用機械設備 斷熱建築 暖房換氣工學(共)	二五・二六五 二六 二六七 二五・二七八 二五・二七 二六	大嶋太郎 製藥化學新藥篇(譯)	二〇四	大隅廷臣 矩術新書(編)	二七五	太田友彌 船體強弱學	二九四
大澤源之助 病院醫院の建築と其の設備	二八	大島正滿 冷藏と冷凍	二四	大關増業 機械叢編	二三	太田廣太郎 硝 子(共)	二六
大澤三之助 家 具 日光廟建築論(共)	二五・二九〇 二二・二三	大島滿一 水力發電所(共)	一〇・一二四	太田 清 淡口醬油釀造法	二四〇	太田正吉 木型工作法	一〇一
		大島義清 計 量 器 骸炭の種類と其の性質(共) 骸炭反應性に關する文献(共)	二四・二四六 二八・三三 三三	オートーオート 北大東島試錐岩芯及大東石灰岩 の化學分析並に顯微化學的吟味	一五・一六	太田 恭	

太田義三 目録戰爭 三四・三六  
太田尾廣治 基礎工(共譯) 五  
大鷹恒一 電氣機械器具 二六  
大竹三七郎 客貨車 六  
大竹 巽 構造強弱計算法 二〇  
新式規矩術(共) 二五  
耐震耐火家屋構造 二七  
大谷光瑞 孫子新註 三〇  
大谷武夫 酵素研究法 三八  
大谷壽雄 古期岩層 一五  
構造地質學 一六  
地質圖學 一五

大谷保藏 實用測量術 三  
大谷義夫 清酒火落菌の研究に關する轉近の趨勢 三九  
オーチャード 日本工業論 五  
大塚同庵 異船防禦建白書 三三  
大塚樸三郎 鐵道工事設計用諸表(共) 五  
大塚專一 越後國小千谷油田地質及地形圖說明書 一七・一七  
越後國新津油田地質及地形圖說明書 一七・一七  
越後國西山油田地質及地形圖說明書 一七・一七  
越後國米山及郷津飛山油田地質及地形圖說明書 一七・一七  
釜石四近鐵床地質調查報告 一七  
文 一七

大塚博 ガス油の氣相熱分解 三九・三〇  
クラッキンク及其方式 三八・三六  
大塚眞夫 電氣材料學 二五  
大塚彌之助 第四紀 一五・一六  
地形發達史(共) 一六  
大塚雄二 受信真空管 一五・一四  
電球及真空管(共) 一五  
大塚嘉樹 刀劍略説 一四  
大槻玄澤 銃砲起源考 三四  
大槻盤溪 呂宋國漂流人記 三三  
大槻喬 工場設備 二  
大塚洋之助 實地地質學 一五  
大友喜作 對露國防の濫觴 三二  
大友博 航空發動機 二九  
大島圭介 石炭編 一七  
鳳秀太郎 鳳氏交流工學理論階梯 一〇・一二  
高壓絕緣論階梯 一三  
交流整流子電動機 一三・一三  
交流理論 一〇・一一  
波動振動及避雷 一三・一二  
變壓器及誘導電動機 一〇

大西 巖 輕金屬及合金の熔接 一八・一九  
特殊金屬及合金の熔接 一八  
銅及其合金の熔接 一八  
オーニオン

著者索引  
オーニオン

大西 茂彦	燃焼と燃料能率(編)	三〇	大林 組(續)	工事畫報	二五	オーム社(續)	全國大發電所一覽	二三
	燃焼能率展覽會報告書(編)	三〇		某活動寫眞館設計圖	二五		電氣工學質疑應答集	二〇六
大貫 龍城	機械工學寶典(編)	六	大日方 一司	X線金相學	二六		電氣工作物規程	二〇六
							和英獨電氣術語大辭典	二〇七
大沼 文哉	衛生工學(譯)	三	大藤 高彦	構造強弱學(共)	二〇	大村 一藏	石油地質學	一五四・一五六・一五七
櫻 寧	硝石製鍊法	二四					石油地質學通論	一五九
			大船田園都市株式會社	田園住宅圖集	二九	大村 欣次郎	空氣を利用した乾燥學	一五九
大野 諫	橋梁汎論	七	王 普 爾(蘭)	泰西王氏鈔譜	三四	大村 四郎	大大阪橋梁選集(共編)	六
大野 博	現場コンクリートの強度に之に及ぼす施工條件の影響に就て(共)	四九	大前憲三郎	陸地測量學(共)	七	大元 政一郎	鐵塔と其設計(共)	五
	國道鐵筋混凝土桁橋標準設計案	四七・六九	大町 芳文	酵母の科學及利用	二六	大森 丙	電話學	二二・三七
	鐵筋混凝土道路橋設計資料	四七・六九	大見 鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	大屋 靈城	設計及施工公園及運動場	八三
	鐵筋コンクリート無鉸拱の經濟的耐震的設計	三・四六	オーム社	最新電氣通信工學講座	二六	庭本 位の小住宅		二六四
	府縣道鐵筋コンクリート桁橋標準設計案	四七・七〇	新興電氣工學講座		二〇	大宅 經三	肥前陶窯の新研究	二五
大野 三行	パンガロー式明快な中流住宅	二六四						
大場 彌平	防空讀本	三五						
大橋 四郎	灘酒の發達と酒價の今昔	三九・四〇						
大橋 房徳	變壓器	一〇・三〇						
大橋 又太郎(乙羽)	住居と園藝(編)	二六						
大橋 安三郎	電氣煖爐	二六						
大橋 良一	鑛物岩石鑑定要覽	一六						
大林 雄也	工藝製作物産及鑛業(編)	二七						
大林 組	大阪松竹座設計圖	二七						
	大阪會根崎新地歌舞練場設計圖	二七						
	御大禮御造營工事記念寫眞帖	二五						

大山 柏  
土器製作基礎的研究  
三五

大山松次郎  
電熱  
一〇・二六

電熱工學  
二六

大山義年  
氣泡狀ガスの吸収に關する  
研究  
一九・二六

同體混合  
一九・二六

混合及分離  
一九・二六

大湯正雄  
鹿嶋片麻岩に付ての一考察  
一五

應用物理講話會  
應用物理  
二七

大類 仲  
城郭之研究  
三七

戰爭と城塞  
三八

日本城郭史(共)  
三八

隱塚康公  
をんづか式曲線表と設計資料  
四

恩田重信  
文房具類・化粧品類・爆薬品類  
二五

恩田利器  
孫子纂注  
三〇

力—カセ

何言(明)  
孫子約說  
三〇

何汝賓(明)  
西洋火攻神器說  
三二

兵錄  
三二

何武臣(明)  
李衛公問對  
三二

何良臣(明)  
陣紀  
三八

華衛芳(清)  
金石識別  
一〇

海員協會  
航海指針  
二五

海外電氣事業調查委員會  
電氣事業手續便覽  
三

海外論抄刊行會  
電力工學海外論抄  
二六

海軍艦政本部  
鑄造作業標準  
一六

海軍軍令部  
二十七八年海戰史  
三六

北海海戰史(譯)  
明治三十七八年海戰史  
三七

海軍航空本部  
航空用發動機の設計に就て(譯)  
二九

海軍省醫務局  
日清戰役海軍衛生史  
三六

海軍省人事局  
海軍徵兵摘要  
三〇

海軍大臣官房  
海軍省年報  
三〇

海戰法規  
明治二十五年海軍統計表  
三〇

〔海軍〕特別大演習統監部  
大正八年特別大演習寫眞帖  
三〇

海軍燃料廠  
海軍燃料廠研究報告  
三八

海軍燃料廠實驗成績報告  
三八

海軍燃料廠實驗報告  
三八

海軍兵學校  
海軍兵學校沿革  
三〇

海軍兵學寮  
航海教授書  
二九

開拓使  
北海道(三角)測量報文  
三七

甲斐廣永  
量地圖說  
三五

甲斐茂吉  
飛行機の強度計算法と設計例  
二九

飛行機の理論と設計  
二九

外務省  
戰時無線電信取締規則及空戰法規  
三〇

外務省亞米利加局 米國石油業概觀	一八〇	鏡山 猛 怡土城趾の調査	三二六	影山 穂作 測量術講義	三	笠原敏郎 建築法規 都市計畫	二九・九二 二五・二五・九三
外務省歐米局 羅馬尼ノ石油	一七九	加川 千義 明治三十七八年戰役記念地圖	三〇七	影山 錄次郎 屋内配線工事	三七	加治川 水害豫防組合 加治川治水沿革史	七
外務省調査部 石油ニ關スル調査 石油の問題	一七九 一七九	郭 子(明) 劍 記	三三三	鹿兒島縣 鹿兒島港灣擴張工事調査書 鹿兒島築港誌 丁丑亂概	八 八 二〇六	梶島 二郎 工業數學	一六
化學機械協會 化學機械協會年報	二〇八	學術研究會議工學研究委員會 工學研究機關に於ける研究項目 分類表	二	雅骨夫微示列水(蘭) 遠西火攻精選	三三	鹿島清二郎 林業と代用液體燃料に就て	三三
化學工業調査會 化學工業調査會錄事	一八二	角田 貞治 褐炭の工業的利用(共) 家庭燃料の着火並に燃焼試験(共) 泥炭及鋸屑の利用(共)	三二九 三三〇 二八・三三	笠井 完 電磁及陰極線オシログラフ	九・二三・二八 一二・二四	鹿島 萩磨 ジュウトランド海戰史論	三二
科學知識普及會 圖解化學工業	一九	角田 吉雄 化學工學及化學機械(共)	二四五	陰極線オシログラフ	九・二三・二八 一二・二四	華 城 會 大阪府廳舍府會議事堂競技設計 圖集	二七
加賀美武男 電氣鐵道(譯)	一四五	革而得兒(蘭) 城保攻守沿革編 西洋砲術火具篇補遺	三三三 三三三 三三三	香西 成資 武學提要	三六	櫻 葉 會 木工と裝飾	一〇一
各務米次郎 外線工事 送電及配電(共) 電氣機器と其取扱の實際	二七 二七 二五 二六	景山 質 水力電氣	二三	柳場 重男 蒸汽罐及蒸汽機關 蒸汽タービン	八九・九四 八九・九五	柏 茂樹 天然色寫眞術	三三・三三
				笠原治郎作 絹染色講義錄	三〇	柏木好三郎 電氣學講義	一一



柏原方勝

金屬塑性學(共)

一八六

春日進

煙道瓦斯計(共)

三八

有煙燃料用暖爐に就て

三九・三三

Lancashire 汽罐の手焚試験(共)

三九

春日井晋吉

建築法規(共)

二九三

敷森敏郎

壓縮機

八九・九

空氣・瓦斯壓縮機の理論と實際

九九

高壓空氣壓縮機計算法

九九

送風機

八九・九

糟谷美一

寫眞術之化學(編)

二九

加瀬勉

貴金屬及其合金

二六・二

金屬と人生

一八

金屬の腐蝕と其の防蝕

一七

鋼の表面硬化法

八九・一三

カタ・カト

賀田立二

褐炭の工業的利用(共)

三九・三三

家庭燃料の着火並に燃焼試験

三九・三三

(共)

家庭用煉炭の硫黄固定試験(共)

三九・三三

乾留溫度による木炭及び骸炭類

三九・三三

の吸濕性の變化

三九・三三

泥炭及鋸屑の利用(共)

三八・三三

獨逸褐炭工業

三八・三三

本邦褐炭の性狀並に吸濕性

三九・三三

片岡秀吉

計算尺の原理及び使用法(共編)

二六

片岡稔

空襲

三五

片岡安

都市と建築

二五〇

片木久吉

交流理論

三三

片島武矩

武藝調抄錄

三二

武備和訓

三〇二

片山敷夫

電力制御裝置と配電盤(共)

二六

片山健次郎

材料力學(共譯)

三

片山三平

平板測量法

六

片山徹吉

壓縮に依る木材増強法の研究(共)

二四

片山信夫

礦物資源便覽

一五

片山正夫

豐田研究彙報第五輯の發行に  
當りて

二〇六

勝安房

海軍歴史

三〇〇

陸軍歴史

三八

欽印里布(獨)

三兵答古知幾(共)

三三

勝尾信彦

青島戰役

一〇五・一〇六

北清事變

一〇五・一〇六

勝田貞次

戰時化學産業讀本

二四六

勝田一

工場設備

二

勝田康雄

撮影禁止區域解説

二五

密着印書法(共)

二二・二三

勝目英

醸造機械學

二八

勝盛豐一

自動車

八九・一〇三

勝山政次郎

鐵道技術必携(共)

六

葛爾旬(爾)

海上砲術全書

三二

門岡速雄

航空・航海と無線方向探知機

一四・九五・一〇〇

トッキー(共)

無線工學

二・一五

無線工學

一五

門岡速雄〔續〕 無線電信電話概論 無線電話の指針	二〇〇 二〇〇 一四〇	揖取松若 珪藻土を助劑とする濾過に 就て	一九四・四六	加藤順吉 コンクリートの配合法	二六	加藤武夫〔續〕 鑛床學總論 鑛床地質學 新編鑛床地質學 動力地質學〔共〕 內因的地質學力篇 萬國地質學會議	一五七・六七 一六七 一六七 一四・一五 一四 一八
門倉健之丞 農林測量學教科書	六六	加藤鐵郎 機械工學總論〔共〕 流體力學と翼並に水力機の理論 〔共〕	六 二六	加藤二郎 界面電解	二五・二八	加藤長四郎 會津鶴ヶ城御本丸明細全圖〔編〕 戊辰若松城下明細全圖〔編〕	三六 三八
門倉三能 結晶計算法 北滿金鐵資源 理論岩石鑛物學	一五 一五 一四	加藤和夫 實用土木設計々算例集上〔共編〕	五・七三	加藤次郎 日米獨の示方書に依り鐵筋コンク リート構造物の安全率を論ず 日米獨の鐵筋コンクリート示 方書其説明及例題	五 二	加藤正澄 最近的航空機〔共〕 自動車の實際知識	三〇 一〇三
門倉則之 建築と照明 電燈照明 電熱	二六七 二二・二三 二二・二六	加藤葵石 靜物寫眞の作り方〔共〕	三三	加藤信一 寫眞術階梯	二〇	加藤光三 電氣用物理學	二三
門多榮男 代用品工業〔共・編〕	二四八	加藤健 支那の石炭〔譯〕	二七	加藤成一 最近的商船設計建造及修理	二四	加藤安太郎 アンテナ 空中線	一四 一九・九四
門多道別 砂鐵ノ電氣爐製鍊試驗〔共〕	一六	加藤高臥 加藤機械工學	六	加藤政司郎 海戰史論〔共譯〕	三三	加藤與五郎 化學工業大要	一九
門馬豐次 北越石油業發達史	一七	加藤秋 映畫館の建築計畫	二三	加藤盛次郎 乗合自動車	一四	自己放電防止鉛蓄電池〔共〕	二〇・二八
香取秀眞 金工史	一八	加藤重一 保護繼電器	三八	加藤誠平 橋梁美學	七	電氣化學 電氣專門家の電氣化學	一〇・一五 一五

加藤與五郎〔續〕

鉛アンチモン合金の水素過電壓

(其)

鉛及び鉛アンチモン合金の

水素過電壓

理論應用電氣化學

加藤 万夫

自動車工學(其)

加藤 蓄二

工學フランス語

加藤 本重教

日本電氣事業發達史

河東 辰雄

製絲詳説

カナ―カへ

金井 三郎

土木工學橋梁編

金井 武一

飛行機及自動車講義

金井彦三郎

橋梁工式(編)

結構公式(編)

材料強弱(編)

水理公式(編)

測量公式(編)

土木工學結構編(其編)

道路公式(編)

木橋設計便覽(編)

金尾 忠義

内燃機關

神奈川縣總務部

工業調査書

神奈川縣廳舎建築事務所

神奈川縣廳舎競技設計圖集

金澤 兼光

和漢船用集(編)

金澤 重威

司法寫眞

金原 淳

空電並に其除去法

無線電信電話學

金森 錦謙

鐵道鑄鐵圖(譯)

金丸 重嶺

商業寫眞の作り方

金山 秀一

テレウキジョン裝置の製作法(其)

金子 恭輔

電氣製鐵・製鋼法(其編)

金子 源一郎

下水工學

金子 清吉

日本住宅建築圖案百種

日本住宅雜作圖案五百種

金子 登

水 力

金子 英雄

絹絲化學

製絲化學

金子 柱

自動車の速度に及ぼす車線幅の

影響に關する實驗並に之に基く

鋪裝幅員の決定に就いて

兼松 義隆

農地測量學(其)

可野 信一

權太の鐵業

狩野 春一

建築材料

鹿野 寧

微細粒子現象處理法

加納 儉二

久大西線筑後川橋梁架設工事報

告(其)

加納 盛吉

機械運動學

加納 四十二

家具の實用工作法

蒲 孚

河川工學

砂防工學

鎚木徳二 煙害鑑定法(共)	二七〇	鎌田 稔 炭素の燃焼による直接起電燃料 電池(共)	二〇六・二〇八	神津康人 制動装置	九・九二	龜井陸良 足尾銅山豫防工事一班(編)	一七〇
火兵學會 最近の精密機械 輓近の精密機械(共)	二〇三 二〇一	加美好男 最近人造絹絲工業概説	二二六	神谷六郎 傳送回路網學(共)	二二七	龜田吉郎平 和洋建築軒隅紘法圖解	二二六
カペイキン(露) ソ領極東地域に於ける新建築材料	二六五	神尾敬一 超短波の發生と應用	二九・二四一	上領純一 本邦化學工業之進歩(編)	一九六	龜田晴二 實用測量學(共) トラバー測量	三三 三六
カマ―カレ		神門久太郎 製圖用文字及圖譜集(編) 立體圖學	二六 四〇	龜井三郎 乾 燥 乾燥の研究 空氣の調濕・乾燥・抽出 固體輸送 蒸發・蒸溜及乾燥 透折器に關する研究(共) 本邦化學機械工業	一九二・二四 一九三・二四 一九二・二七 一九二・二七 一九四・二〇〇 二四二・二四 二四二・二四	龜山直人 化學工業概論 化學工業總論 乾電池陽極活物質の性質及 調製法に關する研究 寫眞感光の原理 電氣化學 電氣化學工業 電氣化學の理論及應用 電池及蓄電池	一九 一九・一九七 二〇三・二〇七 二二〇・二二四 二〇五 一九九・二〇五 二〇五 一九九・二〇六
鎌塚 明 木材の糖化及利用(共)	二四二	神藏信雄 航空發動機的设计	二九	龜井重磨 河川工事要覽 工師の友 市町村の水道 實用土木便覽 實用土木便覽 石灰及セメント使用法(編)	二五 二五 二五 四三 四三 四三 二五	鳴居 武 最新寫眞術 電氣鍍金術(編)	二〇 一九〇
鎌田彌壽 寫 眞	二九	神津輝人 製糸法講話(共)	二二	龜井 昱 防海微言	三三・三三	鴨志田兼吉 混泥土工事の實際	二六
鎌田魚妙 本朝鍛冶考	一八	神津叔祐 驚くべき圓錐形岩床と環狀岩脈 の發見 礦物のX線現象(共) 造岩礦物論 窯業原料礦物(共)	二七 一七・二二 一七・二四 一七・二五				
鎌田賢三 千圓以下で出来る理想の住宅	二八五						
鎌田 武 建築の最近施行法 建築の最近施行法イナランデータ―	二九 二五						

蒲生秀實  
奉吉田宰相書

二三

茅 誠司

金屬電氣材料  
磁性體論

二六・二六  
二三

辛木貞夫  
市場建築

二五・二六

柄澤郡治

神崎川分流に關する模型實驗

四・七四

(其)

樺太廳

內淵炭田附川上炭田

樺太炭田調査報告

樺太油田地質調査報告

北樺太炭田調査報告

西海岸北部地方

露領樺太ニ於ケル石腦油調査書

(譯)

樺太廳長官官房

食品論(編)

樺太廳長官官房調査課  
鐵山名簿

樺太民政署

樺太鐵產調査概報

一〇

刈屋他人次郎

實用工業數學(共)

六

伽禮斯知案遠兒天(獨)  
砲術基礎

二四

### カワ—カン

川井 一

材料強弱學

三

河合毅一

ポイントとクロッシング

六

河合賢次

市街電氣鐵道

二〇・四五

河合佐兵衛

銅鐵大觀(編)

一五

河合信次

工匠技術之懷

二六

河合 匡

機械工場用金屬材料  
金屬材料

二〇・九

河合銅商店

東郷ハガネ虎の巻

一八

河合 信

新撰土木工學全書(共)

四

河合義安

繭纖維の構成並に性狀に關する  
實驗的研究

三四

川上邦基

桂離宮御寫眞及實測圖(編)

仙洞御所修學院離宮御寫眞及  
實測圖(編)

二五

二條離宮御寫眞及實測圖(編)

二六

川喜田煉七郎

家具と室内構成

二九

モダン小商店設計グラフ

二五

河喜多能一

電磁氣測定及測定器(共)

二七

川口德三

色素製造化學

三元

川口虎雄

土木工學(共)

四〇・四

河口協介

上水工學

四〇・三

川越 溫

鐵道線路と建造物

六

川崎工場

川崎工場畫報

四

川崎繁太郎

朝鮮の金鑛

一五

川崎造船所

川崎造船所四十年史

二九

川崎千虎

尙古鎧色一覽(校)

三三

河津七郎

建築工事仕様見積(共)

二六

仕様見積(共)

二七

川下研介

工業熱力學(譯)

一八

川田正秋	機械部分設計	八九・九三	川畑健雄(續)	土木工事用金属材料分析試驗(共)	〇八	川村多實二	有用動物の分布	一五	韓 奕(清)	海防集要(編)	三四
	機械部分の締結法(共)	九二・〇二		道路舗装用タール乳劑に關する研究(共)	〇八・七						
	機械要素(譯)	九二・九三		普通・早強・中庸熱・珪酸質・混合セメント及高爐セメントに關する比較試驗(共)	二五・九	河村 協	道路橋設計實用表	九	關 天 培(清)	籌海初集	三四
	捲掛傳動裝置	九二・九三					道路橋の設計	九	官家壽男	電氣事業公私共同經營論	三三
	摩擦傳動裝置	九二・九三				河村公敬	大測表解(校)	三			
	冷凍關係の最近の研究	二四・二六	川端滿三	接合劑	一〇三・一〇五	河村信一	礦物學地質學講義	一五・一六	關西道路研究會	橋面舗裝調查報告書	六
河田三治	航空力學	二九				石 炭	地質界の現象	一五	關西道路研究會	鋪裝調查委員會	六
河田 英	金銀探鐵法	一六	川原兵一	橋梁工學	七				關西道路研究會	コンクリート	六
			土木製圖・設計法	五・六		河村文一	工業分析法	二	鋪裝調查委員會	コンクリート舗裝調查報告	六
川名孝次郎	水理學要義	七	河原一郎	染色法	三〇				神田勝久	六朝俚諺鈔(編)	三三
川西正鑑	化學機械工業の展望	二五・二六	河邊 浩	成層式" B "乾電池の製作研究(共)	一〇・一〇三	川本良雄	加熱爐ノ構造	一四	神田孝一	世界列強戰備比較論	三二
	化學工業及化學機械工業の展望	二五・二六									
川畑健雄	河水のボルトランドセメントに及ぼす影響(共)	七・七五	川村一水	土壤化學	一五	川原田政太郎	直 流 機	一〇	神田孝平	和蘭王兵學校提書(譯)	三九
	種々の土木工事材料に關する試驗(共)	〇八	川村清一	我邦ニ於ケル木造洋風家屋ト其腐朽	二五	テレビジョン(共編)	電氣機械	一四	神田選吉	初等電氣學	二三
						誘導電動機		一三	實用電氣學		二三

神田選吉(續)	二五	魏 禧(清)	三三	菊田多利男	一六	菊池 安	二五
電氣工學便覽	二五	兵 跡(編)	三三	鑄物本質論	一六	鑄物學教科書	二五
神田白龍子	三七	兵 法	三三	可鍛鑄鐵	二六・一六	木子幸三郎	二六
和漢武家名數	三七	兵 謀	三三	鐵鋼學上より見たる日本刀	三四	日本建築圖集	二六
關東州廳土木部	三	機械學會	六	菊地五郎	二五	木子清敬	二六
關東州に於ける水源調査報告書	三	機械學會雜誌	六	自動車工學	二五	日本建築圖集(校)	二六
關東廳遞信局	三	機械學會事務報告	六	菊地修一郎	二六	木越 進	二六
電氣事業要覽並瓦斯事業要覽 二〇・三四	三	機械學會論文集	六	素人にわかる住心地よき住宅と庭園	二六	世界優秀船圖說	二六
關東都府府	三	機械工學術語集	六	菊地常武	二六	岸 一太	二六
上水協議會議事錄(共)	三	國產機械圖集	六	和英對照機械用語解說集	二六	最新鋪道學	二六
關東都府府民政部	二五	座談會速記及資料	六	菊地嘉美	二六	實驗鐵冶金學	二六
東部內蒙古鐵產調査復命書	二五	蒸汽表及線圖	六	測量學解說	二六	岸井 堯	二六
南滿洲鐵產調査復命書	二五	企 畫 院	三三	土木材料學解說	二六	螺 絲(編)	二六
勸農局地質課	二五	佛國軍需工業國有法令	三三	道路工學	二六	岸田日出刀	二六
內國地質調査施行之主意	二五	汽罐協會	三三	道路工學設計及施工法	二六	莖	二六
神原 周	二五	汽罐取締令解說	三三	菊池 純	二六	歐洲近代建築史	二六
ゴムとゴム類似物	二五	鞠 清遠(民)	六	讀史戰論	二六	海外に於ける建築界の趨勢	二六
キ—キス	二五	唐宋官私工業	六	菊池英彦	二六	外國に於ける住宅敷地割類例集(共編)	二六
	二五	菊田善三	二五	發電水力學	二六	過去の構成	二六
	二五	計算表	二五	菊池正士	二五	現代建築大觀(編)	二六
	二五		二五	陰極線	二五	建築(共)	二六
	二五		二五		二五	建築寫真	二六





軌道研究會  
特殊分岐器  
六〇

絹川太一  
本邦綿絲紡績史  
二三四

木下淺吉  
アミノ酸製造法(共)  
二〇三  
安價原料醬油製造法  
二四〇  
醬油釀造法  
二四〇  
醬油・味噌・アミノ酸  
二四〇  
味噌釀造法  
二四一

木下龜城  
英和和英鑛物辭典(共編)  
一六三  
岩石鑛物及鑛床の顯微鏡研究  
一六・一六七  
黑 鑛  
一六・一六四  
輓近鑛物學(共)  
一六四

木下恭二  
亞鉛酸アルカリ蓄電池に關する  
二・三の實驗  
一〇六・一〇七  
アルカリ蓄電池用ペーステッド  
型酸化銀陽極板に關する  
研究  
一〇六・一〇七  
銀電池に其化合物を活物質主劑  
とする電池について  
一〇六・一〇八  
第二回應賞應募蓄電池見本に  
關する實驗(共)  
一〇六

木下恭二(續)  
第三回應賞應募蓄電池見本に  
關する實驗(共)  
一〇七

鉛蓄電池極板の放電に伴ふ  
重量變化  
二〇六・二〇八

鉛蓄電池の陰極板に及ぼす  
卑金屬硫酸鹽の影響  
二〇六・二〇八

鉛蓄電池の放電終止電壓に  
就て  
二〇六・二〇八

鉛蓄電池陽極板に及ぼす卑  
金屬硫酸鹽の影響  
二〇六・二〇八

ペーストの組成と陰極板の  
容量  
二〇六・二〇八

木下隆博  
陰極線管に依る諸測定  
二二七・二二八  
高電壓實驗法  
九・一二・一二三

木下武之助  
鐵道曲線測量表  
五  
復興局橋梁設計計算書集(編)  
七

木下義俊  
武用辨略  
一四

木原英一  
線路及停車場  
六

岐阜縣稻葉郡用排水普通水利  
組合  
七

岐阜縣河川變遷圖  
七

ギブソン(英)  
近世應用電氣學  
一四

キミ—キモ

君島武雄  
ゴム工業  
一九・二四七

君嶋八郎  
海工  
六

河海工學  
七・七五・七六・七八

河工  
七五

氣象  
七五

渠工  
七五

測量學  
七五

大測量學  
七五

地下水  
七五

地表水  
七五

道路學一斑  
七五

君塚淺治郎  
英國石炭及煉炭事情  
一七三

木村伊兵衛  
小型カメラ寫眞術  
二二・二三

木村榮二郎  
劇場・映畫館  
二五・二九

木村英太郎  
電氣機關車工學(共)  
一四

木村延二郎  
アミノ酸製造法(共)  
二二

木村久甫  
劍術不識篇  
三九・四一  
本識三問答  
四一

木村金太郎  
雜話及瑣語簡易製法  
二四

木村健二郎  
含稀有元素鑛物  
一七・二六

木村幸一郎  
建築と日照  
二五・二六  
住宅の平面計畫(共)  
二七

日照及氣象  
ビザンチン文化と建築(共編)  
二五・二六  
二六

木村貞吉 特別保護建造物綜覧(編) 二六〇	木村駿吉 イムピーダンス 二二 磁氣及電氣 二三 ダクチル・タンガステンの發明 七 (編) 二二・二七 ポテンシオメートル 二二・二七 レジスタンス 二二・二七	木村尙一 本邦無軌條電車の實績 一四一	木村季治 熱量標準藥としての安息酸に 就て(共) 二〇四・三八 ポンプ熱量計に關する參考事項 (共) 二五	木村忠雄 油母頁岩工業 三五	木村 乾 石油試験法 一七	木村増太郎 日本の糖業 二四三	木村 源 セメント工業に關する調査(共) 二・三五 分析成績彙集(共) 二・三三・二九・三〇	木村彌藏 料金制 二〇・三三	木村喜之 砂糖製作記 二四	木村律郎 海軍衛生 三〇	木村和三郎 脂肪酸誘導體の研究 三七 獨逸油脂工業標準試驗法(譯) 三六	木本氏房 寫眞測量 二六・三四	キヤ・キン 歸山教正 活動寫眞 二〇・三四 トッキーと天然色映畫 一四	キャンベル 光電管(共) 一四	虬 泰西七金譯說 一五	義勇財團海防義會 海防義會十五年史 三三	九州鐵道管理局 軌道整備規程施行細則附屬圖面 (編) 六	筑豊石炭ト鐵道統計圖 一七	許 倫(明) 九邊圖論 三八	玉 葉 會 獨逸の建築 二六	教育總監部 教育總監部所管學校統計年報 三八 教育總監部統計年報 三八 訓圖教程 一八 陸軍將校生徒及士官候補生召募 統計 三八	共益商社 鐵道軌道論(譯) 六	狂愚陳人 和戰得失辨 三七	協調會 全國主要工場鑛山名簿 二五	京都化學々士會有志 故理學士小玉新太郎君遺稿集 七	京都高等工藝學校 京都高等工藝學校學術報告 三	京都市 京都市三大事業工事一班 六 京都市三大事業誌 六 京都市市區改良取調書 六 上水協議會議事錄 六	京都市觀光課 京都の古建築 二六	京都市事業部 京都市水道要誌 五	京都市電氣局 京都市電氣事業沿革誌 三
-----------------------------	--	---------------------------	---	----------------------	---------------------	-----------------------	--	----------------------	---------------------	--------------------	--	-----------------------	--	-----------------------	-------------------	----------------------------	---------------------------------------	------------------	----------------------	----------------------	---	-----------------------	---------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	------------------------	------------------------	---------------------------

京都市土木局都市計畫課	三
京都市都市計畫基本圖	三
京都帝國大學化學研究所	一六
化學研究所講演集	一六
京都帝國大學工學部工業化學	二
研究室多研究室	二
入絹工場の設計と機械設備	二六
京都帝國大學工學部中央實驗所	二
工學研究	二
京都帝國大學日本化學纖維	二六
研究所	二六
日本化學纖維研究所講演集	二六
京都電氣株式會社	二六
屋內電熱工事仕様書	二六
京都電氣株式會社始末	二六
京都府	二六
近畿防空演習京都府記錄	二六
共立社	二六
化學機器材料	二六
化學工學講座	二六
高等機械設計	二六

共立社(續)	九
實驗工學講座	九
實修機械工學講座	九
實地工作法講座	九
實用機械工學講座	九
應用金屬材料講座	九
實用製造化學講座	九
寫真科學講座	九
電子工學講座	九
內燃機關工學	九
無線工學講座	九
橋梁研究會	六
橋梁研究會パンフレット	六
メートル式に依る鋼鐵橋梁設計資料	六
橋梁圖刊行會	六・九
東京市ノ橋梁	六・九
桐淵助藏	一六
金屬の銲接及截斷法	一六
桐生高等工業學校	三
桐生高等工業學校學術報告	三
キルヒホフ(獨)	二六・五三
竹組の力學	二六・五三

ギレスビー	三
土木工學道路篇	三
キーン	一三
指向受信と方向探知	一三
金(德純(荷)	三七
旗軍志	三七
金(階理(米)	二五
航海簡法(譯)	二五
金屬鑛業研究所	一七
鑛煙ノ稀釋ニ關スル試驗報告	一七
電氣收塵法に關する研究報告	一七
近代建築畫譜刊行會	二六
近代建築畫譜	二六
クサークレ	二四
口下耀山	二四
鑛業家要覽(編)	二四
最新鑛業家要覽(編)	二四
草鹿紙祐吉	二四
甘蔗糖及瓜哇製糖論(譯)	二四
甘蔗糖及其製造(共譯)	二四

日下部景衡	三五
本朝軍器考集古圖說(編)	三五
日下部東一郎	二五・二六
自動車庫(共)	二五・二六
日下部義太郎	二六
金剛石試錐論と上總掘試錐法	二六
草場信義	二七
近世模範建築圖集	二七
草間 偉(偉瑛武)	二七
上下水道	二七
土木施工法(共)	二七
草間秀雄	二七
滿洲の探金に就て	二七
久次米三夫	二七
日滿技工の技能比較と滿洲國機械工業私見	二七
故鯨井恒太郎教授記念事業委員會	七
鯨井教授の研究と發明	七
楠瀬雄次郎	二九
無線工學理論	二九
無線通信工學(共)	二九

楠 宗道	河	國富信一	窪田重弼	久美會
楠本吉次郎	躍進する我國の羊毛工業	地震講話	鐵山事業物語	家屋耐震構造論
葛山鐵造	實用鐵筋コンクリート工學	國友 孝	窪田清音	久米武夫
測量設計實用表(共編)	鐵筋混凝土設計實用表	久原躬弦	海戰布策	寶石辭典
朽木義男	空氣よりの製品	化學と鐵物	趙註孫子(訂)	久米福衛
屈 伸 舍	和漢軍書早合點	久保 進	熊谷直記	現 像 法
工東信吉	機關實驗	交流理論	硬化油	クラインローゲル(獨)
燃料及ヒ氣管力ノ溫度ニ就テ	噴射壓力試驗に就テ	久保俊彦	阿川義廣	コンクリート總覽
工藤武夫	滿洲の莫大小工業	水銀整流器(共)	武器考	冬のコンクリート
クニッファー(獨)	獨國民間防空(共)	窪川得三郎	神代健作	クラウゼヴィッツ(獨)
		雪景及山岳の撮し方	武教全書講錄	戰爭論
		久保田圭右	熊田健一	倉島 謙
		高等立體圖學	纖維防水防火加工法	清涼飲料水製造法
		製圖者必携	隈部 一雄	倉田 音吉
		久保田鶴雄	最新工業製圖法	木船構造學
		鐵業要鑑	内燃機關	倉田新之丞
		窪田三郎兵衛尉	内燃機關學	運轉經濟論
		築 城 記	熊本遞信局	藏田周忠
			管内電氣事業要覽	現代建築
				建築論
				ルネサンスの文化と建築(編)

久良知正二郎	栗原鑑司	栗山巳紀雄	黒川兼三郎
施工計畫及施工設備 二五・二七・二八	瓦斯及其副産物工業 二三	構築材料(共) 五	過渡現象論 三五
蔵野敏雄	石炭乾留工業 二三	グリーン(英) 二二・二三	交流現象論 三三
乾電池用二酸化マンガンに關する研究(共) 二五	燃料工業 三八	電氣及磁氣學に於ける解析數學の應用に關する論文 二三	交流理論(共) 二二・二三
倉橋藤治郎	栗原浩三郎	低温タールの成分に關する研究(共) 三八	黒川眞武
化學工學最近の進歩(編) 一九六	栗原信充	クルト 一九九	各種觸媒による石炭液化實驗結果(共) 二五
最新日本工業通論(共) 五	弓箭圖式 三六	日本鐵山編 二九	各種煖爐の輻射熱 三〇
藏前工務所	軍防會議義 三三・三四	車田千春 三七	瓦斯煖爐の輻射熱に就て 三八・三四
市街地建築物法 二五	刀劍圖考 三四	軍需工業論 三七	瓦斯バーナーに就て 三八・三四
栗岡 薫	武器袖鏡 三四	グルンスキー(米) 六	石炭液化の研究(共) 三九
單徑間無鉸橋鐵筋混凝土アーチの設計法 九	栗原忠三	堰堤と貯水池に就いての所感 六	石炭油化の研究(共) 三九
栗塚又郎	水力事業論 二〇	クレー(獨) 五	無煙燃料用煖爐に就て 三九・四〇
機關車 九	水力ノ應用 三	土壓及び地盤の支持力 五	黒川眞道
栗田護一	栗原美吉	黒板勝美	家屋殿舎考 二六
輓近電氣鐵道 一五	亞米利加合衆國製鐵業 一四	國寶建造物寶物目錄(編) 二五	黒川義信
栗原嘉名芽	グリムメ(獨) 三五	特建國寶目錄(編) 二五	臺灣の鐵泉(共) 三九・四〇
建築に關する音の科學と藝術 二二	獨國防空團 三五	特別保護建造物並國寶目錄(編) 二六	黒木高節
	栗山寛一		新日本家具製作及室内裝備品 二九
	大阪市公會堂新築設計指名懸賞競技應募圖案(編) 二五		和洋家具基本工作法 二九
			和洋家具材料 二九

黒木 謹	ハンス・ペールチッヒ氏建築作品集(編)	二五四	黒田英雄	醸造 篇	二五九	桑田 勉	ゴム及びゴム製品 香料及び香粧品 醸造及清涼飲料水(共) 清涼飲料 油脂化學 有機酸化製品	二〇・二四七 一九・二三八 二〇・二三八 二〇・二四一 二六 二〇・二〇三	景氣研究所(續) 人造石油 ステープル・ファイバー 代用品工業 電氣爐 特殊鋼 廢物利用工業 非鐵金屬	三五 二五 二六 二六 二六 二六 二六
黒崎幹男	曾禰達藏・中條精一郎建築事務所 作品集(編)	二五五	黒田朋信(鵬心)	建築雜誌 建築と趣味生活 都市の美觀と建築 東京百建築(編)	二五〇 二五〇 二五〇 二六〇	桑名彦次	天然瓦斯よりカーボンブラック の製造に就て	二四・二五	經濟情勢研究會 日本工業論(譯)	五
黒澤喜長次	建築材料(共)	二五五	黒田正夫	溫度測定法 金屬顯微鏡實驗法	二〇・八 二〇・八三	桑野正夫	戰爭の智識	二〇一	經濟調査研究會 鐵ニ關スル調査	一八四
黒田玄鶴	石綿論	二五五	黒田政憲	實用製陶學 陶器製造化學(譯)	二五 二五	郡司四郎	砂鐵の電氣爐製鍊試驗(共)	一八六	警視廳建築課 建築關係規則類纂	二九
黒田靜夫	河海構造物(共)	二五・七・八〇	黒野勘六	最新醱酵生理學 酒精及無水酒精 醱造學各論要義 清酒醱造と蛋白化學 滿洲國醱造業調査書	二三八 二〇三 二三八 二九 二四〇	ケイケンチクカ				二九
黒田泰造	化學工場設計	一九・二九	桑田正三郎	寫真例題集(編)	二三	荊 可 棟(明)	警陣圖說(共)	三七・三二	京城商工會議所 朝鮮工業基本調査概要	六
黒田武定	鐵道工學(共)	毛	電弧熔接鋼構造物		一八	景氣研究所 アルミニウム 工作機械		一八四 九	京城府産業調査會 鐵工業ニ關スル調査	一八四
黒田徳米	腹足類及び辨鰒類	一五							慶松勝左衛門 化學工業(共編)	一九一

阮逸(宋)

增衍樞機經

三七

玄昌

素書(點)

三九

建築學會明治建築資料ニ關スル委員會

員會

明治大正建築寫眞聚覽

二六

建築學參考圖刊行委員會

學校建築參考圖集

二七

西洋建築史參考圖集

二五七

日本建築史參考圖集

二五

建築學團

印度建築集

二六

建築學會

英和建築語彙

二五〇

建築學會五十年略史

二五

建築學會大會論文集

二五

建築學會パンフレット

二五二

建築學會論文集

二五

建築工學ポケットブック

二四九

建築工事標準仕様書

二五

建築雜誌總目錄

二五

建築術語集

二五〇

建築學會(續)

コンクリート及鐵筋コンクリート標準仕様書鐵筋コンクリート構

造計算規準解説書

二六・元

鐵骨鐵筋建築構造圖集

二六

東京橫濱復興建築圖集

二七四

東洋建築史參考圖集

二七〇

文様集成

二六

メートル法ニヨル木造規準圖集

二七五

建築金物商會

鈴木式鋼鐵鐵ラ

二六

建築書報社

美術建築應用圖集

二九

木造及鐵筋コンクリート建築仕様見積圖解(編)

二六

建築研究會

大體記念京都美術館懸賞設計圖案集

二五

洋風建築構造各部詳細圖編

二六

建築工藝協會

建築工藝畫鑒

二六

增建築工藝畫鑒

二六

建築工藝叢誌

二六

ケンチクシヤ

建築寫眞類聚刊行會

朝日住宅寫眞集

二五・五八

新しい室内意匠

二五・六七

新しき階段の構成

二五・六九

アパートメント・ハウス

二五・六三

アメリカ近代住宅

二五・六四

醫院建築

二五・七〇

石燈籠集

二五・六七・七三

居間及食堂

二五・六二

映畫館建築

二五・七八

和蘭近代住宅

二五・六四

改造住宅

二五・六三

階段

二五・六八

外部裝飾

二五・六七

改良便所

二五・六二

改良和風便所

二五・六三

家具

二五・六〇

學校建築

二五・七八

活動寫眞館

二五・七九

カフェー外觀集

二五・七九

官衙學校

二五・七九

喫茶店の新構成

二五・七九

客間及廣間

二五・六三

橋梁

六・五三

銀行會社

二五・七九

近代裝飾意匠圖案

二五・八八

劇場建築

二五・七九

玄關

二五・六三

建築寫眞類聚刊行會(續)

建築金具

二五・六六

國際謝恩塔

二五・七九

公共建築

二五・七九

工業建築

二五・七九

公衆浴場

二五・七九

講堂と圖書館

二五・八〇

室内裝飾

二五・八八

十五六坪の小住宅

二五・八二

住宅の外観

二五・八三

住宅の翠翳莊

二五・八三

住宅間取圖

二五・八三

書齋と應接

二五・八〇

小規模の美術館

二五・八〇

瀟灑なる建物

二五・八〇

商店建築

二五・八〇

塔壁

二五・八〇

新興アパートメント

二五・八〇

新興住宅の室内構成

二五・八〇

新時代の家具

二五・八二

寢室及化粧室

二五・八三

神社佛閣

二五・八〇

新住宅の浴室

二五・八三

數寄屋趣味の店舗

二五・八〇

數寄屋趣味の料亭

二五・八〇

數寄屋造住宅

二五・八〇

數寄屋造の別荘

二五・八〇

ステインドグラス

二五・八〇

建築寫真類聚刊行會〔續〕

世界の新興住宅	二五・六三
裝飾塔・裝飾門	二五・八〇
建具	二五・七〇
煖爐	二五・六六
茶室	二五・六三
茶室建築	二五・六三
茶室の由來	二五・八三
中流住宅の浴室	二五・六三
庭園の局部	二五・六二
庭門及四阿	二五・六三
停車場建築	二五・六一
天井	二五・六九
店頭裝飾	二五・六九
電燈裝飾	二五・六九
獨逸近代建築彫刻	二五・六九
獨逸近代住宅	二五・六四
特殊建築	二五・六一
床の間	二五・六九
塗裝・鋪裝・石積意匠集	二九
東都映畫館建築	二五・六〇
ドーム建築	二五・六一
東洋趣味の新住宅	二五・六四
日本趣味の折衷住宅	二五・六四
バラック建築	二五・六一
百貨店	二五・六一
百貨店白木屋	二五・六〇
病院建築	二五・六一

建築寫真類聚刊行會〔續〕

表現主義の彫刻	二五・九〇
舞臺裝置と舞臺設備	二五・八五
文化住宅	二五・八四
文化住宅の家具	二五・八四
米國圖書館建築	二五・六四
別荘建築	二五・六一
ホテル建築	二五・六一
墓標と記念碑	二五・九三
望駿莊	二五・六一
窓及勾欄	二五・六九
都ホテルと京都ホテル	二五・六一
明治神宮寫真集	二五・六一
木造小住宅	二五・六四
門	二五・六四
遊園地の建物	二五・六一
洋風窓	二五・六九
欄間	二五・六九・七〇
理想の臺所	二五・八五
旅館建築	二五・六一
林泉集	二五・九三
レストランとカフェー	二五・六一
和風住宅の室内構成	二五・九〇

ケンチクシヨ―ケンチ

キュー

建築書院	二五・六九
外形と諸部百種	二五・六九

建築書院〔續〕

家屋諸造作雛形	二八
かし家と小住宅建築圖案五十種	二七
交流理論	二二
建具と手摺百種	二五・七〇
直流機械	二〇
鐵道線路工事便覽	二八
電氣測定器	二二
電氣通論	二五・六九
床棚百種	二四
日本家屋寫真叢書	二四
無線電信電話	二四
木造洋館雛形集	二五
門と玄關百種	二四・六五
欄間百種	二四・七〇
和洋住宅建築圖集	二五

建築資料協會

建築資料協會十五年史	二五
建築資料共同型錄	二五
建築博覽會住宅設計圖案集	二五
建築博覽會商店設計圖案集	二五
日本建築資料發達史	二五

建築資料研究會

英和獨佛獨和英佛土木建築用語	四・五〇
新辭典	四・五〇
第一回土木建築資料總覽	五・六五
第二回土木建築資料總覽	五・六五

建築圖譜社

美術建築圖譜	二九
建築世界社	二五
家屋建築設計便覽	二五
建築圖案集	二五
住宅建築	二五
建築設備研究會	二五
建築設備	二五
建築設備畫報	二五
建築卜設備現行法令全書	二五
建築土木資料集覽刊行會	二五
建築土木資料集覽	二五
建築普及會	二五
平和記念東京博覽會出品文化村	二五
住宅設計圖說	二五
建築有志協會	二五
建築工事請負契約書	二五

コーコケ

吳起(漢)	三六
吳子	三六



吳人驥(清)	三〇〇
孫子十家注(校)	三〇〇
胡宗憲(明)	三四
海防圖論	三四
胡林翼(清)	三三〇
讀史兵略	三三〇
小穴富司雄	三三〇
酒造鳥瞰	三三〇
小池啓吉	三〇七
橋梁工學	三〇七
小泉吉兵衛	二九二
茶の湯用家具類	二九二
木工藝と其要材	二九二
和洋家具製作法並圖案	二九〇
小泉信三	三〇七
支那事變と日清戦争	三〇七
小泉丹	三〇七・三〇八
戦争の原始形態	三〇七・三〇八
小泉久雄	三三四
日本刀の近代的研究	三三四

小磯國昭	二九七
航空の現状と將來(共)	二九七
小岩隆道	三三四
最新絹絲紡績學	三三四
人造纖維紡績	三三五
ステープル・ファイバーと其の製品の進歩	三三七
小岩井 兼	三三〇
化學實驗と鐵物鑑定(共)	三三〇
古宇田 實	二五〇・二五三
建築と關係深き庭園	二五〇・二五三
フレッチャア建築史(共譯)	二五七
古賀逸策	二一〇・二三
壓電氣と高周波	二一〇・二三
古賀國藏	二九
實用齒牙割出法	二九
特殊鋼と炭素鋼(共編)	二八三
バイト使用法	二〇一
古賀辰巳	二九
鐵山測量學	二九

古賀 煜	二三
海防隱測	二三
國英(清)	三三
武經七書彙報(訂)	三三
國際工學協會	二〇
實用工學講座	二〇
國際交通文化協會	二〇
戰時の交通と通信	二〇
國際政治經濟研究會	二〇
軍需工業論(譯)	二〇
軍備と國民經濟(譯)	二〇
國際電氣通信株式會社	二〇
無線の研究	二〇
國際聯盟協會	二三
軍備縮小問題研究資料	二三
國際勞働事務局	二
有害工業解説	二
國生行孝	二六
海圖の話	二六

小久保定次郎	二八五
アルミニウムの性質及用途	二八五
黑龍會調查部	二八五
全滿蒙鐵道統一計畫調查書	二八五
木暮共七	二七三
新撰大工雛形	二七三
木曾恕一	二六七
新しき家と家具裝飾	二六七
椅子と卓子	二六七
ウアーニッシン塗裝法	二六七
家具の設計及製作	二六七
近代の事務家具	二六七
現代日本の家具	二六八
室内裝飾家具製作圖	二六八
住宅家具設計及製作圖(編)	二六八
木材の加工及仕上	二六八
古賀軒緑水	二六八
藝術二葉始	二六八
古建築圖集刊行會	二六八
古建築圖集	二六八

コサ—コノ



後藤守一

武器武裝

三五

後藤安太郎

鐵道信號

一〇・一八

後藤米太郎

學校建築講話

二七

小中義美

撫順産頁岩石蠟に關する研究

三五

小浪 博

金銀銅探鑛冶金學

一六・一八

小西常助

近世化學工業(其)

一九

小西彦太郎

計算必携(其編)

二七

木葉會(東京帝國大學建築學科)

西洋家具集

二九

東京帝國大學工學部建築學科卒業

計畫圖集

二七

日本建築細部及文様圖集

二六

コハ—コホ

小林儀一郎

廣東省地質鑛物調查報文

一六・二七

小林久平

酸性白土

一五

酸性白土及活性炭

一五・二九

石油及其工業

一七

燃料篇

九・一七・三五

木材乾溜工業

二〇

小林健次郎

分析成績集(其)

一九・二三

小林紫郎

隧道工學

二

小林隆德

カフェ・レストラン

二五・二九

小林枝吉

數寄屋構造法

二六

小林貞一

奧陶紀

一五・一五

小林德松

紅油製造試驗・紅油の品質鑑定法  
に就て・紅油及油種の貯藏試驗

三・三九

小林秀二郎

夜間寫眞

二三・三四

小林廣二

樞構式鐵筋道路橋

七

計略例木筋橋及道路橋設計解説  
詳細圖解筋コンクリート橋設計圖集

六

小林宏治

搬送電話

二七・三八

小林正次

光電管・セレンウム管の工業  
應用(其)

一四・一四

眞空管

眞空管

一四・一四

小林 寬

炭塵爆發及其豫防法に就て

一七

小林政一

運動場

二五・二六

建築計畫(其)

二五

建築施工法(其)

二五・二六

體育館及演武場

二五・二六

美術館

二五・二六

小林良之助 接觸反應(共) リノリウム及び油布	一九・二〇〇 一九九	小牧實繁 今年「一九三一」九月巴里に開かる べき國際地理學會議 砂丘に關する若干の文獻 先史人類の生活と環境 歴史地理學	一九九 一九九 一九九 一九九
小引 掌 土木工事標準設計集	五五	小槇和輔 倫敦軍縮會議と日本	三三
小平 吉男 應用數學(共編)	二六	駒澤利雄 酸酵基礎學	二二八
小藤文治郎 石川縣加賀國手取川近傍地質概測	二六	駒澤 康 三銃用法論 新制小艇放大銃法 陸戰秘訣 論海防臆測	三三 三四 三四 三九 三五
鑛産工業材料(編) 鑛物字彙(共編)	一八〇 一八三	小室信藏 實用配色法 日本家具圖案と製作法(共)	二二 二二 二九
古藤田俊定 一刀齋先生劍法書	三九・三四二	小室三郎 鋪裝及其の材料吸水率試驗成績(共)	二九 二九
小堀 正男 測器詳解(共)	二九五	小室靜夫 銅冶金法	二八五
「マ—ロ」		小室豐三郎 「デューゼル」機關	九七
駒井和愛 支那古器圖攷(共編)	三三三	古茂田甲午郎 學校(共) 東京市の小學校建築	二五・二六 二五・二六 二五・二六
駒形作次 電氣化學並に電氣滲透(共)	二二五	孤田康一 昭和五年陸軍大學校滿鮮戰史旅行講話集(編)	三九
		小山一郎 日本產土木建築石材 本邦產建築石材(共) 本邦產主要建築石材琢磨效果圖(共)	二六 二六 二六 二六
		小山 清 製絲現業便覽	二二
		小山憲次 交流充電裝置の製作法 誰にもできる蓄電池の製作及其充電法	二二 二二 二二
		小山 哉 工業分析法(譯)	二
		小山柳一 水力電氣	二二
		御料局 測地表	二七
		コルベニジエ(佛) 建築藝術へ	二五
		コロナ會 過渡現象の理論及計算(譯)	二二・二五

コ罗纳會(續)	三五
過渡現象論(譯)	二六・二二
工業數學(譯)	二一
高電壓工學に於ける誘電體現象	二三
(譯)	二三
交流機(譯)	二三
交流現象の理論及計算(譯)	二二・二三
ジョーレー交流整流法(譯)	二三
水力發電所(譯)	二四
スタインメッツ全集(譯)	二二
スタインメッツ傳	七・二一
直流機(譯)	三〇
電氣及磁氣學(譯)	二三
電氣回路の理論及計算(譯)	二二・三五
電氣機械故障の診療(譯)	二九
電氣機械の理論及計算(譯)	二二・二九
電氣工學理論綱要(譯)	二二・二三
電氣鐵道(譯)	一五
電 纜(譯)	二六
パールの照明工學(譯)	二四
保護繼電器(譯)	二九
放電波動及衝擊(譯)	二四
ロース電氣測定法(譯)	二七

コローコーム	三七
公 係 弘(漢)	三七
握奇經解	三七
江 阿 嬰	三
臺灣全島天然ガス發生地・同分析	三
調査表(共)	三
黃 波 清(民)	一四・一六
中國南部之三疊紀地層	一四・一六
黃 獻 臣(清)	三七
尉繚子直解	三八
三略直解	三八
司馬法直解	三八
六韜直解	三八
黃 鐘(民)	三三
軍事情政治工作	三三
黃 炳 堃(荷)	三五
測地志要	三五
コーアン(米)	一七
發聲映畫	一七

工 學 會	五
日本工業大觀	七
明治工業史	七
工學協會	八
工學字彙	八
工學用語調査會	九
和英對譯工用手語辭典	九
工業化學會	一六
工業化學語彙	一六
工業化學雜誌(第一一四〇編)	一六
總索引	一六
實用化學便覽	一六
本邦工業化學研究業績概要	一六
工業化學會滿洲支部	一六
滿洲の資源と化學工業	一六
工業畫法研究會	一六
土木基本及構造製圖	一六
工業教育會	一八
現代之電氣	一八
日光電氣精銅所	一八
紡織要覽	一八

工業講話會	三九
工業事故豫防法	三九
工業雜誌社	六
紐育高速鐵道設計基本方書(譯)	六
工業試驗所	一五
工業試驗所報告	一五
工業資料調査會	一
工業要錄	一
工業調査協會	一六
鑄物四講	一六
機械設計資料	一六
計 器	一六
日本工業總覽	二
工業圖書株式會社	三三
液體燃料工業最近の進歩	三三
航空工業最近の進歩	三九
工作機械最近の進歩	一〇〇
人組工業最近の進歩	一〇〇
電氣工業最近の進歩	一〇五
燃料工業最近の進歩	三八

工業之日本社	五	鑛山懇話會	一七〇	河野信治	二四二	神戸市役所	六
日本工業要鑑	五	鑛毒調査資料	一〇一	支那の糖業	二四二	神戸市工業調査書	六
航空機工學大講座編輯局	三〇〇	日本鑛業發達史	一七〇	日本糖業發達史	二四二	神戸市水道擴張誌	六
飛行機取扱法	三〇〇	米國に於ける鑛煙處理法	一七〇	河野 武	二〇二	神戸市水道略誌	六
航空協會	二九七	工場能率増進研究會	空・九	加硫促進劑	二〇二	神戸市役所商工課	六
日本航空史	二九七	蒸汽及水力タービン潤滑法	空・九	河野輝夫	二六七	神戸市工業概況	六
航空評議會	二九七	工 政 會	一	建築及特殊構造	二六七	神戸商工會議所	八〇
航空用語	二九七	科學及工業最近之進歩	一五・二八七	建築構造	二六七	港灣調査委員會報告	八〇
航空用語調查委員會	二九七	住宅の照明	五	構造物振動論	二・二五	神戸製鋼所	一八四
航空用語	二九七	日本工業要錄	五	幸林良作	一〇一	神戸製鋼所	一八四
皇國報恩會	三五	廣丹晨父	二七六	減摩劑及減摩法	一〇一	神戸税關	三九
防空大鑑	三五	匠家秘傳(編)	二七六	興福寺本堂修理事務所	二六二	合成染料に關する調査	三九
香坂要三郎	二〇・三四	皇道振興會	三二	興福寺本堂修理工事報告書	二六二	人造絹絲に就て	三六
石炭ガス及工業用ガス	二〇・三四	皇國の軍備と國勢	三二	講 武 所	三四	神戸税務監督局	二四〇
高坂昌臣	三五	高等捕獲審檢所	三〇七	講武所規則覺書	三四	灘酒沿革誌	二四〇
武器要説	三五	明治三十七八年戰役捕獲審檢誌	三〇七	工部省鑛山課	一五	光棉研究會	二三
鑛山協會	一六	河野 鯨雄	一八〇	鑛山借區圖(明治六年至十六年)	一五	光棉混用に關する諸問題	二三
鑛石と探鑛法	一六	冶金學(共筆記)	一八〇	神戸高等商船學校	二九	工務局設計課	二七四
		河野春庵	三五	内燃機關に使用する燃料油の研究	二九	線路建造物圖集	二七四
		戰略論(共譯)	三五	報告	二九	香村小錄	二六
						鑛山測量術(共)	二六

コーヤーコン

高野山金堂再建方勘進所  
高野山金堂彫物・銅鑿鑿形繪圖

二六

洪 洋 社

オットー・ライス 圖案集

二六

和蘭の近代建築

二六

和蘭ヒルヴエルのサムムの建築

二六

各種アングル抗壓及抗張強簡易計

二六

算表

二六

議院建築意匠設計競技圖集

二六

近世建築

二六

軍人會館競技設計圖集

二六

建築裝飾圖譜

二六

新傾向之住宅

二六

新住宅

二六

樞密院建築畫帖

二六

聖德記念繪畫館及葬場殿址記念建

二六

造物競技設計圖集

二六

セセッション圖案集

二六

チエーツェンテル圖案

二六

日清生命保險株式會社長瀬商店事

二六

務所競技設計圖集

二六

日本建築圖解

二六

日本俱樂部寫真集

二六

日本工業俱樂部

二六

洪 洋 社(續)

博覽會建築圖集年鑑

二六

博覽會號

二六

ハンブルグの智利館

二六

表現文様集

二六

佛蘭西近世建築

二六

文化村の簡易住宅

二六

明治神宮寶物殿競技設計圖集

二六

コーラー(米)

二六

電子管原論

二六

航路標識管理所

二六

航路標識管理所年報

二六

航路標識便覽表

二六

燈臺要覽

二六

日本航路標識便覽表

二六

今和次郎

二六

郷土建築

二六

日本の民家

二六

コンクリート調査委員會

二六

鐵筋コンクリート標準示方書

二六

權田慶治郎

二六

金屬材料及其重量表(編)

二六

鋼材の新寸法と其算定重量表

二六

ポケット用金屬材料の重量表(編)

二六

コンドル博士記念表彰會

二五

コンドル博士遺作集

二五

近藤市三郎

二五

四連モーメントの定理とその應用

二五

(共譯)

二五

近藤會次郎

二五

近世工業化學書

二五

石油

二五

近藤金助

二五

蛋白質物理化學

二五

近藤堅二

二五

地質斷面圖の幾何學的作成法(譯)

二五

近藤謙三

二五

高層建築物後退規定の提唱

二五

近藤正一

二五

室内裝飾

二五

近藤清治

二五

陶磁器工業

二五

近藤武義

二五

臺灣糖業一斑

二五

近藤平三郎

二五

醫藥品製造工業

二五

製藥化學(增訂)

二五

近藤泰夫

二五

廣東の道路

二五

構造強弱學(共)

二五

コンクリート配合の合理化

二五

測量

二五

臺灣の道路

二五

中北支道路走り歩る記

二五

サイーサイエ

二五

崔應階(清)

二五

靳文襄公治河方略

二五

蔡元定(宋)

二五

八陣圖解

二五

蔡鼎(明)

二五

鍋萬遠堂時務要略

二五





坂 靜雄〔續〕	
鐵筋コンクリート平面と曲面構造	三
偏心荷重を受ける鐵筋混凝土材の應力計算法及び斷面決定法	三・五二
酒井佐明	二三
理論電氣磁氣學(共譯)	
彭城嘉津馬	四
土木工學結構編(共編)	
坂岡木太郎	五七
橋梁構造編	
實用理論測量學講義	四
測量學講義	四
鐵道工學講義	六
神 令輔	三九
火技全書圖	
神原青葉	三三・三三
ゴム印畫法	
神原長俊	三六
本邦刀劍考	
神原芳野	二四
醬油集說	

坂下綱次	最新高級照明器具(編)	一五
坂田秀太郎	塗工材料及塗仕上法	二六
阪谷良之進	藤原時代の建築と佛像に就いて	二六
酒見恒太郎	顔料及びレーキ 塗料製造と其使用法	一九・二三 二二
坂元左馬太	曲線表及曲線布設法(編) 鐵筋コンクリート設計及施工(共) 道路水路曲線表(編)	五九・六四 三〇 六四
坂本順次郎	清酒釀造經過に關する調査成績 (共)	二九
坂本助太郎	淀川の出水及其豫報	九
坂本辰之助	日本外戰史	三〇四
坂本種芳	近代的建物の機械設備(共)	二六七
坂本峻雄	滿洲の鑛產資源	一五
坂本陶一	都市及電氣鐵道	一四
阪本捷房	光電管(共譯) 發聲映畫(譯) 光通信	一四 一四 二九・二三
相良就興	武門太平不忘记	三六
佐久間象山	土真田侯書 退發擊銃圖說 砲學圖編 砲 卦	三三 三四 三四 三五
佐久間田之助	日本建築工作法	二七
佐久間哲三郎	代用品と再生品(共)	二四
柵山茂三郎	色素化學汎論 新顯色染料の研究	三九 三九
櫻井省吾	衛生工學 建築衛生工學(共) 暖房換氣工學(共)	二五・二六 二六 二六
櫻井忠溫	陸軍篇	三八
櫻井秀雄	感光性色素	二〇九・二四
櫻井盛男	各種鐵筋コンクリート工の實地設計計算 初等橋梁工學 擁壁橋梁橋脚及各種基礎工の設計施工	三〇 三七 七
櫻井良雄	建築(共)	九・四八
櫻田一郎	人絹手帳(編)	二六

櫻田 勉	古文孫子略解	三〇
佐々木岩次郎	和風建築の木割と仕口(共)	二五・二六
佐々木一雄	アンモニア酸化法	一〇・一〇五
佐々木熊三	乾電池用二酸化マンガニに關する研究(共)	二〇六・二〇七
佐々木高吉	簡易構造強弱(共)	五〇
佐々木孝之助	和風建築の木割と仕口(共)	二五・二六
佐々木重雄	測定工具及測定法	一七八・九
佐々木伸吉	電線計算法(編)	二七
佐々木信暉	新開寫眞	二二・二四
佐々木新太郎	金屬材料の電弧熔接 金屬の缺陷検査 熔接と瓦斯切斷 熔接部の検査及試驗法	二六・二八 二八・二九 八・八九 一八九
佐々木達治郎	航空計器 航空物理學 流體力學	一〇・二九・九 二九八 二〇
佐々木太郎	活動寫眞撮影法	三二・三四
佐々木恒太郎	水力土木工事設計計算之彙(共)	三三
土木設計實例		五六
佐々木彦一郎	村落調査方法の研究 地理的環境論	一五九 一五六
佐々木秀賢	毛織工業	二五
佐々木正元	孫子合契	三〇
佐々木三九馬	戰時化學工業論	一九二
佐々木民部	飛行機の設計及計算法實例	二九
笹倉正夫	地質學史(共)	一四・一五
笹治庄次郎	採光通風を主とする住みよき小住宅の設計	二五
笹田助三郎	送電配電(共) 電線及電纜(共)	二五 二六
笹原俊雄	化學に於けるX線の應用(共)	二九
佐澤太郎	地質學(譯)	二四
佐世保海軍工廠 工學便覽		七
貞清玄龜	無線絶緣材料	一三・一四
札幌鑛山監督局 鑛區一覽(共)		一五
札幌鑛山監督署	石狩煤田地質調査報文 空知郡煤田地質調査報文 夕張郡地質調査報告 夕張郡地質調査報文	一七 一七 一六 一七
札幌鑛務署	札幌鑛務署管内鑛區一覽	一五
札幌遞信局	札幌遞信局管内電氣事業要覽	二〇
佐土原 勳	鐵道工學大意	五八
佐藤彰美	和洋建築常識	二五〇
佐藤榮吉	化學工業用機械	二四

サ  
タ  
|  
サ  
ト

貞清玄龜	無線絕緣材料	札幌鑛山監督局	鑛區一覽(共)	札幌鑛山監督署	石狩煤田地質調查報文	空知郡煤田地質調查報文	夕張郡地質調查報告	夕張郡地質調查報文	札幌鑛務署	札幌鑛務署管内鑛區一覽	札幌遞信局	札幌遞信局管内電氣事業要覽	佐土原 勳	鐵道工學大意	佐藤彰美	和洋建築常識	佐藤榮吉	化學工業用機械
一三・一四			一五		一七	一七	一六	一七		一五		一三〇		一五		一五〇		二四

佐藤勝雄	伊能忠敬測量日記抄(編)	七
佐藤鑑	自動車庫(共)	二五・六
佐藤清勝	新兵器の知識	三七
佐藤功一	住家設計圖案(編)	二七
住宅建築	住宅の平面計畫(共)	二五・六二
西洋建築史	川邊淳吉氏作品集(編)	二五・五七
佐藤定吉	護謨の研究(共)	二七
佐藤芝夫	耐震耐彈藥及柱の新理論	二七
佐藤肅	地下構造物歩掛(共)	五
佐藤武夫	オーディトリウム	二五・六
建築音響	建築の防音構造	二五・七

佐藤佐	大日本建築全史	二五
日本建築史	日本神社建築史	二五
佐藤忠義	朝鮮地質鐵產圖(編)	二五
佐藤龍猪	化學實驗と鐵物鑑定(共)	一五
佐藤坦	孫子訓詁	二五
佐藤綱次郎	國民的戰爭と國家總動員	二五
旅順攻圍秘話	久大西線筑後川橋梁架設工事報告	二五
佐藤豪	(共)	六
佐藤鐵太郎	英國ニ關スル軍政調査資料集(編)	二五
帝國國防史論	帝國國防史論抄	二五
補修帝國國防史		二五

佐藤傳藏	岩石地質學	二五
氣候と人類との關係	大氣	二五
大鐵物學	地質學	二五
地質學提要	佐藤利泰	二五
軌道工學	軌道・無軌條式電車	二五
土木施工法及材料	佐藤知雄	二五
金相學實驗法	佐藤仁之助	二五
稻城築造考	佐藤信有	二五
佐藤信有	堤防溝渾志	二五
佐藤信淵	一隊轉戰法	二五
佐藤元海議	三銃用法論	二五
自走火船圖說	實武一家言	二五

佐藤信淵(續)	實武一家言抄錄	二五
新制小艇放大銃法	水戰法秘訣	二五
水陸戰法錄(譯)	堤防溝渾志(校)	二五
吞海肇基論序言	防海策	二五
防海餘論	陸戰秘訣	二五
佐藤弘	經濟地理學に於ける文化階梯と	二五
經濟階梯	經濟地理參考文獻	二五
佐藤博	クライダー	二五
佐藤寛政	現場コンクリートの強度並に之に及ぼす施工條件の影響に就て	二五
(共)		二五
佐藤正雄	本邦道路橋の重量(共)	二五
鎔着鋼引張試驗用小型試驗片(共)		二五

佐藤政資	二三	佐藤廉平〔續〕	七〇	佐野英	二五五	佐野利器	二六八
電氣磁氣學講義		橋梁工學トラスの設計	七〇	ソ領極東地域に於ける新建築材料		歐米中央市場圖集〔共〕	二六八
佐藤雅	一〇六	橋梁工學プレート・ガーダーの設計	七〇	(譯)		家屋耐震並耐風構造〔共〕	二五・二七〇
最近の農村電化		橋梁工學木桁橋の設計	七〇	佐野榮治	一九	建築構造學最近の趨勢	二五・二七〇
農村電化	一〇六・一一〇	實用鐵筋混凝土計算法	七〇	應用力學講義		住宅論	二五・二七〇
佐藤巳之吉		鐵道工學	七〇	佐野悞		耐震構造汎論〔共〕	三
金屬着色塗裝法及鋼鐵家具製作法	二九	土木建築設計ハンドブック	七〇	放電池活物質製造の二方法〔共〕	二〇六・二〇八	佐橋佳一	二〇〇・二二一
と其設計圖	二九			放電狀態にある活物質の組成に關する知見	二〇六・二〇八	食品・營養品及調味料〔共〕	二〇〇・二二一
最新和洋建築材料	二五	眞井耕象	三	放電狀態に於ける鉛蓄電池極板活物質の本性に就て〔共〕	二〇六・二〇八	鮫島實三郎	二四七
最新和洋木工の使ひ方及木工機械製作	二〇三	道路工學	三	佐野喜三郎	二七	膠質學	二四七
木材着色及仕上法	二〇三			實用鐵工表		鉛電池活物質製造の二方法〔共〕	二〇六・二〇八
和洋木材の性質及加工法	二〇三	早苗會〔早稻田大學〕		佐野勝雄	二六	放電狀態に於ける鉛蓄電池極板活物質の本性に就て〔共〕	二〇六・二〇八
佐藤吉彦	二〇〇	近世建築圖集	二七二	應用數學		更田健作	二七
最新染色法	二〇〇	新時代の建築	二五九	佐野勝舊	二四	送電系統の安全問題	二七
最新染料及顔料化學	二〇〇	眞田秀吉	七	柳生流新秘抄	二四	佐和九郎	二二・二三
精練・漂白及浸染篇	二〇〇	河川水流の制御に就て	七	交流變壓器	二三	撮影の實際	二二・二三
佐藤林藏	六	日本水制工論	七	佐野志郎		澤金雄	二四三
實用工業數學〔共〕		佐貫亦男	二九・二九九	交流變壓器	二三	甘蔗糖學〔譯〕	二四三
佐藤廉平		プロペラ		佐野志郎		澤宣治	二九七
橋梁工學基礎の設計及施工	充	實升敏人	二四	交流變壓器	二三	ソウェット空軍と航空工業	二九七
橋梁工學橋臺と橋脚の設計	充	壓縮に依る木材増強法の研究〔共〕	二四				
橋梁工學鐵筋混凝土桁橋の設計	充						

澤井寛一	實用鑄造法 熔解及鑄造法	一八六 一八七
澤口悟一	樹脂漆器(共)	二〇〇・三三
澤田名垂	家屋雜考	二八五
澤藤忠藏	航空機用高壓磁石發電機に就て	二九・三九 三九・六六
	電氣點火(共)	九五・六六
	電氣點火故障及修理法(共)	九五・六六
澤村眞	食物化學	二四二
參謀本部	歐洲列強陸海軍備地圖 征西戰記稿 西方戰場ニ於ケル統帥ノ真相 蘇波戰史 日清戰史 日獨戰史 日本戰史 日露戰史	三二 三二 三二 三二 三二 三二 三二 三二 三二

參謀本部(續)	滿洲事變史 滿洲ニ於ケル支那軍掃蕩戰 明治四十一年特別大演習地圖 列國陸軍ノ現況	三〇七 三〇七 三〇九 三〇九
產務關西支部	軍事科學とストライキ(譯)	三〇二
シーシフ	史朝富(明) 龍川先生酌古論(編)	三三
	シアー(米) 回路網及び濾波器 シエレー(英) 工場用具論 シエレー(獨) 工業熱力學	一五 一五 一五 一五 一五 一五
鹽田順庵	海防變議(編) 海防變議補(編) 海防變議(編)	三三・三五 三三・三五 三三・三五

鹽野庄四郎	日本建築粉樣龜岡圖集(編) 最も調和せる家と庭(編)	二六 二六
鹽谷世弘	籌海私議	二四
鹽見賢吾	低級炭化水素の重合に就て	三三・三四
志賀潔	電氣收塵法に關する研究 報告 Lancashire 汽罐に應用せる 炭粉燃燒試驗報告(共)	二七 二七 三九・三三
滋賀縣	大正六年陸軍特別大演習滋賀縣 記錄	三九
滋賀縣內務部	犬土・阪田二郡水利調査圖	九
四方敬一	氣體製法化學 氣體分析化學	二四 二五

志方益三	有機電氣化學	二〇五
鹿間時夫	葛生府(製麻堆積物)の地質學的 研究	一五
重田實	滿洲に於ける電球	一五
重松介彦	機構學(共)	九・九一
重宗亮一	碍子素地ノ組織ニ就テ	二六
重森三玲	茶室・茶庭	二六
重森文彦	自動車寶典	一三
資源局	金屬・鐵物・土石類標準用語 工業研究輯覽 再軍備經濟觀 戰時經濟の法規形態論 標準用語集	二六・二八 七 三二 三三 三三

資源整備調査局	三〇三	品川信次郎	二九八・二九九	柴田榮吉	最新山林實地測量法	二六
軍事産業資料	三八	飛行機構造(共)		柴田榮吉	田野山林實地測量法	二六
列強軍需資源論	三八	品川製作所	二六	柴田勝熊	應用礦物精義(共)	一六三
紫 光 會	一九七	電氣計器及測定型錄	二六	柴田勝太郎	アンモニニア合成	一〇・一〇三
化學工業資料	一九七	信濃川大河津分水工事竣工式	七	柴田勝太郎	フォルマリン合成	二二
時事新報社家庭部	二八	協賛會	七	柴田勝太郎	メタノール合成	二四
家を住みよくする法	二八	信濃川改良工事沿革誌	七	柴田睦作	工業力學	一八・一九
静岡市電氣部	二二	ジノヴィエフ(露)	二〇二	柴田睦作	初等工業力學	一九
静岡市電氣事業沿革誌	二二	戰爭問題の史的考察	二〇二	柴田承桂	地質學(譯)	一四
下 元 連	二五・二七	篠崎英之助	三七	柴田 信	孫子通解	三〇
工場及倉庫	二五・二七	日本産薄荷油ニ關スル研究(共)	三七	柴田辰一	加州石油を中心とする米國	一八
鐵筋コンクリート構造	二五・二八	篠崎司直	三〇	芝池榮次郎	機械掘鑿工事施工之葉	二六
博物館・商品陳列館	二五・二八	孫子發微	三〇	芝池榮次郎	掘鑿機械機關車成績表	二六
志知勇次	二五・二八	篠田 勇	二八	芝田知重	建築請負工事の經營	二七
塵介處理場	二五・二八	電氣事業概觀(共)	二八	芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
七里義雄	二六	篠田 耕	二八	芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
送電線路支持物の研究	二六	自働式電話	二八	芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
實用社	二六	篠原卯吉	二八	芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
染色鑑	二六	高電壓發生裝置(共)	二八	芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
				篠原太郎	建築工學鐵筋コンクリート構造	二六
				篠原太郎	鐵筋コンクリート構造計算法	三・二六八
				篠原 登	回路網及濾波器(共譯)	二五
				篠原 登	有線電波傳送學	二七
				篠原幹興	油入遮斷器	二五・二六
				篠原幹興	繼電器及繼電方式	二七
				司馬亨太郎	箱略提要(譯)	三三
				司馬 穰(齊)	司馬 法	三八
				斯波忠三郎	蒸汽機關	二六
				芝池榮次郎	機械掘鑿工事施工之葉	二六
				芝池榮次郎	掘鑿機械機關車成績表	二六
				芝田知重	建築請負工事の經營	二七
				芝田知重	建築土木施工用機械設備	二七
				柴田榮吉	最新山林實地測量法	二六
				柴田勝熊	應用礦物精義(共)	一六三
				柴田勝太郎	アンモニニア合成	一〇・一〇三
				柴田勝太郎	フォルマリン合成	二二
				柴田睦作	工業力學	一八・一九
				柴田睦作	初等工業力學	一九
				柴田承桂	地質學(譯)	一四
				柴田 信	孫子通解	三〇
				柴田辰一	加州石油を中心とする米國	一八

柴田直光

鐵筋コンクリート設計及施工(共) 三  
ノモグラムに依る鐵筋コンクリートの計算 三二

柴田晴彦

鑄鐵の熔接 一八・二九

柴田秀賢

不透明鑲物の光學的鏡檢法 一五・二六

柴田浩

航空發動機(共) 八・二九

柴田雄次

金屬錯鹽 一〇三

配位説より見たる珪酸鹽鑲物の化學式 一五七・一六四

柴田四子吉

匠工必携 二六

柴田林之助

染料工業化學 三九

柴山東八

蒸氣タービン(共譯) 五五

澁澤元治

現代生活に於ける電氣 二〇  
電界百話 二三  
電氣の概念と漏電の豫防 二三  
電力問題講話 二三  
米國及加奈陀に於ける電氣事業 二九  
並發電水力の概況 二九  
米國に於ける電氣事業の概況 二九

澁田市郎

電氣大觀(編) 二〇

澁谷寛治

電氣鐵道 一五

澁谷禮治

朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利用トニ就テ 一七

### シマ―シモ

島 邦生

矩尺原理及使用方法 二五

島 秀雄

自動車工學實驗法 一〇・一〇三

島 之夫

日本民屋地理 二〇

島津源藏

亞酸化鉛ノ工業的新製造法及其ノ二三ノ工業的應用ニ就テ 二〇  
亞酸化鉛の新製造法及其ノ二三ノ工業的應用 二二  
工業的應用 二二

島津保次郎

有線電話(共) 二六・二八

島田謹介

スポーツ撮影の要領 二二・二三

島田新次郎

有線電信 二六・二七

島田 藤

葬祭施設 二五・二六

島田八郎

X線反射法によるV形衝合電弧熔接部の内部歪分布試験 四九・一八  
骨材及類似材料の靱性に關する研究 四八・四九  
コンクリートの熱的性質に關する試験 二六・四九

道路鋪裝用瀝青乳劑の性狀に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性狀に關する基本的研究(共) 四六・四七

島田八郎(續)

鋪裝用アスファルトの溫度傳導率に關する試験 四九・六六  
道路鋪裝用アスファルトの力學的特性に就て 四八・六六  
道路鋪裝用タール乳劑に關する研究 四八・六七

二・三の土木材料の比熱測定結果に就て(共) 四八・五三

乳劑の粘度に就て 四七・五三

路面の縱及横滑り摩擦抵抗に及ぼす路面種別と其の性狀との影響に就て 四八・六三

路面の光反射に關する試験並に之に基く道路照明基準に就て 四八・六三

島田道相

町見辨疑 四八・六三

島村哲夫

壓延法 一八七

分塊壓延法 元

志水直彦

鐵材鍛鍊工作法 一八八  
土木建築工事用機械 一八八  
土木建築工事用器具機械 一八八  
土木建築工事用器具機械 一八八

清水篤麿	一元	清水篤太郎	一〇六	清水本之助	四	志村久次郎	一六九
應用力學		電氣經濟學(譯)		關東州に於ける水源調査報告書		通俗鑛山測量	
煖房	二八六	清水直太郎	一三三	清水保吉	六	志村繁隆	
煖房及冷凍(共)	九・二六六	高壓電流裝置編(共)	一三三	琵琶湖治水沿革誌		應用X線工學概説	一一五・一〇〇・一〇九
清水榮二		レントゲン管編(共)	一四二	清水與七郎	二〇六	顯微鏡寫眞	二二・二二四
神戸市公會堂新築設計競技當選 圖案集(編)	二七三	レントゲン叢書(共)	二五	清水與七郎	二〇六	工學的X線寫眞	二二・二二四
清水三郎		清水一	二五・二六二	歐米に於ける電氣實驗所(報)	二〇六	志村良光	
北樺太亞港封鎖炭田南部に發達せる 第三紀及白亜紀兩層の層序(共)	一五五	アパートメントハウス 建築計畫(共)	二五・二六二	電氣磁氣測定法及測定器具	二〇六	最新工業大意	一
頭足類(共)	一五五	住宅	二五・二六三	清水 冽	二〇六	下川 潮	三九
清水 獎		清水 照	四〇・六一	人造絹糸要説	二〇六	劍道の發達	
北樺太炭田調査報告	二七	高速鐵道工學		清水 組	四	下田吉人	一〇一・一四一
清水正毅	三五	清水 誠	二〇二	工事年鑑	四	榮養品及調味料	
談兵知要(共校)	三五	皮革及レザー	一九	住宅建築圖集	二五	下田禮佐	一五
清水正巡	三五	皮革工業	一九	ホテル建築圖集	二五	商業地理學	
談兵知要	三五	清水正雄	二〇	清水組大阪支店	二五	下津佐正志	二三
清水莊一郎	二六	塗料及塗裝法	二〇	第四師團司令部廳舎新築記念	二五	印書彩色法	二三
電氣機械	二六	清水正徳	二四	士 密 德(英)	一四七・七	下斗米半治	二三
清水孝教	三六	神器譜(校)	二四	開煤要法	一四七・七	砂糖製造法	二三
槍・薙刀及鐙の新研究	三六	清水正巳	二四・二六五	シムボル標準調査委員會	二七	下村彦一	一五
		店舗設計圖と店內設備圖	二四・二六五	一般電氣用並無線用標準シムボル	二七	海岸地形	一五
				屋内配線用標準シムボル	二七	地形區(共)	一五



下山順一郎

製藥化學

製藥全書(其編)

下山秀久

工學字彙(其編)

シヤージョ

沙克什(元)

河防通議

謝家榮(民)

揚子江下游鐵鐵誌(共)

謝昉得(宋)

百戰勝法

武侯兵要

社會事業研究所

軍事扶助制度の發生

世界大戰時に於ける英吉利傷痕

軍人並遺家族保護對策

世界大戰當時に於ける獨逸都市

住宅並土地問題

ジャッジ

工業用材料

車輛の經濟的塗裝方法調査

委員會

車輛塗裝方法

朱記榮(清)

魏武帝註孫子(重校)

吳子(重校)

司馬法(重校)

朱肱(宋)

北山酒經

朱塘(清)

武經七書彙報

十返舎一九

手造酒法

主婦之友社

模範住宅二十九種便利な家の

新築集

シュペクトロフ(露)

軍需工業論

周光鎬(明)

武經兵法陣圖全書詳解(編)

徐家寶(清)

鍊鋼要言(譯)

徐光啓(明)

九邊險要

測量異同

測量全義

測量法義

論策疏議

徐鯤(清)

暇政

徐善祥(民)

礦物學(編)

ジヨセフ(米)

圖式及び用器・計算法

ジヨミニ(瑞西)

縮略提要

シヨルツ(フランチ)(獨)

無線電信と中立

城始

郊外住宅實施圖集(編)

姜宸英(清)

海防總論

江防總論

焦勗(明)

火攻要

火攻要諸器圖

增補則克錄

章鴻釗(民)

石雅

獎健會

運動競技場の建造

尙賢堂

觸媒化學講座

生源寺順

水車

水タービン

水力學

商工經營研究會

戰時下ニ於ケル物價管理要覽

商工省工業品規格統一調査會	六
機械工業規格	一八
J E S 金屬工業規格	二二
日本標準規格	二三
商工省鑛山局	二〇
亞硫酸瓦斯吸著に關する調査	一八四
製鐵業參考資料	一七〇
石炭埋藏量調査概要	一五
鐵礦調査概要	一六
硫化鐵鋼調査概要	一六
商工省工務局	一〇四
自動車工業振興展覽會報告書	一〇四
商工省人造纖維及其ノ應用製品	三五
展覽會報告書	三七
染織・陶磁器・木漆・金工關係	三七
技術官會議議事錄	六
本邦内地工業分布の趨勢	六
商工省商務局貿易課	三九
松油脂工業ニ關スル調査報告	三九
商工省生産管理委員會	二
工業教育ヲ中心トシテ見タ我國	二
教育制度ノ改善	二
商工省燃料研究所	三八
燃料研究所彙報	三八・三九
燃料研究所研究報告	三九
燃料研究所試驗報告	三九
燃料研究所報告	三九
商工省臨時産業合理局	二六
化學工業規格	二六
機械製圖解說	二六
J E S 工業品規格統一調查會概況	二
商工大臣官房統計課	二五
建築統計月報	二五
建築統計表	二五
庄司乙吉	二四
紡績採葉短縮史	二四
庄司誠一	二五
北太平洋西南部に於ける深海底質の研究	二五
庄司務	一九・一九・二〇
人造肥料工業	一九
無機化學標準工業分析法	一九
庄司養二	三九・四〇
無線電話端局裝置	三九・四〇
正路倫之助	二四
膠質	二四
上水協議會	八三
上水協議會議事錄	八三
上水協議會研究業績集	八三
上水道統計及報告	八三
常靜子	三九・四〇
釧攷	三四・四一
常靜子釧談	三四・四一
釀造試驗所	三八・三九
釀造試驗所報告	三八・三九
商店建築研究會	二四
小さい市街建築の圖案集	二四
聖德太子奉讀會	二六
法隆寺論抄	二六
庄野信司	二二・二三
臺灣全島天然ガス發生地・同分析調査表(共)	二二・二三
荳浦治太郎	二四
寒天の製造法	二四
照明學會	二四・二六
街路點明調査報告(編)	二四・二六
照明及電熱講演集	二四
照明學講演集	二四
照明工學ポケットブック	二四
照明學會關西支部	二〇
最新電氣講座	二〇
照明學會照明知識普及關西委員會	二四
屋外照明	二四
學校照明	二四
工場照明	二四・二五
最新照明テキスト	二四
住宅照明	二四・二五
商店照明	二四・二五
照明概要	二四
道路照明	二四・二五
旅館料亭照明	二四・二五
照明學會東京支部	二四
學校照明調査委員會調査報告	二四
輓近の照明工學	二四
ジョーレー(英)	二四
交流整流流法	二四
ジョンソン(米)	二四
交流機(共)	二四

## シラーシン

白井光太郎	染料植物及染色篇	三九
白木正博	高壓電流裝置編(共) レントゲン管編(共) レントゲン叢書(共)	一三 一四 一五
白崎享一	代用品と再生品(共)	二四八
白澤保美	建築用木材(共)	二五・二五五
白鳥義三郎	商店建築(共)	二五・二六〇
白鳥壽萬吉	成府式" B "乾電池の製作研究 (共)	二六・二七
自爾 捺(英)	井礦工程	一七〇

次郎左衛門秀勝

軍秘秘函

三三

城谷 正

限界ゲージ方式機械設計製圖

五

壬士 驥(明)

武侯全書(編)

三三

新海 重行

ガラス分析法

二六

新東京商工公會

戰時經濟法令並佈告集

三二

新宮行太

母字及び套管と高壓工學

二六

新光 社

最新化學工業大系  
最新寫眞科學大系

一九・二〇  
二四

震災豫防調査會

滋賀岐阜兩縣下震後ノ家屋構造ノ  
注意

二〇

陣内勝市

屋内配線工師必携

二七

新帝國太郎

マグネサイト鐵床

一六

神藤才一

戰時國際公法

三三

神保小虎

礦物學教科書  
礦物學の獨習  
日本礦物誌(共訂)  
日本地質學  
北海道地質報文  
北海道地質略論

一三  
一五  
一六  
一四  
一六  
一六

新堀正義

送信機械

三九・四〇

神馬新七郎

鑄物工場の原價計算

一七

新村唯治

骸炭の種類と其の性質(共)  
骸炭反應性に關する文獻(共)  
石炭結晶狀態及び其の試驗法  
(共)

二八・三三  
三三  
二九・三三  
二九・三三

石炭の精溜成分と骸炭化性

本邦骸炭工業

二八・三三

水津嘉之一郎

内外輓近化學工業大勢講話  
水道協會  
水道統計  
水道研究會  
上下水道設計圖集

一六  
八  
八  
八  
八

## スイースキ

水津嘉之一郎	内外輓近化學工業大勢講話	一六
水道協會	水道統計	八
水道研究會	上下水道設計圖集	八
水曜會	最新鐵業智識	一四七
水路部	海軍航海年報 航海年表 最新航海年表 水路圖誌目錄 水路要報 日本近海磁針偏差圖 日本近海氣象圖 日本近海の氣象海流圖 日本水路誌	三〇 二九五 二九五 二九五 二九五 二九六 二九六 二九五・二九六

末永雅雄	日本上代の甲冑	三〇四	スカーク(米)	三七	杉村伊兵衛	合成樹脂	三七
末野末五郎	水理一班	三	杉健一	一五	機械設計學	石炭酸・ふあるむあるでひと	二〇三
末松 榮	技術者必携道路便覽	三七	接觸變成岩	一七	機械設計學(共)	縮合物製造試驗	二〇三
河川工學	須賀太郎	三	日本變成岩總說	一七	機械設計總論(共)	杉本文太郎	二〇三
高眞空工學	眞空技術	一〇・一四四	杉浦義勝	二一	機械設計の基礎	室内飾り道具	二〇三
眞空技術	菅合熊一郎	一〇・一四四	電磁光學	二一	鐵線籠工法	室内裝飾法	二〇三
鐵床の起原	菅原榮藏	一六七	電子物理學	二一	杉村誠之介	室内裝飾法心得	二〇三
新橋演舞場	菅原公平	二五九	杉浦庸一	二五・二六五	杉村信近	茶室構造法圖解	二〇三
鐵山調査と評價法	鐵山調査と評價法	二六九	建築用木材(共)	二五・二六五	水力電氣鐵筋混凝土管	茶室と茶庭圖解	二〇三
灘酒史	菅原秋永	二四〇	杉江重誠	二六	杉村陽太郎	日本住宅の保全と諸什器取扱ひ法	二〇三
工業熱力學	菅原喜一郎	一八	ガラス	二六	海洋の自由	研磨機と其作用	二〇三
蒸汽罐	カーバイト・燐及燐酸(共)	二四	ガラス細工	二六	軍國主義打破	杉本道雄	二〇三
	杉野喜一郎	二四	ガラスの化學	二六	軍備縮少問題研究資料	研磨機と其作用	二〇三
	交流整流子機	二二	窯業原料試驗法	二五	巴里平和會議	杉本良	二〇三
	杉江敏雄	二二			海牙平和會議	專賣制度前の臺灣の酒	二〇三
	杉野喜一郎	二四			杉本五十鈴	杉本禮三	二〇三
	カーバイト・燐及燐酸(共)	二四			岩手・秋田兩縣鐵業調查報文	應用力學問題集	二〇三
					韓國平安北道順安附近金產地	杉森孝次郎	二〇三
					調查報告(共)	戰爭の倫理	二〇三
					韓國平壤三登及砂里院附近石炭	杉山赤四郎	二〇三
					調查報告(共)	窓掛と敷物	二〇三
					杉本勝二郎		二〇三
					征清武功鑑(編)		二〇三

杉山 旭 一五

杉山 清 二五

地中電線路  
力率改善の手引 二五

杉山 敏郎 一五・二六

北大東島試錐に就いて  
腔腸類 一五

第二回北大東島試錐に就いて  
白堊紀(共) 一五・一六

本邦沿岸産現棲造礁珊瑚に就きて 一五

杉山 茂一郎 二五

市街地建築物法規集(編) 二五

## スー・スワ

須 春院

日本陸軍(編) 二五

鈴木 係三郎 二五

木造耐震家屋構造法 二五

鈴木 梅太郎 二五

食品・栄養品及調味料(共) 二五

鈴木 久吉 サイロ 二五・二六

鈴木 基介 実用砂防工学 二五

鈴木 榮 オンドルの研究 二五

鈴木 醇 日本結晶片岩 二五

鈴木 敏 福岡縣豊前及筑前煤田地圖及  
説明書 二五

寶 石 誌 二五

鈴木 昌吉 地下水概論 二五・二六

鈴木 四郎 増幅器とピックアップ 二五

鈴木 鈴馬 麻紡績 二五・二六

鈴木 達夫 青森縣蟹田油田地形及地質圖  
説明書 二五・二六

長野縣長野油田地形及地質圖  
説明書 二五・二六

鈴木 忠五郎 建築構造學 二五

建築製圖法講義 二五

鈴木 千代藏 鐵冶金學大意 二五

熔解爐と熱處理爐(共) 二五・二六

鈴木 貞造 火藥類通覽(共編) 二五

鈴木 德藏 機械減摩法 二五・二六

機械設計學 二五・二六

軸及軸接手 二五・二六

陸・船・車輛用發動機故障及修理法 二五・二六・二七

鈴木 東司 鐵道運轉取扱の理論と運用 二五

鈴木 長利 量地表(校) 二五

鈴木 八郎 寫眞器及材料解説 二五・二六

寫眞失敗の原因 二五・二六

寫眞處方集 二五

引伸印畫法 二五・二六

引伸寫眞の奧技 二五・二六

鈴木 久王 光電管及光電池 二五

陰極線オシログラフプラウ管  
(共) 二五

プラウ管の應用(共) 二五

鈴木 雅次 海工學 二五

港工學 二五

港灣工學 二五・二六

築 港 二五

鈴木 茂哉 軸受(共) 二五・二六

鈴木 倫虎 河川工水用纜繩の強度及耐久性  
に關する試験(共) 二五・二六

橋梁用敷板強度試験(共) 二五・二六

鋼橋銲接查壓縮試験(共) 二五・二六

鈴木猶吉

最近の地形測量と發行された地圖  
類に就いて 一五九

寫眞測量 三六・五九

昭和七年度前期實施の地形測圖と  
最近發行された地圖類に就いて 一五九

昭和七年度後期實施の地形測圖と  
最近發行された地圖類に就いて 一五九

昭和六年度實施の地形測圖と最近  
發行された地圖類に就いて 一五九

鈴木 陽  
工場寫眞術 二四  
天然色活動寫眞 二四・二四

鈴木庸生

光化學工業 一九・二四  
寫眞化學 二〇九

薄 重信

玉方陳記(註) 三三

スライムメツツ(米)

過渡現象の理論及計算 二二・二五  
工業數學 一六・二二  
交流現象の理論及計算 二二・二三  
電氣回路の理論及計算 二二・三五  
電氣機器の理論及計算 二二・二六

スライムメツツ(米)(續)

電氣工學理論綱要 二二・二三  
放電波動及衝擊 一四

スチール(獨)  
紡織電化 一七

須藤貫一  
家を建てる費用の計算 二六

須藤憲三  
寫眞小話 二〇九

須藤眞金  
建築計算寸法便覽(共) 二五  
日本建築小史 二六

須永巳代治  
壓延法 一七  
鋳力板の製造 元

砂山角野  
光學器械 一〇三

須之内文雄  
地下鐵道 二

柄原豐太郎  
高速内燃機ノ研究 五

住田正一

日本海防史料叢書(編) 三五

住友伸銅鋼管株式會社  
住友伸銅研究報告 一七

住友電線製造所  
住友電線彙報要錄 二六

角南 隆  
社寺建築 二五・二六  
日光東照宮建築裝飾圖集 二六

住江金之  
酒 二九

住吉平治  
遼河の改修 六

スミルノフ(露)  
英米建艦競争 三三

スモール(米)  
阿片アルカロイド化學 二〇三

陶山 存(鈍翁)  
水利問答 六  
鐵炮格式會議條目 三四

諏訪哲郎

揮發油類のノッキング性 (二九・三六)  
ディーゼル機關用低溫タール油に  
就て 二九・三三

ディーゼル燃料の發火性(共) 二九・三八・三九

燃料アルコール 三八・三三

セイーセン

施子 美(金)  
軍林兵人寶鑑 三三

精機協會  
精密機械 一〇三  
輓近の精密機械(共) 一〇三

星 空 會  
航空資料 二七

清家 正  
科學的研究に基ける製圖論 元  
交流電機捲線法 一三  
製作の實際を主とする誘導  
電動機の計算 一三

正 (祖(朝鮮))

兵學指南(編)

三三

世界動力會議大堰堤國際委員會

日本國內委員會

堰堤と貯水池に就いての所感(譯)

第二回國際大堰堤會議提出並國內

研究論文集

日本大堰堤彙報

製鐵所

製鐵所

製鐵所研究報告

製鐵所製品目錄

製鐵所内据付諸機械之圖

製鐵所購買會

製鐵所寫眞帖

製糖研究會

糖業便覽

青島守備軍民政部

山東省ノ地質鐵山

青島守備軍民政部鐵道部

博山石炭

世界之美術研究會

現代佛蘭西室内裝飾圖案集

關 豐太郎

土壤の生成及び類型

一五

關 信雄

測量學

三・四

關 一

水戸烈公の國防と反射爐

三三

關 良篤

土木建築工事施工計算諸表(編)

五・七

關 口定仲

英和和美最近電氣用語辭典(編)

二七

最新自動車工學

二二

最新無線電話と其原理

一四

無線電信及電話

一元

關 口八重吉

機械工學總論(共)

六

工學記念錄(共)

一・九

工業上に於ける生産能率に關する

二

論說

九

工作機械

九

工作機械(共)

八・九

蒸氣原動機(共)

三

汎用工作機械(共)

九

積雪地方農村經濟調查所

積雪地方農家屋及農村共同

作業場設計に關する調査

三七

石炭鑛業聯合會

石炭鑛業聯合會創立拾五年誌

一七

關 戸信吉

X 線

二〇・二五

關 戸正克

水戸城

三八

關 根重治

香料製造化學(共)

三八

關 野貞

韓國建築調查報告

二・二

支那山東省ニ於ケル漢代墳墓ノ

二

表飾

二

支那の建築と藝術

二

東洋建築(共編)

二

日本建築史

二

日本建築史講話

二

日本建築に及ぼせる大陸建築の

二

影響

二

日本工藝史概論

二

熱河(共編)

二

關野 貞(續)	二・六二	千 宗 守	二・六二	戰時保險局	三・四	仙臺市役所	八・四
平城京及大内裏考	二・六二	茶 室	二・六二	戰時海上保險補償關係法規	三・四	仙臺市下水道誌	八・四
遼金時代ノ建築ト其佛像(共)	二・六四	錢 儀 吉(清)	三・六	戰時海上保險法關係法規	三・四	仙臺市鐵道局	八・四
關場茂樹	六・九	補 晉兵志	三・六	染織研究會	三・〇	管内電氣事業要覽	二・〇
標準橋梁仕様書	六・九	錢 文 子(宋)	三・六	染織と文様	三・〇	仙臺鐵道局	八・四
關藤國助	二・五・八五	補 漢兵志	三・六	染織絞描名技會	三・〇	青森海陸連絡工事概要	六・八
換氣と涼房	二・五・八五	補 漢兵志并註	三・六	染織描略史	三・〇	青森操車場	六・八
攝些列兒(蘭)	三・三	纖維科學研究所	三・三	仙臺鐵山監督局	一・五	專賣局中央研究所	三・三
遠西火工其精大全	三・三	纖維科學研究所設立記念講演會	三・三	仙臺鐵山監督局	一・五	研究報告	三・三
火技全書圖	三・九	講演錄	三・三	鑛區一覽	一・五	選 良 社	二・五
瀨戶政章	五・〇	纖維工業試驗所	二・三	仙臺鑛山監督署	一・六	市街地建築法	二・五
ラーメンの解法	五・〇	纖維工業試驗所彙報	二・三	奥羽六縣の鑛物	一・六	都市計畫法並關係法令	二・五
瀨藤象二	二・〇・三	纖維工業試驗所報告	二・三	仙臺鐵山監督署管内鑛區一覽	一・五	都市計畫市街地建築物法	二・五
直流及交通整流子機	二・七	纖維素協會	二・五	仙臺高等工業學校創立三〇周年	二	ソーソン	二・五
電氣及磁氣測定法	二・七	纖維素工業	二・五	記念會記念論文集編纂委員	二	曾 公 亮(宋)	二・〇
瀨谷準造	二・六・五	千賀春城	三・三	記念論文集	二	武經總要(共)	二・〇
鍍 金	二・六・五	軍用記(補)	三・三	仙臺鑛務署	一・六	曾我李祐	二・五
芹澤英二	二・五・二七	櫻石政太郎	二・五・六二	鑛業叢書	一・六	セメント代用土と其用法	二・五
積算及請負法	二・五・二七	特殊建築のデータ(共)	二・五・六二	仙臺鑛務署管内鑛區一覽	一・五	耐震耐火的建築土木原料土	二・五
芹澤茂作	六・〇	全國染織工業博覽會	三・〇	東北ノ鑛業	一・六	石と其利用	五・四・三六
鐵道分岐器類詳説	六・〇	參考品目錄	三・〇	東北ノ鑛物	一・六		



曾我部竹一

ヂーゼル及内燃機關發電所

七〇・二五・三四

内燃機關設計

六九・六

十川純夫

工作機械

九

測地學委員會

相模野基線測量報告

七

曾根 有

テレビジョン装置の作り方

二四

テレビジョン

二〇・二四

曾根達藏

建築隨想

二五・二五

曾根田又雄

建築設備(共)

二六

蘭 鑑

地質學(共譯)

一五

園田一夫

壓延法

二六・二七

園部 進

電子管原論(譯)

二四

ネオンサイン(共譯)

一五

祖父江 寛

人造絹絲

三三・三六

宋 應 星(明)

天工開物

一四

宋 仔 鳳(清)

鐵學必要新編

一四

曹 胤 儒(明)

握機經(增衍)

三七

臧 應 驥(明)

三略(校)

三八・三一

司馬法(校)

三六・三一

六 韜(校)

三一

匣瑳胤次

戰爭と科學

三〇・三三

裝飾研究會

電燈照明器具意匠集

一五

造船協會

英和船舶工學術語集

二四

造船協會(續)

造船協會々報

二五

造船協會雜誌

二四

造船協會四十年史

二五

日本近世造船史

二五

曹達晒粉同業會

日本曹達工業史

二〇

艸 田 子

武家重寶記(編)

二四

孫 奇 逢(清)

孫子遺書

三九

孫 健 初(民)

綏遠察哈爾西南部地質誌

一六〇・一六

北滿鐵道誌(譯)

一五・一九

孫 星 衍(清)

孫子十家注

三〇

六 韜(校)

三三

孫 同 元(清)

六韜逸文(編)

三三

孫 武(周)

孫 子

三九

タイ・タウ

第一機關汽罐保險株式會社

石炭ノ手焚キニ就キテ(譯)

九

大道寺友山

武道初心集

三〇三

武道初心集拔萃

三〇三

大同電力株式會社

調査會論文集錄

一八

大同評論社

綜合工學全集

一〇

第二回國際新建築會議

生活最小限の住宅

二六

大日本織物協會

染料辭書

三九

大日本工業學會

工業生活

一四

水力學及水力機械

七

大日本山林會	一四〇	太陽堂	六七	臺灣總督府殖產課	一七	臺灣總督府殖產局(續)	一六
鐵線鐵索重力式架空運搬裝置	一四〇	英和利英新機械用語辭典	六七	臺灣北部煤田調查報文	一七	臺灣地形地質鑛產地圖說明書	一六
木材バルブと紙・人絹・人纖	一三七	臺灣銀行調查課	一五〇	臺灣總督府殖產局	一七	臺灣地質鑛產地圖	一六
大日本電氣研究所	一七	臺灣ニ於ケル金鑛業	一五〇	嘉義油田地質圖	一七	臺灣地質鑛產地圖說明書	一六
電氣大辭典	一七	臺灣釀造研究會	一四二	成榮礪北浦煤田調查報告	一七	臺灣糖業概觀	一六
大日本紡績聯合會	一三三	無水酒精製造に關する文獻集	一四二	甘蔗栽培及製糖法指鍼	一七	臺灣油田調查報告	一六
世界纖維工業(譯)	一三三	臺灣總督官房外事課	一五	旗山南西部油田地質圖	一六	高雄油田調查報告	一六
大日本窯業協會	一三五	比律賓鑛業の現況	一五	旗山油田地質圖	一六	高雄州恒春油田調查報告	一六
日本窯業大觀	一三五	臺灣總督官房調查課	一四二	玉井油田地質圖	一六	竹東油田地質圖	一六
窯業便覽	一三五	支那地質調查報告類集	一四二	錦水油田斷面圖	一六	南支南洋の工業	一六
代	一八〇	支那の糖業	一四二	錦水油田地形及地質精査圖	一六	南支南洋の鑛業	一五
金石識別	一八〇	蘭領東印度諸島に關する地質學的 研究の沿革	一四二	月眉油田地形及地質圖	一六	澎湖島地質調查報文	一六
臺北帝國大學理農學部地質學教室	一六	臺灣總督府研究所	一三	恒春油田地質圖	一六	臺灣總督府殖產局特産課	一四三
昭和十年臺灣地震震害地域地質 調査報告	一六	臺灣總督府研究所報告	一三	甲仙油田地形及地質圖	一六	臺灣糖業要覽	一四三
大本營野戰衛生長官部	三九	臺灣總督府交通局	一三〇	鑛山地質調查報文	一六	臺灣總督府殖產局糖務課	一四三
明治廿七八年戰役陸軍衛生紀事	三九	電事事業要覽	一三〇	鑛物及地質調查報告	一六・一六	糖業ニ關スル諸表	一四三
摘要	三九	臺灣總督府交通局道路港灣課	一三	出礦坑油田地形及地質精査圖	一六	臺灣總督府殖產局林業試驗場	一四三
ダイヤモンド社	一五	臺灣の道路	一三	小梅油田地質圖	一六	染料林木ニ關スル試驗報告	一四三
化學工業を語る	一五			新化油田地質圖	一六	臺灣總督府中央研究所工業部	一四三
人絹	一三六			新竹州苗栗及竹東油田調查報告	一六	酒類製造試驗成績	一三・一三九
				臺南州嘉義油田調查報告	一六	臺灣產植物精油聚報	一三・一三八
				臺南州玉井油田調查報告	一六	臺灣總督府中央研究所工業部彙報	一三
				臺南州小梅油田調查報告	一六	中央研究所工業部報告	一三
				臺南州新化油田調查報告	一六	分析成績彙報	一三〇
				臺灣鑛物調查報告	一六		
				臺灣鑛物一覽	一六		
				臺灣山仔脚煤田調查報告	一六		
				臺灣地形地質鑛產地圖	一六		

臺灣總督府天然瓦斯研究所 歐洲に於ける燃料問題	三三	多賀祐重 鐵道車輛	三八	高岸英夫 避雷針の效果に就て	二三	高瀬謙一 蒸氣原動力(譯)	三
臺灣總督府天然瓦斯研究所彙報 メタン含有ガスより水素の製造及 其の利用	三四	高木勝和 電氣事業概觀(共)	二八	避雷針の施設及び施工法	二三	蒸氣發動機用材料	九〇・九五
臺灣總督府土木局 上水協議會議事錄	三五	高木菊三郎 日本地圖測量小史	三七	高桑勝雄 現代の寫眞術	三〇・三三	發動機用材料(共)	九〇・九五
臺灣水道誌	三六	高木源之助 工場建築	三五・三九	高桑藤代吉 東京市の鋪道	三六	高瀬豐吉 化學實驗室に於ける毒と爆發	二四八
臺灣總督府土木部 臺北水道	三六	工場建築及設備	三九・四五	高崎達之助 罐詰	三三	高瀬芳卿 短波無線工學	一四一
臺灣總督府內務局 土木事業概要	三七	高木誠司 製藥	三〇・三九	高島舜臣 他家便要秘鑑	三五	高瀬理三郎 自己放電防止鉛蓄電池(共)	二〇六・二〇八
臺灣總督府內務局土木課 臺灣土木事業統計年報	三八	高木太郎 鐵道	三九	高嶋辰彦 泉戰	三〇一	鉛及び鉛アンチモン合金の水素過 電壓(共)	二〇六
臺灣總督府民政局殖産課 臺灣島地質鑛産圖	三九	高木忠次郎 電氣工學ハンドブック(編)	一〇五	高島宗三 蒸氣原動機(共)	三	高田義彦 英米ニ於ケル電話事業	二三八
臺灣島地質鑛産圖說明書	四〇	高木昇 水晶發振器及其振器(譯)	一〇一	高瀬伊造 煙道瓦斯計(共)	三八	高田昭 王泊堰堤の漏水の溫度及水素イオ ン濃度	四七・六
電子工學の基礎	四一	高木隆二 阿片アルカロイド化學(譯)	二〇三	Lancashire 汽罐に應用せる炭粉 燃燒試驗報告(共)	三九・三三	鬼怒川上流改修工事用角礫凝灰 岩砂利及砂に關する試験	四七・七
タカ—タカハ	四二			Lancashire 汽罐の手焚試驗(共)	二九	現場打混凝土の耐壓試驗報告	四六・五〇
						工事用石材試驗成績(共)	四六・五〇

高田 昭(續)	高知縣黑瀧川産砂に關する試験	四・六三	高田 釜吉	蒸汽々罐及汽機(共)	四	高野松次郎	描圖法(共)	三八	高橋邦夫	帝國海軍と上海事變	三〇
碎石の磨損率に關する一試験	四・六四	高田新七	建築工事仕様積算教科書(共)	二六六	高野江基太郎	石炭鑛業論集(編)	一七三	高橋 幸人	電力應用(共)	一〇・一四	
常願寺川産砂に關する試験(共)	四・六三	高田 實	騒音防止	一四	筑豊炭鑛誌	二七	高橋 作衛	戰時國際公法	三四		
石材類試験成績(共)	四・五四	高田 亮平	飲食物の色と香と味	三九・四二	日本炭鑛誌	二七	戰時國際法先例論	三四			
ソリデチットの耐壓強度に關する試験(共)	四・五二	高津 清	強電測定法	一〇・二七	本邦石炭事情	一七	戰時國際法要論	三四			
高田馬場試験舗装の路床土質に關する試験	四・六七	新編電氣磁氣測定測定及測定器	二二・二七	高野潮宗吉	動力用汽罐取扱方法(共)	九四	高橋三郎	發電水力	三三		
多摩川産砂利及砂に關する調査	四・五四	電氣磁氣測定及測定器	二七	高橋 明	ブラウン管と其の應用(共譯)	一四	高橋純一	河川地理學	一五八		
地質學	四・五四	高根勝利	礦物のX線現象(共)	一七・一八	高橋逸夫	應用力學	一九・四〇	實驗鑛物學	一六三		
地質・地炭・氣象(共)	一五四	高野清八郎	軍費大整理論	三二	橋梁工學特論	一七	水成岩序説	一七			
東京山手赤土の彈性的性質に關する試験	四・六四	三兵衛古知幾(譯)	高野長英	三三	銲接構造物計算法	一八	石油鑛床新論	一七九			
標準砂モルタルの強度に及ぼす火山灰及石粉の影響	四・六四	蘭文兵書	戊戌夢物語	三三	高橋景保	近時海國必讀書(共)	三二・三五	石油鑛床の成因	一五・一七		
標準砂モルタルの強度に及ぼす石粉の影響	四・六四	高野清八郎	軍費大整理論	三二	高橋橋樹	日用品製造篇(編)	二四	高橋潤二郎	最近寫眞術	二〇	
ブロックに關する試験(共)	四・六六	高野長英	三兵衛古知幾(譯)	三三	日用品製造篇(編)	二四	高橋正一	格子制御放電管	一四・一五		
舗装工事用サーフェースヒータの碎石に及ぼす影響に關する試験	四・六六	高野清八郎	軍費大整理論	三二	硬度及び硬度測定法(共)	一八	放電管の工業應用	一四・一五			
舗装用鑄鐵ブロック磨耗試験	四・六六										
ポートランドセメントの凝結後に於ける溶解物のPHに就て	二五・四八										
本邦産舗装用石材(共)	四・六五										
大和川筋龜ノ瀬地に關する調査	四・七九										

高橋正七 工業數學(其)	一六	高橋貞太郎 建築計畫(共)	二七一	高橋本枝 アルミニウム工業	一八五	高原知義 珐瑯製品	二〇・三七
高橋松川 建築の七燈(譯)	二五	工場 二五・二七九	高橋守一 ラーメンの公式及圖表	五	鷹部屋福平 一般剛節構の實用解法	五	
高橋 仁 近世市街建築の發達	二四九・二五一	工場・市場・火力發電所(共)	二五九	連續桁及地下工作物の強度計算式并 圖式	五	架構應力研究	五
近世日本建築史	二五	商店・百貨店(共)	二五・二六〇	強度計算式並圖表	五	架構新論	五
高橋甚也 下水道	四四・八四	特殊建築のデータ(共)	二五・二六一	高橋安人 蒸氣タービン(共譯)	五	高級桁梁論	五
高橋清藏 水力土木工事設計計算之乘(共)	七	高橋豐次郎 自働信號	六〇	高橋雄治 清國內蒙古喀喇沁王部鑛業調査 報文(共編)	一五	構造力學特論	三
高橋達郎 海陸軍制(譯)	三六	高橋豐太郎 火力發電所 建築計畫(共)	二五・二七九	高松豐吉 酒精製造法(共編)	一九九・二四一	世界橋梁寫眞設計圖說(編)	六九
高橋偵造 醸造(其)	九・三八	ホテル	二五・二六	單式構造	二・五三	鐵筋鐵骨建築架構モーメント圖 譜并計算法	二六八
醸造微論	二八	高橋藤藏 電氣鑛金法(編)	一〇	高橋慶夫		不靜定應力理論	二〇
人工清酒並に其類似品の製造法	一〇〇・二三八	高橋春吉 臺灣地質鑛產地圖説明書(共)	一三	姉川の戰	三・四・五	ラーメン新論	五
清酒釀造法	二四〇			應仁文明の亂	三・四・五	連續梁	五
世界の酒	二四〇			天文法華亂	三・五	高松豐吉 酒精製造法(共編)	一九九・二四一
醱酵化學實驗法	二八			高原傳三郎 電話初步(共)	一七	黃色血滴鹽及爾餘の藏化合物 (共編)	一九九・二四一
						液體及氣體(共編)	一九九・二四一
						化學工業全書(共編)	一九九・二四一
						苛性加里(共編)	一九九・二四一
						顏料(共編)	一九九・二四一
						機械油(共編)	一九九・二四一

タカヘータケ

液體及氣體(共編)	一九・二五
化學工業全書(共編)	一九・二九
瓦斯(共編)	一九・三三
苛性加里(共編)	一九・三三
顏料(共編)	一九・三三
機械油(共編)	一九・三七

高松豊吉(續)		高松豊吉(續)		高松武助		高山徳藏	
個里設林(共編)	一九・三三	澱粉及澱粉糖(共編)	一九・四二	水力電氣	二三	電氣工學便覽	二〇五
格魯兒加爾基(共編)	一九・三三	塗料(共編)	一九・三三	高谷道弘		高山元夫	
格魯兒加爾基(共編)	一九・三三	捺染法(共編)	一九・三三	無線工學測定法(共)	一九・四〇	計器	二六・二三
クロ・フォルム(共編)	一九・三三	假漆(ニス)(共編)	一九・三三	高谷光雄		瀧大古	
香料總論(共編)	一九・三八	乳業產物(共編)	一九	日本製麻史	三五	瀧賢四郎	
砂糖製造法(共編)	一九	熱論(共編)	一九・一九	高柳健次郎		瀧澤眞弓	
脂肪及脂肪油類(共編)	一九・三七	燃料(共編)	一九・三七	テレビジョン	一九・四三	建築論	二四・五三
樹脂油(共編)	一九・三七	燃料ノ應用機關(共編)	一九・三三	高柳光壽		瀧澤和一	
重格羅謨加里等(共編)	一九・三三	配色法(共編)	一九・三三	大日本戰史(編)	三四	應用力學	一九
臭素及臭素鹽類(共編)	一九・三三	薄荷油(共編)	一九・三七	本能寺の變・山崎の戰	三四・三六	瀧澤賢四郎	
重炭酸加里(共編)	一九・三三	酸酵總論(共編)	一九・三八	高數良二		最近寫眞術	二〇
硝石及亞硝酸加里(共編)	一九・三三	麥酒釀造新論(共編)	一九・四〇	建築材料と使用法	二六五	瀧澤賢四郎	
樟腦(共編)	一九・三七	葡萄酒製造法(共編)	一九・四〇	高山英華		瀧澤眞弓	
蒸餾飲料及リキユール酒類(共編)	一九	抱水加魯拉爾(共編)	一九・三三	外國に於ける住宅敷地割類例集	二七六	建築論	二四・五三
人工營養品(共編)	一九・四一・四三	木材乾留工業(共編)	一九・三三	(共編)		瀧本義一	
人工香料(共編)	一九	沃度加里及其他沃度製品(共編)	一九・四一	外國に於ける住宅敷地割類例續集	二七六	校舎構造計算例(編)	二六七
「ステアリン」酸及他ノ脂肪鹽類				集(編)	二七六	瀧本誠一	
(共編)	一九・三七			高山甚太郎		化學工業(編)	一九二
製紙術(共編)	一九			「ポルトランド・セメント」試驗	二五	製鐵鋼業(共編)	一四八
西洋蠟燭(共編)	一九・三七			方法			
石炭(共編)	一九・三三						
石油(共編)	一九						
石鹼(共編)	一九・三七・三八						
染色法(共編)	一九・三三						
炭酸加里(共編)	一九・三三						
建築論(共編)	一九・三五						
調香術(共編)	一九・三六						
天然香料(共編)	一九・三六						
		高松政雄					
		病院	二五・二六				
		高松勇治郎					
		天然絹糸溶解に關する研究	二三四				
		田上政敏					
		地質礦物學綱要	一六四				
		高谷高一					
		下水道及汚水處理法(共譯)	八四				

[illegible]

武富英一 建築の基礎と防水工事 二五・二六八	竹村誠也 暖房用汽罐構造及取扱方法(共) 二六	多田耕象 水力發電所(共) 一〇・三四	巽 清治 自動車學(共) 一〇〇
武富 昇 砂糖及澱粉 一〇一・一四三	武村忠雄 戦争と交通 三〇	立 作太郎 戦時國際公法 三三 戦時國際法 三四 戦時國際法論 三四	伊達源一郎 航空機(編) 三〇〇 帝國の國防(編) 三三
竹中工務店 建築寫真集 二六	武見芳二 植民地理 二六	太刀川平治 電氣の災害に就て 二七 電力の話 二五 特別高壓送電線路ノ研究 二六 農村と電氣 二六	立石定準 匠家必用記 二六
竹中 寛 石炭油化の研究 二九・三五 油化廢瓦斯より水素の回收 二九・三五	田島達之輔 漁船用發動機 二六 ディーゼル・エンジン講義 二六	立川小兵衛 増補軒廻樞機形(補) 二六	立澤勇吉 アルカリ一次電池の性能に及ぼす インヒビターの影響 二六・三七
竹中半兵衛 軍法秘傳書(編) 三三	田島義造 機械工作便覽(編) 三三 機械製作法(共) 三三 精密機械工具使用法 三三 せんばんにて螺絲を切る法 三三 ゆにがうさるみりんぐましん 三三	立川富房 軒廻樞機形 二六	建部遯吾 戦争論 三三
竹貫直次 英和對譯實用土木字典 三三 測量學階梯(編) 三三 測量器械取扱法(譯) 三三 土木建築材料検査及使用方法(共編) 三三 土木工學材料及施工編(編) 三三	田尻稻次郎 地下水利用論 三五	立川通雄 立川流匠家矩術倭繪様集(編) 二六	田所哲太郎 應用膠質化學 二四 酵素化學(編) 二七 酵素化學(編) 二七 酵素化學概論(編) 二七 酵素利用工業概論(編) 二八 食品化學 二四 新編食品化學 二四 蛋白質化學(編) 二四 蛋白質化學概論(編) 二四 油脂コロイド化學(編) 二六
武原秀雄 鋼絞拱橋 七〇	多田 勇 北滿の小麥並に製粉業に就て 二五	辰野紀念事業第二部實行委員 日本銀行建築譜 二六	



# タナ—タネ

田中 薫	工業地理	一五	田中重芳	機械工作法(共) 機械設計及製圖(共) ボール盤・フライス盤・形削り盤 平削り盤	一〇〇 八九・九三 八九・一〇〇	田中龍夫	電機設計と應用	二九	田中不二	應用力学 機械製作法 機械設計及製圖(共)	一九 九・九二 九・九三
田中 勝吉	有用木材の性質及用途	二四	田中賤夫	砂糖精製法講話(共譯)	二四二	田中貞次	灌漑排水	四・七	田中正道	X線管並にX線装置	二五・四〇・四四
田中清志	大阪の都市計畫	三	田中 秀	私の建てた住宅	二五	田中豊太郎	建築仕様全集 和洋建築工事仕様設計實例(編) 和洋建築工事仕様設計圖集(編)	二五 二五 二五	田中正義	建築材料 鐵筋鐵骨建築構造規準 鐵筋鐵骨斷面算定表 土木建築材料學	二五・二五五 二六八 三・五一 五三・六五
田中久八郎	工業用爐ニ於ケル都市瓦斯ノ應用	一九四	田中正三郎	電氣化學實驗法	二二五	田中寅男	下水道及下水處理	八四	田中増太郎	計算精表(編)	一七
田中邦次郎	新しき室内裝飾と家具の見方 西洋家具様式通論	二七 二九	田中宗一郎	工業護謄化學 脂肪油脂肪及蠟 電線製造法	二四七 三七 二六	田中直太郎	醬油沿革史	二四〇	田中 貢	鐵鋼及機械工業	一八四
田中敬吉	熱及熱力学(共) 發動機試驗法(共) 學	九四・九五 九〇・九五 一九八	田中大作	市街地建築物法令に準據せる 鐵筋「コンクリート」計算論	二六八	田中 一	矢作水力株式會社奉旨發電所建設 記錄(編)	二四	田中 貢	鐵鋼及機械工業	一八四
			田中タイリング商會	獨逸最新式技術的セメントタイル	五四	田中 博	水産	一五	田中芳雄	化學工業試驗法(共) 化學工業總説	一九三 一九・一九九

田中芳雄(續)		棚橋寅五郎		田邊 泰		谷口三郎	
化學工業と化學工學	一九・二七	進み行く我化學工業	一九	希臘の文化と建築(共編)	二四	基礎工及土木施工法	四〇・英
石油・天然ガス及頁岩油工業	一九・三五	棚橋 諒	三	近代建築様式概観	二五・二五	土木施工法	五
接觸反應(共)	一九・三〇	鐵骨構造學	三	禪宗の寺院建築	二六		
塗料工業(編)	二二	田邊玄平	二四	日本住宅史	二七	谷口 忠	三・三五
パラフィンの結晶に就て	二九・三七	最新麵粉製造法	二五	琉球建築(共)	二八	耐震構造學の發達	二
無機製造工業化學(共)	一九	田邊朔郎	五	谷 宗雄	六	耐震構造學の發達	二・三五
油脂工業	一九・三六	公式工師必携(編)	五	タール鋪裝		耐震構造學(共)	二
有機製造化學(共)	一九	水 力	三	谷 安正	一〇・七	谷口長一郎	一五
有機製造工業化學(共)	一九	鐵筋コンクリート(校)	元	實驗誤差論	二〇	金鏡精鍊法(共)	
田中義次	二五・七六	土木篇	三	實驗彈性學	二〇	谷口政勝	二六
運動場建築		とんねる	七	溪 世尊	三元	醋酸化法人造絹糸製造法(共)	
田中 好		琵琶湖疏水工事圖譜	六	孫子經典餘子		タニコフ(鐸)	三二
土木行政	四〇・四三	明治工業史提要	七	谷井千次郎	二四〇	軍備と國民經濟	
土木行政(共)	四三	田邊淳吉	二六	蒸餾飲料及リキュール酒類(編)		谷下市松	七
土木例規類纂(編)	四三	日本俱樂部寫真集	二六	谷口吉郎	二五・二六〇	工業振動學(譯)	
田中館秀三		田邊平學	二六	サイロ		谷村豐太郎	六
水力・石炭・石油(共)	七・五八・七三・七六	コンクリートのボアソン比に關する實驗的研究	二六	谷口國松	二五・二六〇	計算圖表學	六
日本のカルデラ	一五	耐震建築問答	二七	電氣機關車工學(共)	一四	計算圖表學(編)	七
日本の水力・石炭・石油(共)	一五	鐵筋コンクリート構造(共)	二五	谷口光平	二六・二七	圖表學綱領(編)	元
絹織物とレーヨン織物	二四	鐵筋コンクリート版の應剪抵抗に關する研究	三	チルド鐸物		谷山 巖	一八
棚橋啓三							
生 絲	九・三四						

ダニレフスキー(露)

近代技術史

種田吉豊

楠家全書

## タハ—タン

田端耕造

ガラス工業

硝子中の硼酸定量法に就て(共)

玉木繁治

無線電話受話装置の原理と組立

玉木正英

橋家神軍之傳(編)

玉置徐歩

化學試薬純度試験法

玉宮善治郎

航空路及び航空標識

玉村春夫

現代建築學の基礎(譯)

田丸節郎

炭素の燃焼による直接起電燃料電池(共)

田丸卓郎

流體力學

民野好

唧筒設計

田村英太郎

朝鮮鑛床調査要報(調)

田村熊次郎

製絲學新講

田村維則

征清戰史(編)

田村典瑞

工業試験法

田村直太郎

測量技術の實際

田村明一

硫化ソーダ法による新定性分析法

田村元治

機械部分の締結法(共)

田山利三郎

伊豆半島地質概報(共)

關東構造盆地帯に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)

北部マリアナ群島の地形・地質並に珊瑚礁

珊瑚礁(共)

南洋群島西部海嶺及び群島の地盤運動に就いて

南洋群島の島の配列と海底地形バラオ群島の地形・地質並に珊瑚礁

ボナペ島(Ponape I.)の地形・地質並に珊瑚礁

マーシャル群島珊瑚礁の地形學的考察

ヤップ群島(Yap Islands)の地形・地質並に珊瑚礁

蘭領東印度・アル群島(Aru-Islands)の地形・地質並に珊瑚礁

多羅尼忠郎

北海道鐵山略記(編)

ダリエ(佛)

海戰史論

依國一

古來の砂鐵製鍊法(編)

鐵と錳

本邦に於ける製鋼平爐の形狀及び其大さ(共)

田原哲次郎

製糖工業

田原良純

黃色血滴鹽及爾餘ノ藏化合物(共編)

苛性加里(共編)

個里設林(共編)

格魯兒加爾基(共編)

格魯兒加爾基(共編)

クロ、フォルム(共編)

重格羅設酸加里等(共編)

臭素及臭素鹽類(共編)

重炭酸加里(共編)

硝石亞硝酸加里(共編)

「ステアリン」酸及他ノ脂肪鹽類(共編)

石鹼(共編)

炭酸加里(共編)

澱粉及澱粉糖(共編)

抱水格魯拉爾(共編)

木材乾留工業(共編)

沃度加里及其他沃度製品(共編)

單 鐔 (宋)	七三	丹波敬三(續)	一九・二四〇	近間佐吉	二八四	筑豊石炭鑛業會	一七三
吳中水利書		葡萄酒製造法(共編)	一九・二四〇	模範日本住宅	二八四	筑豊石炭鑛業會五十年史	一七三
單 子 元(民)	二六四	沃度加里及其他沃度製品(共編)	一九・二〇一	和洋住宅建築集成	二七五	筑豊石炭鑛業組合月報	一七三
明代建築大事年表(共編)						筑豊石炭鑛業組合統計月表	一七三
譚 吉 璵(清)	三四	チーク		知久健夫	二〇六	筑豊石炭鑛業組合統計表	一七三
歷代武舉考		茅 元 儀(明)	三三	エレクトレットに關する研究	二〇六	筑豊石炭鑛業要覽	一七三
譚 錫 疇(民)	一〇・六三	武 備 志		苛性加里液中に於ける「ベリスト」	二〇六	筑豊石炭鑛業組合事務所	一七〇
四川西康地質誌(共)		チエルニホフ(露)	二五	式銅極の蓄電池特性	二〇六	炭塵爆發試驗裝置調查報告	一七〇
丹 桂 之 助	一三	現代建築學の基礎	二五	活物質中に炭を混ぜる鉛蓄電池極板の特性に就て	二〇六	筑豊五郡石炭探掘鐵區一覽	一七〇
蘭領東印度群島地質論(譯)		建築ファンタジア(編)	二五〇	懸賞應募蓄電池見本に關する實驗(共)	二〇六		
丹波敬三		チェンバース(英)	二九	第二回懸賞應募蓄電池見本に關する實驗(共)	二〇六	地質調査所	
酒精製造法(共編)	一九・二四	美術的建築	二九	第三回懸賞應募蓄電池見本に關する實驗(共)	二〇七	青森縣大釋迦油田地形及地質圖	一七五・一七六
黃色血滴鹽及爾餘ノ藏化合物(共編)	一九・二〇三	洋風建築設計者の虎の巻	二七三	蓄 電 池	二〇七	青森縣大釋迦油田地形及地質圖 說明書	一七五・一七六
香料總論(共編)	一九・三六	近坂百一	二四	放電容量より見たる鉛蓄電池陽極活物質の孔性度に就て	二〇六・二〇八	青森縣蟹田油田地形及地質圖	一七五・一七六
脂肪及脂肪油類(共編)	一九・三七	測量(共)		ベーステッド型極板の放電容量に就て	二〇六・二〇八	青森縣蟹田油田地形及地質圖 說明書	一七五・一七六
臭素及臭素鹽類(共編)	一九・二〇三			ベーステッド型陽極板深部の滲透に依る活性化に就て	二〇六・二〇八	秋田縣男鹿島油田地質及地形圖	一七五・一七六
硝石亞硝酸加里(共編)	一九・二〇三			リサーチの化成進展に就て	二〇六・二〇八	秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 說明書	一七五・一七六
人工營養品(共編)	一九・二四・四三					秋田縣龜田油田地質及地形圖	一七五・一七六
西洋蠟燭(共編)	一九・三七						
調香術(共編)	一九・三八						
天然香料(共編)	一九・三八						
醱酵總論(共編)	一九・三八						
		近重眞澄	一八	千種虎正	二四		
		金 相 學	一八	測量(共)			
		工藝用金屬着色法及電鑄法(共)	一八				
		東洋鍊金術	一八				

地質調査所〔續〕

秋田縣龜田油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣五城目油田地質及地形圖	一七四・二六
秋田縣五城目油田地質及地形圖 說明書	一七四・二六
秋田縣神宮寺油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣鷹巣油田地質及地形圖	一七五・二六
秋田縣鷹巣油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣仁賀保油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣能代油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣能代油田地質及地形圖	一七五・二六
秋田縣二ツ井油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣本莊油田地質及地形圖	一七五・二六

地質調査所〔續〕

秋田縣矢島油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
秋田縣和田油田地質及地形圖 說明書	一七五・二六
越後國魚沼油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國魚沼油田地質及地形圖	一七四・二七
越後國頸城油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國頸城油田地質及地形圖	一七四・二七
越後國小千谷油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國小千谷油田地質及地形圖	一七四・二七
越後國新津油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國寺泊油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國寺泊油田地質及地形圖	一七四・二七
越後國西山油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國東山油田地質及地形圖	一七四・二七

地質調査所〔續〕

越後國米山及郷津飛山油田地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國南秋田油田南部地質及地形圖 說明書	一七四・二七
越後國南秋田油田南部地質及地形圖	一七四・二七
內蒙古東部礦物調查報告	一六六
內蒙古南部礦物調查報告	一六六
應用地質圖	一六六
唐津炭田地質圖	一六七
唐津炭田地質說明書	一六七
廣東省地質調查報告	一六七
黑川油田地下構造圖	一六七
御料局生野鐵山地質圖說明書	一六六
工業原料用鐵物調查報告	一六六
礦物調查報告	一六六
支那產石炭分析表	一六六
支那地質調查報告	一六六
常磐炭田第二區石炭赤井村附近地質圖	一六七
常磐炭田第二區石炭赤井村附近地質圖說明書	一六七
常磐炭田第二區石炭湯本村附近地質圖	一六七

地質調査所〔續〕

常磐炭田第三區石炭上遠野村附近地質說明書	一七一
常磐炭田第三區石炭上遠野附近地質圖並地質斷面圖	一七一
戰後歐羅巴ニ於ケル鐵產物ニ鐵及石炭	一七〇
大日本帝國西南部鐵產圖	一七〇
大日本帝國油田地質構造總覽圖	一七〇
地質調查所一覽	一六九
地質調查所事業成績報告	一六九
地質調查所出版物目錄	一六八
地質調查所明治十五年報	一六八
地質調查所明治十六年報	一六八
地質調查所明治十七年報	一六八
地質要報	一六七
槻木油田地下構造圖	一六七
內國產石炭分析表	一六七
長野縣長野油田地質及地質圖 說明書	一六七
新潟縣大面油田地質及地質圖 說明書	一七四・二七
新潟縣大面油田地質及地質圖	一七四・二七
新潟縣加茂油田地質及地質圖	一七四・二六

地質調査所〔續〕

新潟縣加茂油田地形及地質圖	一五・二六
說明書	
新潟縣村上油田地質及地形圖	一五・二六
說明書	
新潟縣與板油田地質及地形圖	一五・二六
新潟縣與板油田地質及地形圖	一五・二六
說明書	
日本地質鐵產誌	一五・二六
日本帝國地質圖	一五・二六
日本帝國地質圖幅	一五・二六
福岡縣豐前及筑前煤田地圖及	一五・二六
說明書	
北海道空知油田地形及地質圖	一五・二六
北海道空知油田地形及地質圖	一五・二六
說明書	
北海道宗谷油田地質圖	一五・二六
北海道宗谷油田地質圖說明書	一五・二六
北海道天鹽油田地形及地質圖	一五・二六
北海道天鹽油田地形及地質圖	一五・二六
說明書	
本邦產石炭分析表	一五・二六
山形縣大石田油田地形及地質圖	一五・二七
山形縣大石田油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	

地質調査所〔續〕

山形縣新庄油田地形及地質圖	一五・二七
山形縣新庄油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
山形縣最上油田地形及地質圖	一五・二七
山形縣最上油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
山形縣最上油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
千谷好之助	
秋田縣男鹿島油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
秋田縣能代油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
秋田縣二ツ井油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
秋田縣本莊油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
新潟縣大面油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
新潟縣加茂油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	
新潟縣與板油田地形及地質圖	一五・二七
說明書	

チタ―チユ

千葉茂太郎	一五・二七
工業數學(共)	
真空管回路	一五・二七
真空管並に其高周波工	一五・二七
電氣爐波器	一五・二七
特殊通信工學	一五・二七
無線工學公式並に圖表集	一五・二七
無線工學實驗法	一五・二七
千葉武夫	
電力系統の自動制御方式	一五・二七
茶式建築及庭園研究會	一五・二七
茶式建築及庭園	一五・二七
チャーチル(英)	
世界大戰	一五・二七
中央建築會	一五・二七
名古屋市廳舍競技設計圖集	一五・二七
中央陶瓷試驗場	一五・二七
中央陶瓷試驗場工作報告	一五・二七
〔中華民國〕國立北平研究院地質學	一五・二七
研究所	
地質彙報	一五・二七

〔中華民國〕國立編譯館礦物學名詞

審查委員會	一五・二七
礦物學名詞	一五・二七
中華民國地質調查所	一五・二七
地質彙報	一五・二七
地質專報	一五・二七
中國鐵業紀要	一五・二七
第三次中國鐵業紀要	一五・二七
第四次中國鐵業紀要	一五・二七
第五次中國鐵業紀要	一五・二七
北京西山地質誌	一五・二七
中國營造學社	一五・二七
曲阜孔廟專號	一五・二七
中國營造學社彙刊	一五・二七
中條清三郎	一五・二七
電氣計算法	一五・二七
電機試驗法	一五・二七
電機設計法	一五・二七
中條義守	一五・二七
燃料の節約と汽罐の保全	一五・二七
忠誠堂	一五・二七
滿洲事變紀念大寫真帖	一五・二七

チヨ―チン

張一龍(明)	三三
武庫纂略(共編)	
張岳(明)	三〇・三二
天時占驗	
張居正(清)	三七
尉繚子直解(增訂)	三六
三略直解(增訂)	三六
司馬法直解(增訂)	三六
李衛公問對直解(增訂)	三一
六韜直解(增訂)	三一
張繼孟(明)	三七・三一
營陣圖說(共輯)	
張皇威(明)	三七・三一
火攻急務	三七・三一
攻城條略	三六・三一
守城條略	三六・三一
水戰急務	三三・三六・三一
張思琳(明)	三三
武庫纂略(共編)	

張蒼雄	二五・六
選信省の建築	
張澍(清)	三六
司馬法(編)	
張宗良(清)	三二
普法戰紀(譯)	
張紹學(清)	三三
軍器則例(共編)	
張泰交(清)	三六
歷代車戰叙略(編)	
張鵬翮(清)	三七
河防志	
江防述略	二四
趙學敏(清)	二四
火戰略	
趙光裕(明)	三三
武家叢(註)	
趙子禎(明)	三三
車銃圖	三三
神器譜	三三
趙商英(宋)	三元
素書(註)	
趙蕤(唐)	三〇
長短經	
趙秉裕(清)	三元
素書(校)	
趙璠(清)	三三
軍器則例(共編)	
趙本學(明)	三〇
趙註孫子(註)	
趙寧(清)	二四
江防集要(編)	
朝鮮銀行調查局	二七
朝鮮ノ石炭及發電水力	
朝鮮銀行調查部	一五
朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利用トニ就テ	
朝鮮警察協會	二四
火藥講演集	

朝鮮建築所	二五
建築所事業概要	
朝鮮鑛業會	一五
朝鮮稼行鑛山分布圖	
朝鮮鑛業會々報	一六
朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會決議事項	一六
朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會第一部調査報告書	一六
朝鮮工業協會	六
朝鮮の工業と其の資源	
朝鮮鑛業研究會	六
朝鮮工業要覽	
朝鮮史編修會	三三
鑛管兵編伍冊殘卷	
朝鮮總督府	六
鴨綠江橋梁工事概況	六
京義線工事概況	五
鑛區一覽	一五
上水協議會議事錄	八
朝鮮航路標識覽表	二六
朝鮮土木事業誌	四

朝鮮總督府官房土木部 治水及水利踏査書	七	朝鮮總督府逓信局 電氣事業要覽	三〇	陳廷對(明) 地利海防險要	三〇・三一	塚本 靖 支那建築(共編)	二六三
朝鮮總督府官房文書課 朝鮮の窯業	二五	發電計畫及送電網計畫書 發電水力調査書	二三	陳 璠(明) 師律提綱	三三・三六	支那建築解説(共編)	二六三
朝鮮總督府殖産局 朝鮮鐵業の趨勢	二五	朝鮮總督府鐵道局 鴨綠江橋梁工事報告	六	陳 傅良(宋) 歷代兵制	三七	日光廟建築論(共)	二・六三
朝鮮鐵區一覽	二五	朝鮮總督府内務局 朝鮮河川調査書	九	陳 亮(宋) 龍川先生酌古論	三三	日本の佛教建築概説	二六
朝鮮の石炭鐵業	二五	朝鮮窮民救済治水工事年報	七	ツカ―ツル			二六・七三
朝鮮の鐵鐵業	二五	朝鮮直轄河川工事年報	七・八				六
朝鮮總督府殖産局鑛山課 朝鮮特種鐵物資源調査報告	二六	朝鮮總督府燃料選鑛研究所 選鑛製煉試驗報告	一八				二六・七六
朝鮮總督府商工局 朝鮮鑛產地	二五	朝鮮總督府殖産局燃料選鑛研究所 石炭試驗報告	三三				一八
朝鮮總督府水産試驗場 朝鮮近海海洋圖	二六	朝鮮炭田調査報告	一七	都賀庭鐘 天工開物(校)	一八	柘植芳男 學校(共)	二六・七六
朝鮮總督府地質調査所 石炭乾餾試驗報文	二三	平安南道南部無煙炭炭田	一七	塚田太郎 方向探知器(共)	三九・四三	辻 二郎 光彈性學と理研光彈性裝置(共)	一八
石炭風化試驗成績報文	二七	平安南道北部無煙炭炭田地質圖	一七	塚本 閣治 小型映畫撮影と映寫	三二・三四	彈性質驗法	一〇・二〇
朝鮮鑛床調査報告	二七・二八	朝鮮總督府臨時土地調查局 圖根測量縱橫線差算出表	三七	有機化合物熔融點表(共編)	一五	辻井 靜二 建築構造力學	二六七
朝鮮鑛物誌	二八	陳 克(宋) 東南防守利便	三三	塚本 起夫		辻村太郎 一九三一年巴里萬國地理學會議	一五
朝鮮地質鑛床分布圖	二八・二九					乾燥地形・氷蝕地形及びカルスト 地形	一五
朝鮮地質調査要報	二八・二九						



辻村太郎〔續〕		土田盛一		堤秀夫		坪井美雄	
環太平洋地域の地理	一五	燃料酒精講演集	三三	電氣磁氣學(共)	二二・二三	銅鑛製煉法	一八五
景觀地域	一五	燃料酒精座談會筆錄	三三	電子論	二二・二四		
景觀の研究	一五	土御門晴善		綱島政吉		坪井善勝	
斷層地形	一五	絹絲化學	三四	架空索道及其運材能力	一四	床版の計算〔譯〕	三・三五
辻元謙之助		土屋 壽		常岡俊三		壺井義知	
熱ノ合理的使用	一四	機械工學活用表	六	合成液體燃料	三三	本朝刀劍略記	三六
辻本滿丸		土屋純一		坪井誠太郎		坪谷幸六	
肝油の研究	二四	清國北京紫禁城建築調查報告	二・三三	火成岩成因論	一五	鑛業工學(共)	一四七
都筑通督		土屋竹松		カーネギー研究所地球物理學	一五	地質鑛物學概論	一四
本邦道路橋樑覽〔編〕	六	電動機應用(共)	一三	鑛物及び岩石の光學的鏡檢法	一五・一三	本邦の硫黃及び燐礦	一五・一五
津田敬武		土屋 直		坪井忠二		津屋弘達	
鳳凰堂の研究	二三	二・三の土木材料の比熱測定結果 に就て(共)	四・五	大阪及び海洋の生成に關する地球 物理學的諸論說	一五	本邦火山の構造	一七
津田信夫		土屋紋藏		測地學的方法によつて見出され た地殼の變形	一五	ツラットマン(米)	
金 工	二五・二七	測量(共)	三四	地球物理學的に見た東北日本と 西南日本	一五	鐵道軌道論	六
津田信良		堤 繁		坪井道三		鶴岡鶴吉	
現代工業常識〔編〕	一	揮發油の合成	二九・三六	機械設計(共)	三	應用力學	一九
和洋建築規矩術	二五	メタンより水性ガスの生成	三九・三四	機械設計	三	四連モーメントの定理とその應用 (共譯)	五
津田吉文		堤 董眞		工學獨逸語解釋研究(共)	九	土壓及び地盤の支持力(共譯)	五
最新基本電氣磁氣測定法	二七	兵學提要〔譯〕	三三	獨英和對譯機械用語集	七		

鶴田 明	建築の熔接(共)	一六・二九	程 輔 國(明)	騎射彙奇(輯)	三七・三三	帝國馬匹協會	役馬共同厩舎懸賞募集設計圖集、	二七	逓信省管船局	船舶速力試験成績表	二五
鶴田 勝	建築材料(共)	二五	鄭 若 會(明)	萬里海防圖論	三五	帝國飛行協會	航空年鑑	二七	逓信省航空局	航空資料	二七
鶴見 一之	下水道	六	帝國瓦斯協會	瓦斯事業要覽	三四	帝國法制會	土木關係法令集	四	逓信省航空局	航空統計年報	二七
土木施工法(共)		七	帝國機械協會	國際標準工作機械型錄	一〇	帝國馬匹協會	東京帝國馬匹協會建築懸賞設計圖集	二七	逓信省航空局	航空要覽	二七
鶴見志津夫	本溪湖石炭の熱的性質	二五	帝國建築協會	日本住宅及別荘建築	二六	逓 信 省	歐米製鐵業ノ狀況	一八	逓信省工務局	逓信省海底電線布設船南洋丸建造概要	二五
鶴峰海西	歴代事實出所書目(校)	三三	風流手摺と持送圖案		二六	可摺紐線		二五・二六	逓信省工務局電信課	電信試驗技術官會議講演集	二六
テイ			帝國工業教育會	建築の普及	二五	金屬管及金屬線桶		二五・二六	逓信省通信局	英米に於ける電話事業	二六
丁 拱 辰(清)	演説圖說輯要	三七	帝國森林會	航空寫真測地と其應用	三〇	絕緣電線		二五・二七	逓信省通信局	電話事業二十五年小史	二六
丁 鴻 臣(清)	東瀛閭閻日記	三〇	帝國農會	戰時經濟關係法令集	三二	船舶救命設備に關する調査		二五・二七	逓信省通信局工務課	明治四〇年電氣事業要覽	二九
程 延 鏞(清)	日俄戰事始末譯略(譯)	三六	帝國博物館	本邦產鐵物及岩石目錄	一六	電氣用品型式承認集		二五	逓信省通信局工務課	本邦電信史資料	二八
						點 滅 器		二五・二七	逓信省鐵道局	鐵道局年報	二九
						佛國ニ於ケル造船及航海補助制度並ニ其效果		二五			

逓信省電氣局

歐米各國に於ける電氣事業に其の行政	二〇
歐米に於ける電氣實驗所	二〇
許可水力地點要覽	二三
水力調査書	二三
電氣事業一覽圖	二八
電氣事業概況	二八
電氣事業月報	二三
電氣事業調査資料	二八
明治四一年電氣事業要覽	二九
明治四二年電氣事業要覽	二九
明治四三年電氣事業要覽	二九
明治四四年電氣事業要覽	二九
大正元年電氣事業要覽	二九
第八回電氣事業要覽	二九
第九回電氣事業要覽	二九
第一〇回電氣事業要覽	二九
第一一回電氣事業要覽	二九
第一二回電氣事業要覽	二九
第一三回電氣事業要覽	二九
第一四回電氣事業要覽	二九
第一五回電氣事業要覽	二九
第一六回電氣事業要覽	二九
第一七回電氣事業要覽	二九
第一八回電氣事業要覽	二九
第一九回電氣事業要覽	二九
第二〇回電氣事業要覽	二九
第二一回電氣事業要覽	二九

逓信省電氣局(續)

第二二回電氣事業要覽	二九
第二三回電氣事業要覽	二九
第二四回電氣事業要覽	二九
第二五回電氣事業要覽	二九
第二六回電氣事業要覽	二九
第二七回電氣事業要覽	二九
第二八回電氣事業要覽	二九
第二九回電氣事業要覽	二九
發電水力地點要覽	二三
發電水力調査概況	二三
發電水力の標準使用水量並に水力火力併用に關する研究	二三
流量要覽	七
逓信省電氣試驗所	二六
電氣計器型式集	二六
電氣試驗所彙報	二六
電氣試驗所研究報告	二六
電氣試驗所事務報告	二六
電氣試驗所第一部彙報	二六
電氣試驗所第二部別刷集	二六
電氣試驗所第三部別刷集	二六
電氣試驗所調査報告	二六
電氣試驗所報告	二六
逓信省電務局	二六
電信沿革史	二六
電信沿革略史	二六

逓信省電務局(續)

電務研究資料	二八
電務年鑑	二八
逓信省臨時調査局海事部	二九
英國ノ造船及造機業(譯)	二九
鐵筋混凝土船舶ニ關スル調査	二九
佛國ニ於ケル主要開港ニ關スル調査	二九
逓信省臨時調査局電氣部	二九
印度ニ於ケル電氣事業暨電氣用品市場	二九
漆洲比律賓及蘭領印度に於ける電氣用品市場調査報告書	二九
纖維質絶縁物に關する調査	二九
大正三年八月以降ニ於ケル本邦電氣事業ノ狀況	二九
電氣化學工業ニ關スル調査	二九
電氣工業用材料ノ需給ニ關スル調査	二九
電氣用絶縁物ニ關スル調査資料	二九
獨逸及奧國の電機工業	二九
米國に於ける電氣事業の概況	二九
米國及加奈陀に於ける電氣事業並發電水力の概況	二九
本邦製鐵絶縁電線に關する調査資料	二九

逓信大臣官房文書課

英米ニ於ケル電話事業	二八
英米ノ市外電話事業	二八
ティモシエンコ(米)	二七
工業振動學	二七
材料力學	二三
彈性體の力學	二三
テイラー(英)	一九・二七
コロイド化學	一九・二七
テイーチェンス(獨)	二〇
流體力學(其)	二〇
テウーテ	二五・二九
出浦高介	二五・二九
建築請負の制度及び法律概論	二五・二九
的樓那限(佛)	二六
佛蘭西各局智幾	二六
出口雄三	二六
〔臺灣〕臺灣總督府調查報告(其)	二六
勅使河原健樹	二六
電氣鐵道用變電所	二六・二八

手塚 潔	ペンゾール系の研究	三六・四八	鐵道省岡山建設事務所 土讃北線猪之鼻隧道工事誌 土讃北線吉野川橋梁架橋工事誌	七 六	鐵道省工作局 MT15形電動機圖面 車輛形式圖(編) 電車戸閉裝置說明書	一三〇 六二 一四	鐵道省大臣官房研究所第四科 兩國鐵道橋設計算書	七〇
鐵道院	鐵道院鐵道統計資料	五	鐵道省運輸局 鐵・礦石・鐵及鋼・銅・鐵及鋼製 品・機械類ニ關スル調査 港灣と鐵道との關係調査 自動車に關する調査報告 石灰・煉瓦・セメントニ關スル 調査	一三 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇	鐵道省工作局車輛課 機關車形式圖	六四	鐵道省電氣局 川崎發電所工事概要 川崎發電所仕様書示方書並圖面 米國合衆國に於ける電氣信號並電 氣聯動裝置概況報告書	二四 二四 一四 一四
鐵道院技術部	鐵筋混凝土橋梁設計心得	五	鐵道院東京建設事務所 房總線北條線建設概要	五	鐵道省工務局 過送車輛制止設備試驗報告書 軌條毀損之研究	六 五	鐵道省盛岡建設事務所 山田線第一飛鳥隧道工事概況	七
鐵道院東京建設事務所	房總線北條線建設概要	五	鐵道省監督局 鐵道軌道線路圖	五 六	鐵道省工務局保線課 軌道整備心得解説 保線關係重要規定	六 六 六	鐵道通信社 鐵道電氣事業要鑑	一四
鐵道院若松建設事務所	岩越線阿賀野川釜橋橋梁寫眞帖	六	鐵道省熊本建設事務所 久大西線筑後川橋梁架設工事報告	六 六	鐵道時報局 工學寶典 日本の鐵道論	七 七 六	鐵道圖書局 英和對譯工學術語辭典 デビー(米) 甜菜砂糖製造法	九 二四 二四
鐵道工學研究所	鐵道工事 <sup>鐵道</sup> 設計資料	五	高森線立野橋梁架設工事寫眞帖	六	鐵道省大臣官房外國鐵道調査課 歐米各國防雪設備及排雪方法	五	寺尾信吾 木型と鑄造(共)	一七
鐵道省	鐵及礦石	一五	鐵道省建設局工事課 各國隧道工事 <sup>中</sup> の湧水多量なる實 例	七 六	鐵道省大臣官房研究所 設計諸表 鐵道設計圖表全集 轉轍器概又明細圖	五 五 五 六	寺岡徳二 スケッチ寫眞の撮り方	三三・三三
鐵道省熱海建設事務所	丹那トンネルの話	七	鐵道省熱海建設事務所 丹那トンネルの話	七				

寺澤寛一	應用數學(共編)	二六	電機學校	交流理論	二三	電氣協會關東支部(續)	二五
寺島成信	理論電氣磁氣學(共譯)	二三	送電配電	蓄電池	三五	電氣材料ポケットブック	二五
海運篇		二五	電氣技術者資格檢定試驗問題並に解答		二六	電氣用材料仕様書	二五
寺田幸照			電氣教育研究會			電氣協會工手養成所	二六
兵法奥義捷徑		二六	配電法		二五	開閉器に就て	二・二六・二六
寺田貞次			電氣協會		二六・二七	簡易照明と暖房	二・二六・二六
交通地理		二六	屋內電氣工事施設要則		二五	計器と電流制限器	二・二六
寺田正淨			架空電線路建設要則		二六	檢査に就て	二・二六
兵法登假集		二六	地中電線路建設要則		二七	建築設計圖面の見方	二・二六・二六
			電氣協會十年史		二七	事故處置	二・二六・二六
			電氣事業會計解說		二七	扇風機	二・二六・二六
寺本圭助			電氣事業關係判決集		二七	電氣協會工手養成所パンフレット	二・二六・二六
セルロイド簡易加工法		二七	電氣協會關西支部		二七	電氣とは	二・二六・二六
デアア(米)		二七	電氣協會關西支部十年史		二七	電線と接續材料	二・二六・二六
甘蔗糖學		二七	電氣工作物風水害豫防調査委員會調査報告書		二七	電燈から引込まで	二・二六・二六
テラー(米)		二七	電氣大博覽會報告		二七	電燈器具に就て	二・二六・二六
航空用發動機的设计に就て		二七	元中央電氣協會史		二七	電熱器に就て	二・二六・二六
デーリ(米)		二七	電氣協會關東支部		二七	内線電氣工手必携	二・二六・二六
構造地質學講話		二七	火力發電所用語集		二七	配線圖の書き方	二・二六・二六
			十五年史		二七	「ヒューズ」と接地	二・二六・二六
			水銀整流器講習錄		二七	木製線樋鉛被線工事	二・二六・二六
					二七	電氣協會調查部	二・二六・二六
					二七	電氣事業資料	二・二六・二六
					二七	電氣協會電氣計器大阪試驗所	二・二六・二六
					二七	電氣計器大阪試驗所彙報	二・二六・二六

電氣協會電氣計器東京試驗所 復興十年史	三	電氣日報社 電氣事業國策論叢	三	電通社 交通と電氣	二〇	土居禎夫 本邦人絹工業の現在及び將來	二六
電氣經濟研究所 日本電氣經濟年史	二〇六	電氣之友社 電氣工事人便覽 大正一一年電氣年鑑 大正一五年電氣年鑑 昭和三年電氣年鑑 昭和五年電氣年鑑 昭和六年電氣年鑑 昭和七・八年電氣年鑑 昭和八・九年電氣年鑑 昭和一〇年電氣年鑑 昭和一一三年電氣年鑑	二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七 二七	電燈五十年記念會 電燈五十年記念會誌	二六	土居寬通 煖房及換氣設備 煖冷房及換氣	二五・二六 八・二六
電氣經濟時論社 電報事業年報	二三	電氣文化振興會 新電氣供給規定集	三	電友社 大正七年電氣年鑑 電信學階梯	二七 二七	土居松市 鐵筋コンクリート家屋構造	二六八
電氣工學編輯部 電線計算表	二七	電車製作調查委員會 最新電動客車明細表及型式圖集	二五	傳蘭雅(英) 開煤要法(譯) 銀礦指南(譯) 礦務叢書(譯) 井礦工程(譯) 冶金錄(譯)	二七・二七 二七・二七 二七・二七 二七・二七 二七・二七 二七・二七	獨逸國際住宅協會 不良住宅地區改良事業	二五
電氣工作物震災豫防調查會 電氣工作物震災豫防調查會調查書	二〇	電氣電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	獨逸コンクリート協會 鐵筋コンクリート構造	二・二五	獨逸產業合理化協會經濟的製造 工業委員會 壓縮空氣設備の設計と運轉 機械的動力傳達裝置 工場に於ける寸法の測定法 工程管理 最新自動車修繕工場 特殊計算尺	九 九 九 二 二 二 二
電氣作業安全心得制定委員會 電氣作業安全心得	二七	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	杜共堡(民) 地質礦物學大辭典(編)	二六	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二六
電氣事業研究會 電氣事業界當面の緊要問題 電氣事業研究資料	二〇 二八 二八	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	杜臻(清) 海防述略	二四		
電氣新報社 明日の電氣事業	二三	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六				
電氣製鋼研究會 電氣製鋼	二六	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六				

ドゥヴィール(佛)	二六	德川貞一	一五	利根川金之助	一八五	土木研究會	五
内燃機關	二六	孤狀山脈	一五	金鐵精鍊實施法	一八五	土木技術に關する仕様及諸規定	
飛行機の力学	二六	日本地體構造序論	一五	金鐵の製鍊	一八五		
遠山 繁	二六	德永重康	一五・一六	金鐵の選鑛と汰鑛の處理法	一八〇	土木研究資料編纂會	四
測量學大意	二六	三疊紀(共)	一五・一六	利根川守三郎	一八	土木研究資料	四
梅野明二郎	二四〇	常磐炭田地ノ地質	一六	電話の理論と其應用	一八	日本治水史	四・七
最新醬油醸造論	二四〇	哺乳類	一五	鳥羽正雄	三七	土木工業社	六
最新醬油味噌醸造法	二四〇	德永 庸	一五・一六	城郭の變遷	三七	護岸と水制	六
戸川政治	二九・三〇	一般建築構造	二五・二六	日本城郭史(共)	三八	最近道路橋設計實例集	六
航空輸送	二九・三〇	德野嘉七	二五	飛永甚治	三九	土木政法會	四
常磐書房	二五・二六	日本酒改良實業問答	二五	汽罐・汽機	三九	現行土木法令	四
高等建築學	二五・二六	戸合英一	二五	最新蒸氣タービン	三九	交通土木法規總覽	四
高等土木工學	二五・二六	土木設計便覽	二五	最新力学及材料強弱學	三九	土木法令研究會	四
德江 德	二五	塗工之魁新聞社	二五	内燃機關	三九	土木關係法令集	四
内燃機關(共譯)	二五	塗料年鑑	二五	齒車の設計並齒切法	三九・四〇		
德川義直	二五	戸田武雄	二五	土木學會	四〇	土木寮	六
軍書合鑑	二五	機械の經濟學	二五	昭和九年關西地方風水害調査報告	四〇	堤防橋梁積方大概	六
德島縣	二五	獨國海軍軍令部	二五	告	四〇		
阿波戰時記	二五	北海海戰史	二五	土木工學用語集	四〇	土木研究會	五
	二五	トッド(米)	二五	土木工學論文抄錄	四〇	土木技術に關する仕様及諸規定	五
	二五	保護繼電器	二五	土木工事寫真集	四〇	土木研究資料編纂會	四
	二五		二五	明治以前日本土木史	四〇	日本治水史	四・七

トマートリ

苦名孝太郎  
架索索道計算法

芭米地 貢	一四三	富永 齊	一九・二五	友松仙藏	三〇	豐田四郎	三六
趣味のテレビジョン	一四〇	電氣化學		鐵筋混凝土施工法		三角測量	三六
趣味の無線電話		富久力松	三六	富山縣	七	多角測量及其應用	三六
富井六造	二一・二五	ワイスコースの研究	三六	黒部川用水合口事業誌		豐原信一郎	一六五
電氣化學	二一・二五	人造絹絲	三六	外山修之	三六	タングステンとモリブデン	一六五
富岡百鍊	三三〇	富山 保	二五	油脂類		銅と亜鉛	一六五
孫子約説(校)		電氣化學工業		豐口克平	二五	トラウニイク(獨)	一五
富岡 弘	三二・三四	トムソン	一三	現代家具製作の知識(共)	二五	電氣鐵道	一五
増感及減感法		電氣及磁氣學		十代田三郎		烏居巖人	一五
富塚 清	二九	外村徳三	二五・二七	商店建築(共)	二五・二六	電氣鐵道論集(編)	一五
航空原動機	八八・九六・九八	電極・黒鉛・カーボランダム(共)	二五・二七	商店の平面計畫	二七	烏居敬造	一六
航空發動機(共)	九五・九六	友田宜孝	二五	新金屬板構造と金屬建具	二五・二六	〔臺灣〕新竹州苗栗及竹東油川調査報告(共)	一六
内燃機關史		化學機械學	一九	豐田克平	二五・二六	〔臺灣〕臺南州新北油田調査報告	一六
富田久三郎	一六・九	化學工業	一九	標準家具	二五・二六	烏居秀夫	四
工業數學初步		砂糖工業	二〇・二四	豐田研究室		工事務務の取扱方	四
富田 達	一七	醸造及清涼飲料水(共)	二〇・二八	第三回蓄電池發明懸賞募集審査報告書	二〇七	西水孜郎	一八
アルカリ岩		澱粉工業	二〇・二四	電池に關する特許文獻	二〇六	農業の地域性	一八
富田芳郎	一五	友田三八二	二六	豐田研究彙報	二〇六	鳥山四男	一三
軟質砂石の機械的分析に就て		電氣計器(共)	二六		二〇六	高壓電氣工學原論	一三
富永長治	二五・二六	友部正介	二五			高電壓發生裝置(共)	一三
建築施工用機械設備		邊壽紀聞	二五			電氣絶緣論	一三



トルガシツ(録)  
北満之石炭

二三

トートーワ

陶 希 聖(民)

唐宋官私工業(校)

六

陶 弘 景(梁)

古今刀劍錄

三三

藤 壽 山

鐵山紀年錄

一四

東亞同文會

支那工業綜覽

六

ドーヴノ一(英)

電氣鐵道

一五

東奥日報社

滿洲事變第八師團戰功史

三七

東 學 社

航空機工學大講座

二六

最新建築工學

二五

實用建築講座

二五

東瀾智海

鑄錢圖解(校)

一七

統監府通信管理局

韓國通信線路圖

二七

統監府通信事業第一回報告

統監府通信事業第二回報告

二八

明治四十年度統監府通信事業

第二年報

二八

明治四十一年度統監府通信事業

第三年報

二八

東本龍七

微地形論

二八

東京朝日新聞社

戰爭美術展覽會圖錄

三三

日本寫真年鑑

二五

東京化學器械同業組合

化學機械目錄

二五

化學之友拔萃集

一六

東京瓦斯株式會社

東京瓦斯株式會社沿革及事業略史

二四

東京瓦斯五十年史

二四

東京經濟新報社

二年兵役論

三六

東京鑛山監督局

東京鑛山監督局管内鑛區一覽

一五

東京鑛山監督署

鑛業概覽

一四

日本鑛業誌

一四

東京工學研究會

測量重要諸表

五七

土木工學公式便覽(編)

土木工事歩掛と單價表

五七

トランシット測量

平板測量及水準測量

五七

東京工業研究會

機械學問答

六

東京工業試驗所

鹽素製糖法ニ關スル研究

二四

「カセイ」接合劑ノ強度ニ關スル

研究

二四

加里原料調査報告概要

澱粉糊研究報告

二四

東京工業試驗所年報

東京工業試驗所報告

二五

東京工業試驗所(續)

糖類ノ鹽素酸化ニ關スル研究

二四

木材「バルブ」ニ關スル研究

二七

東京工業大學

東京工業大學學報

二

東京工業大學工業經濟調查部

工業現勢

一四

新興工業の吟味

一

東京高等工業學校

東京高等工業學校校報

三

東京高等商業學校

電氣鐵道調査報告書

一四

東京市

下水道水質試驗方法

八四

下水道設計標準圖

下水道要記

八四

第二回東京市下水道年報

東京市下水道改良實施調査報告書

八四

東京市下水道事業概要

第八回東京市下水道事業年報

八五

東京市下水道災害調査報告

東京市高層建築物調査

八五



東京電氣無線株式會社  
無線資料

一四

東京電燈株式會社

東京電燈株式會社開業五十年史

內線規程

二三  
二七

東京土木建築業組合

東京土木建築業組合沿革史

四二・五

東京府荒玉水道町村役場

荒玉水道誌

四

東京府江戸川上水町村組合

江戸川上水道誌

四

東京府土木部

東京都市計畫環狀道路改修工事  
報告書

道路交通情勢調査報告書

三  
四

東京府土木部橋梁課

東京府橋梁設計圖集

九

同濟號書房

工業藥品大辭典

一〇一

湯若望(獨)

火攻要略

火攻要略諸器圖

增補則克錄

三三  
三三  
三六

泰水子

武器圖考

三四

東條英

礮將須知(譯)

三五

東條喜一

機械(共)

電氣機械試驗法

六  
二九

燈臺局

燈臺年報

二六

東軍杞憂居士

東西戰後策

三五

東北帝國大學金屬材料研究所

金屬材料研究所年報

鐵鋼顯微鏡組織

元  
一三

東北帝國大學工學部金屬工學科

研究報告

一八

東北帝國大學附屬電氣通信研究

所

東北帝國大學電氣通信工學研究論

文

一七

東北帝國大學理學部

地質學古生物學教室研究邦文報告

一五

東部鐵道管理局工務課

松野隆道崩壞復舊工事誌

七

東邦電力株式會社調查部

米國超電力聯系に關する組織

二九

遠山景元

等海内舊錄

三三・三四

遠山 愿

砂糖精製法講話(共譯)

二四

當山道三

初級工業力學

一九

地質工學(共)

東洋協會調查部

支那當面の國防作戦計畫

一四  
一〇二

東洋經濟新報社

戰時經濟法令集

三三

道路改良會

道路職員必携

道路の改良

三三  
三六

東和公司

博山石炭鑛業概要

一七

十一

内外資料協會

液體燃料

三三

內閣印刷局

兵役法關係法規(昭和二年改正)

三六

內閣記錄局

兵制門

三六

內閣資源局

重要礦物資源資料目錄

全國公私試驗研究機關試驗研究  
項目要覽

一五  
二

內閣情報部

大戰間獨逸の謀報及宣傳

大戰間に於ける佛國の對獨宣傳

三一  
三一



内務大臣官房都市計畫課

市街地建築物法の效果  
市街地建築物法の話

二九二  
二九三

ナウカ社

最近のソヴェト建築  
ソヴェト建築思想(譯)

二四四  
二五〇

直木倫太郎

技術生活より  
土木工学水理學

三七  
三

ナカイ—ナカケ

中井愛次

本邦海工構造物設計大輯(編)

八〇

中井將一

擴聲器(譯)  
ト—キ—

一四二  
一三九・四六

中井武雄

代用品工業(共編)

二四八

中井良太郎

兵役法詳解

三六

中居義倚

集要他藥新書

三三

永井一雄

臺灣産「樟牛油」及「油樹油」研究  
報告(編)

三七

永井健三

傳送回路網學(共)

三七

永井彰一郎

珪酸鹽工業  
珪酸鹽工業要覽  
混合セメントの知識

三五  
三五  
二四・三五

石灰・石膏・プラストー類(共)

セメント及び漆喰類  
セメント概論  
耐火材料及其の試験法  
耐火物  
耐火物の化學と試験法  
無機化學工業  
無機工業材料  
無機質化學工業材料(共)  
窯業  
窯業品の化學製造及試験法  
煉瓦・瓦・タイル及耐火物

二四・四一・三七  
一九・三七  
五四・五六  
一〇・三  
二六・四六  
二六  
一九  
一九・九七  
一四・四六  
三五  
二五  
二〇・二六・二六

永井長治

「ランカシヤ」綿工業及「ヨークシヤ」  
毛工業ノ概況

三五

永井時一

金澤コンクリート試験鋪裝報告  
(共)

五

永井博

車輛用機關

九五・九七

永井弘之

天然瓦斯の鹽素置換に關する  
集報

三四・三五・

永井保興

製絲家必携

二二

永井雄三郎

液體燃料の合成  
燃料・燃燒及潤滑油(共)

一九・三三  
九五・三〇

長井熊吉

河川工事施工法(共)

五

長井忠三郎

錦囊測量全書

五

中泉正徳

醫學的レントゲン寫眞

三三・三四

中江大部

石鹼製造化學  
油脂工業化學

三八  
三六

中尾清藏

所謂關東ロームの機械的並びに  
鑛物學的研究

一五七

中尾保

西洋建築史概要

二五七

永雄節郎

瓦斯發動機と瓦斯力發電所  
起重機  
Nishida no Kikai (荷役の機械)

九七・四  
八・九  
九

長尾巧

古第三紀  
筑豊炭田地圖

一五・五  
二七

長尾不二夫

ディーゼル機關の燃料噴射及燃燒  
燃料噴射及燃料ポンプ(共)  
船用機關及陸上用内燃機關(共)

六  
九五・九六  
九五・九五

長岡外史

航空篇

二九七

中上豊吉	回路与真空管(共)	一四〇	中川正尙	古戦評判	三〇四	長崎敏音	近世土木工學便覽	四二	永澤謙三(續)	研削仕事	一〇一
機械裝置(共)	一四〇	中川守之	飛行機構造(共)	二九・二九元	實用和洋河工學	五五	工作機械の基礎	一〇〇	軸受(共)	六・九	
測定と應用(共)	一四〇	永木曉三郎	實地醬油釀造法概要	二四〇	土木工學便覽	四二	長澤榮作	鐵骨建築構造格梯	三六		
短波長無線電信電話(共)	一四〇	酢の作り方	二四〇	中澤重雄	電子説から見た世界	二四	長澤寸美遠	ゲージ及び検査仕事	一〇一		
電波の輻射(共)	一四〇	中久木 潔	機械探炭と切羽片磐の運搬	一七二	炭火石灰の工業的製造	二七・	治具及取付具	八・一〇〇			
放送無線電話	一四〇	工務者製圖設計計算便覽	元	中澤良夫	滿蒙の化學工業	一九六	調帶使用法	一〇三			
無線科學大系(共編)	二九	最近工作術	毛	臺灣に於ける醱酵工業	一三・三八	長澤武雄	實驗觀測計算法	一七			
無線電信電話(共)	一三六・四〇	中川近禮	鑄錢座遺跡考(編)	一七	永澤毅一	一般構造(共)	二五	長澤 徹	日本產薄荷油ニ關スル研究(共)	三七	
無線電話機器の調整及運用(共)	一四	原子核物理實驗	二四・二三	永澤謙三	機械製作用精密測定器具機械	一〇三	中路幸謙	照明電燈及電熱(共)	二四・三六		
中川英一郎	工作考案と製圖の仕方	元	古戦評判	三〇四	機械製圖法(共)	八・九・五	中柴末純	戰爭の哲學的意義	三〇・一〇三		
工務者製圖設計計算便覽	元	調色法	二二・二四	永澤謙三	機械設計總論(共)	六・一〇〇					
最近工作術	毛	定着法	二二・二四	永澤謙三	グラインダー	六・一〇〇					
中川近禮	鑄錢座遺跡考(編)	一七	永澤謙三	一般構造(共)	二五						
鑄錢座遺跡考(編)	一七	補力及び減力	二二・二四	永澤謙三	機械製作用精密測定器具機械	一〇三					
中川重雄	原子核物理實驗	二四・二三	永澤謙三	機械製圖法(共)	八・九・五						
原子核物理實驗	二四・二三	永澤謙三	計費要論(共)	二五・二七	機械設計總論(共)	六・一〇〇					
中川房吉	新しい製絲技術	二三	ナカサ―ナカツ								
新しい製絲技術	二三										
絲格向上製絲法	二三										
製絲能率論	二三										
製絲法	二三										

中島銳治 英和工學字典(共編)	八
中島顯三 膠着劑	二四七
中島茂 振動學入門(譯)	一二
中島武 航空時代	二九七
中島武太郎 實用色染學	三九
中島正 纖維素及其誘導體の研究	三三
中島友正 實用電氣機械	三八
中島長守 中島流砲術傳書(共編)	三四〇
中島正巳 電鍍及電鑄(共)	一六〇・一五
中島工學博士記念事業會 日本水道史	八四

中島飛行機株式會社 研究報告	二九八
永島福太郎 石山合戰(共)	三四・三五
長島躬行 陰極線式テレビジョン ブラウン管及び光電管	一四・一四三 一三九・一四
永積純次郎 近代の鑛山 鑛山の計畫及設計 鑛山變災 鑛山用器具及機械 探鑛學 探鑛學通論 探鑛用品	一四 一六 一七〇 一六 一六 一六 一六
中田義算 製鐵	一三
永田贊典 邊論合璧(編)	三五
永田二龍 風景寫眞の作り方	二三

永田念郎 耐震建築	二五・二七〇
永田年 鐵筋混凝土工學 鐵筋コンクリート設計法	二八・四〇 三〇・四
中津市役所 中津町上水道誌	五
<b>ナカニ—ナカミ</b>	
中西岩次郎 鉛アンチモン合金の水素過 電壓(共)	二六
中西健治 硝子及其加工法 硝子加工法 硝子工藝 基礎版的基本的研究(共) 彈性地盤上の圓形水槽(共)	二〇・二六 二六 二六 二六 四九・五七
中西悟堂 動物の生應寫眞	二三・三四

中西副松 軍事教育の本領	三〇〇
中西不二夫 發動機の力學(共)	九・五
中西義榮 建築設備	二五・二六五
長沼宗敬 握奇(經)八陣集解 戰格 田帥陣營篇 兵要錄 兵要錄抄錄 兵要錄筆記	三三・三七 三四 三四 三六 三六 三六
中根勇吉 滿洲に於ける柞蠶製絲業	三四
中野清二 制御方式及び配電盤(共)	二六
中野竹四郎 牧畜	一五八
中野直信 實用ケーブル施工法 初等電信電話	一四 一三七

中野弘策	六	長野宗四郎	一九二	中原虎男	三三	中間 清	三
機械材料金屬學初歩		近世化學工業(共)		纖維工業		最新道路工學	
中野 實	一七	長野梯介	二四	中原正虎	二四	永廻 登	一九・一九七
坑氣調整學(共)		冷凍及び冷凍機械		木材の人工乾燥と木取		吸着と收着	
中野彌吾(楚溪)	二五	長野昌隆	二六	中原益治郎	一六	中松盛雄	五
國寶綜覽		電解腐蝕に依る製版法の研究(共)		金屬塑性學(共)		發明篇	
竹生島建築裝飾(編)	二九	中橋末吉	一五	永原與藏	二九	永松秀夫	二六・二七
中野義雄	二五	有機化合物熔融點表(共編)		新らしき和風家具		壓延法	
化學機器圖集(共編)		長濱慶三	二一・二三	加工裝飾法	一〇三	長兄公祐	三六
永野英輔	一八〇	航空寫眞の寫し方	二一・二三	竹工加工法	一〇三	世界人造絹絲工業	
最近乾式試金術(譯)		整色及赤外寫眞術	二一・三四	特殊材料	一〇三	水峯源吉	一八
仲野雄介	五	整色寫眞	二一・三四	塗工法	一〇三・一〇四	電氣銲接	
河川工事施工法(共)	五	中原淳藏	元	木工加工法	一〇三	水峯尙次	
構築材料(共)	五	實用力学		木工加工法	一〇三	瀝青乳劑及びビヂュマルス鋪裝に關する試験(共)	四六・四五
水路と溜池(共)	九	中原辰二	一〇三	木竹加工法	一〇三	石炭瓦斯のアスファルト・セメントに及ぼす影響	四六・五
測量設計實用表(編)	七	自動車の知識(共)		木竹基本工作講座	一〇三	大氣中に於けるアスファルト・セメントの變化	四六・五
測量設計實用表(舊編)(編)	七	中原貞三郎	三	木竹工具	一〇三	鋪裝コンクリート工に及ぼす氣象作用の影響並に之に應ずる設計及工法に就て(共)	四七
土木工事設計資料	五	韓國土木事業調査書(編)	三	測量常用諸表	七		
長野重石衛門	九	陸地測量部三角點利用法	三	長距離補助表	七		
琵琶湖築堤問題に就て							



# ナカムーナカヤ

中村朝吉

非結晶性多孔質無水硫酸ノ製法及ヒ  
其ノ應用試験(共) 二七

中村猪市

コンクリート・鐵筋コンクリート  
便覽 二六・二九

混凝土道路編

最近混凝土の常識

材料繼手法(編)

砂防工學

中等學校作業科コンクリート

土木工學全書(共)

土木林業砂防工事書(編)

中村一元

バルフ篇 二六・三七

中村恵亮

最新旋盤使用

中村勝哉

渡邊節作品集(編) 二五

中村義一

滿洲に於ける高粱酒醸造業

中村 清

冷凍法と其應用(共)

中村清彦

日本鐵業法

中村經年

繪本孫子童觀抄

中村謙一

近世橋梁學

中村小四郎

滿洲に於ける炭田并炭質調査

中村 恒

纖維素及其工藝

中村 興

扶桑名將傳

中村康之助

工業常識

動力(譯)

中村孝也

新田義貞の鎌倉攻略

藤島合戰

中村靜雄

電池及蓄電池(共)

中村進午

戰時國際公法

中村新太郎

始生代及原生代

滿蒙の地理地質

中村只八

新式規矩術(共)

中村達太郎

新らしき建築學階梯

開渠と管渠の圖計算

家屋排水の話

火災防止建築設備

簡易構造強弱(共)

換氣暖房の計算必携

給水給湯及消火設備

建築學階梯(編)

建築材料

建築隨想

中村達太郎 (續)

除塵裝置と汚水處分

耐震強度計算の手引

鐵筋コンクリート早割出

日本建築辭彙

配景圖法(編)

中村傳治

商店建築

中村虎一

工場要項(共)

中村直勝

笠置山の合戰

四條畷の合戰

多々良濱の合戰

筑後川の合戰

八幡の合戰

中村 元

架空索道運搬法

鋼索運輸

中村 寛

アパートメントハウスと其の

管理法

住宅經營

中村三男	油脂及其製品	100・三六	中山元晴	銀 行	二五・七九	夏見寛治	ゲーヂと精密工具	一〇三	那 蘭(英)	航海簡法	二五五
中村與資平	美術的建築(譯)	二九	最新市街地建築法の解釋		二九二	七日 會			成澤茂馬	我軍國主義	三〇二
洋風建築設計者の虎の巻(譯)		二七	中山龍次	歐米に於ける放送事業調査報告	一四三	國家の重要政策上より見たる 鐵道電化		天	成田 努	バル プ	二七
中村隆壽	化學兵器	三七	長 山 貫	海防私議	二四・三五	鍋島家編纂所 佐賀藩銃砲沿革概要		三三	成瀬勝武	橋 梁	二七
化學兵器の理論と實驗		三七	ナコーナン			波田強一	建築材料	二五・三五	橋 梁	橋梁工學	二七
中村林次	電弧熔接工場設備	八九	名古屋高等工業學校			滑川昌章	最近飛行學原論	二七	成瀬金太郎	味噌釀造法	二四一
中元 藤英	竹の利用と其加工	二四	名古屋高等工業學校學術報告		三	納屋松藏	參千圓以下で出来る趣味の住宅	二八	成瀬政男	商 車	九〇
中谷字吉郎	氣體内放電現象	二四	名古屋高等工業學校創立二十五 周年記念會論文集編纂委員 記念論文集		二	櫛崎敏雄	軍用航空と民間航空	二九	南 鄉 龍 音	滿洲に於ける燐寸工業	二四五
火花放電の近年の研究		二四	名古屋市役所		五	奈良原輝雄	最近瀝青鋪裝	六	南 日 實	材料強弱と彈性學	二三
中谷達次郎	火藥製造學	二四四	名古屋遞信局電氣課		二〇	自動車及自動自轉車故障發見 修正法		一四	難波捷吾	電波傳播に關する諸問題	一四〇
空中固定硝酸製造法		二〇一	管内電氣事業要覽		二〇				電波傳播理論	方向探知器(共)	二九・一四〇 二九・一四三
中山 實	實用測量學	三七	那須信治	地震學	四四・五三						
測量計算表		三七	地震計に依る地下探索法		一五六						

難波理一郎

早稻田大學故大隈總長記念大講堂

競技設計圖集

二七五

南明寺國寶建造物本堂修理

事務所

南明寺國寶建造物本堂修理工事

報告書

二七三

ニイニシカ

新潟縣

加治川改良工事報文

七

新潟縣麻織物試驗場

麻紡績と其の織物

二三三

新潟市役所

上水協議會議事錄

三

新潟週報社

電氣事業市營の提唱

三

新納忠之介

淨瑠璃寺文様(編)

二九

西井 潔

飛行機の力學(共譯)

二九

西尾銈次郎

枝幸砂金論

二九

第四紀層の Diagenesis (續成作用)

に就いて

一五

西尾壽造

戰國綱要草案研究記事(編)

三九

西尾政典

理論應用桁構新書(譯)

五〇

西岡義融

本派本願寺の建築(編)

二三

西垣晋作

曲線設定ハンドブック

五九・五〇・五〇

(A-C) 曲線設定法

五九

西垣富太

潜航艇圖說

三三

西川麻五郎

麥酒釀造法(譯)

二四

西川榮三

アスファルト混合タールの鋪裝材

としての性質

四八・五〇

アスファルト・タールの性質に及

ぼす氣象作用の影響特にその

薄層の場合の性質變化(共)

四八・五〇

瀝青瀝目材試驗成績(共)

四八・五〇

瀝青乳劑

五

瀝青乳劑試驗成績

四七・五

瀝青乳劑の試驗成績より見たる

品質の比較及其その轉近の趨勢

四八・五〇

に就て(共)

四八・五〇

瀝青鋪裝切取供試體の試驗結果

四八・五〇

より見たるその性質の比較(共)

四八・五〇

瀝青鋪裝切取試驗體の性質(共)

四七・五

河水のボルトランド・セメント

四七・五

に及ぼす影響(共)

四七・五

現場に於ける瀝青乳劑製造の設

備及び製法并にその乳劑の性質

に關する試驗(共)

四八・五〇

國產瀝青乳劑試驗成績

四八・五〇

混凝土鋸裝繼目用エラストイト

四七・五

試驗(共)

四七・五

混成タールの性質に及ぼす氣象

作用の影響特に薄層の場合

に於ける性質變化(共)

四八・五〇

種々の土木工事用材料に關する

試驗(共)

四八・五〇

西川榮三(續)

タールとアスファルトとの混合

物の鋪裝材としての性質

四八・六六

タール鋪裝と水稻の發育との

關係

鐵線蛇籠の防銹塗料に就て

四八・六七

土木工事用金屬材料分析試驗

四八・三三

(共)

四八・五〇

本邦鋪裝用タールの性質

四七・四八・六六

滿洲產タール・重油・中油及び重油に

依るカット・バック・タール等の

補裝材料としての性質(共)

四八・六六

西川正治郎

川邊朝郎博士六十年史(編)

七

西川新太郎

土木工學橋梁編(編)

六七

西川孝次郎

工用金屬材料學

二七

材料強弱學

三

西川友孝

材料の新研究(編)

三

庭園工藝と室内裝飾

二八九

都市の新計畫(編)

二

西川友武	金屬家具	二五・二一	西陣新興會	關東の機業	二三	西田與四郎	都市の計應	二五・二五	西村吉太郎	壓延法	二六・二七		
輕金屬家具	二九	現代家具製作の知識(共)	二九	西田卯八	世界製鐵大觀	一八	仁科 存	磁性材料	二七・二八	西村時彦	鐵炮傳來錄	三四	
西川秀男	テレウキジョン裝置の製作法(共)	一四三	石油研究	一七	西田屹二	木材化學(共)	三	西畑 常	工事實例青山隧道編	七	西村寅三	粕酢釀造論	二四〇
ニシヤ—ニツト			西田順一	誰にもできる乾電池及濕電池製作法	二七	實用セメント學(共)	二四	近世醬油釀造法	二四〇	西村秀雄	アルミニウム及其合金	二六・二七	
西崎弘太郎	蛋白質化學	二四	西田傳五郎	砒酸鉛の化學的研究	二〇三	東京近傍地質編(譯)	二六	金屬材料	二七	金屬材料分析法	一〇・二七	日本鑄造讀本	一七
西崎太郎	電氣通信概論(共)	一七	西田博太郎	織物原料篇	二九	西松唯一	火藥學	二四	西村好時	銀行建築	二九		
西澤勇志智	化學兵器	一九・三七	化學工業(共編)	一九	火藥工業	一九・二四	西村嘉壽	鐵筋鐵骨構造計算圖表と實例(共)	三				
化粧品製造化學	二八	工業化學讀本	一九	化學工業編	一六	西村伊作	樂しき住家	二六・二七	西村龍介	詳解寫眞處方全集	二〇・二四		
香料及化粧品	二〇・二八	纖維素塗料	二〇	浸染篇	二九	明星の家	二八	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇			
毒ガスと煙	二七	日本火術考	二五	整理篇	二九	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	二六		
花火の研究	二四	有機工業藥品製法	二〇・二四	精練漂白篇	三三・三〇	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	二六			
冷凍及び冷蔵	二〇・二四			纖維工業經營	二六	大日本之化學工業(編)	二六	硫化染料製造法(共)	二〇	理論應用近世色染法	二九		

西山喜次	金屬及合金とX線(共)	二六・二八	日本學術振興會學術部	日本銀行	日本建築士會
	電氣ニ關スル外國特許要覽	二六	電氣ニ關スル外國特許要覽	日本銀行増築工事竣工記念 寫眞帖	建築士法成立ニ關スル諸家ノ意見 二九
西村 博	清酒釀造經過に關する調査 成績(共)	二九	日本學術振興會學術部第一三 小委員會	日本銀行調査局	日本古今海事圖書編纂會
二反田 孝	機械設計及製圖(共)	九	我國に於ける觸媒作用の研究	石油ノ需給ト秋田油田 筑豊石炭調査	日本船舶構造の變遷 二四
日東書院	滿洲事變實誌	三七	日本型録編纂會	新潟縣下ノ石油業ニ關スル調査	日本工學會
			日本標準機械總覽	福島縣電氣事業ノ概況	工學論文要錄 二
ニッポン			日本火藥製造株式會社 火藥講演集	日本銀行臨時調査委員會 戰時財政經濟法規集	日本鑛業會
日本印刷表現研究所			日本火藥製造株式會社 火藥講演集	日本藝術學會	鑛業術語集 一八
機壁紙文様集		二九〇	日本岩石鑛物鑛床學會	田上義也建築畫集	日本鑛業會誌總目次 一九
日本ウエスチングハウス照明 研究會		二五	岩石鑛物鑛床學	日本建築協會	日本鑛業會誌總目錄及索引 一九
電燈照明		二五	日本鑛詰協會	學校建築圖集	日本工業俱樂部萬國工業會議 事務所 二四
日本衛生學會		二四三	鑛詰製造講義	鑛學校建築圖集	萬國工業會議報告 二四
名産食品製造法		二四三	鑛詰要覽	建築と社會	日本工業新聞社
日本學術振興會		二四三	鑛詰製造法	都市武裝促進委員會演習部報告	工業年鑑 二五
金屬材料		二七	日本機械學會	日本建築協會創立滿十五年 記念出版委員會	標準機械用語 二七
全國試驗研究調査機關要覽		二	日本機械學會論文集	住宅圖案集	日本鑛業新聞社
染料年報		二二〇	日本機械聯合會	住宅圖案集	重 石 二四
		二二〇	日本標準工具型錄	住宅圖案集	水 鉛 一六五

日本工業品研究會	一五	日本人絹聯合會	三六	日本通運株式會社大阪支店	三七	日本電氣工藝委員會(續)	二八
實地應用化學工業品製造法		人絹計表		大阪城公園鶴ノ池ヨリ見たル		日本電氣工藝委員會調查報告集	二八
日本鑛山協會	一七	日本ステープル・ファイバー		天守閣		日本電氣工藝委員會標準規程	二五
鑛山講話		同業會		日本鐵鋼協會	一八	標準規程及標準仕樣書	二五・二六
鑛夫宿舍の建築に關する	二八〇	躍進ステープル・ファイバー工業の	三七	製鐵用術語集	一八	標準仕樣書	二七
調査報告	一五九	現況		鐵と鋼	一八	油入遮斷器及油入開閉器標準規程	二六
日本鑛山協會資料						日本電池株式會社	二三
日本交通協會	一〇四	日本赤十字社		日本テレビジョン學會	一四三	日本電池株式會社二十年史	二三
自動車工業漫談		日米英佛伊五國赤十字社委員	二四	テレビジョン年報		日本電力株式會社	二三
日本産業調査會		會議事錄(譯)		日本電氣工藝委員會		日本電力株式會社十年史	二三
電氣大觀	一〇六	日本石油株式會社	一七	瓦斯填充タングステン電球標準	二五	日本の發電所	二四
日本史籍協會	三九	日本石油史		指示電力計標準仕樣書	二七	日本電力協會	
長崎警衛記録		日本石油株式會社營業部	一七	真空タングステン電球標準仕樣書	二五	日本の發電所	二四
日本實業化學會	一九	石油便覽	二九	増補電氣工學術語集	二六	日本糖業調查所	二四
化學工業發明辭書				鐵塔及鐵柱設計標準(編)	五	日本糖業年鑑	二四
日本釀造協會關東支部	二九	日本染料製造株式會社	三〇	電氣機器の周波數變更に關する	三九	日本土木建築請負業聯合會	四三・四五
實踐酒造工人必携		染料工業島歐圖		調書	二六	我國の土木建築事業	
日本照明委員會		日本窒素肥料株式會社	二八	第四種可撓紐線標準仕樣書	二六	日本評論社	
一九三一年國際照明委員會論文	一四	事業大觀		第三回増補電氣工學術語集	一〇	現代日本工業全集	九
報告集				第四回増補電氣工學術語集	一〇	日本ベイント製造株式會社	
照明及電熱術語集	一四・一六	日本中央蠶絲會	三四	電線標準	二六	日本ベイント製造株式會社三十	
		絹新製品ニ關スル調査		電線メートル式表示法	二七	年史	三二

日本ポルトランドセメント  
同業會

コンクリート及鐵筋コンクリート集覽

二六・二九

コンクリート現場試驗報告書

コンクリート講習會講演集

實用のコンクリート

セメント界旋報

セメント界旋報外分類總目次集

セメントコンクリート道路

鐵筋混凝土計算初步便覽

日本ポルトランド・セメント  
業技術會

日本ポルトランド・セメント業

技術會委員報告

日本紡織研究所

紡織年鑑

日本放送協會

全國ラヂオ調査報告

日本放送協會業務統計要覽

日本放送協會調查時報

放 送

ラヂオ年鑑

日本無線電信株式會社

日本無線電信株式會社の使命

本邦對外無線電信に就て

無線電信と中立(譯)

日本木材研究會

日本ベニヤ板工場總覽

ベニヤ板ニ關スル調査

日本木材工藝協會

日本木材工藝

日本羊毛工業會

羊毛工業統計年表

日本ラヂオ協會

標準ラヂオ大辭典

日本ラヂオ通信學校

ラヂオ受信機・組立知識

日本歴史地理學會

日本兵制史

日本冷凍協會

冷凍便覽

ニューニワ

乳井 貢

城制規矩

城制法

丁見術細目圖解

紐育高速鐵道局

紐育高速鐵道設計基本示方書

仁禮 敬之

清佛海戰日記

丹羽 健藏

下水工學

上水道の計畫及設計

水理學解説

丹羽 鑛之輔

保安裝置

丹羽 重光

機構學

丹羽 利男

化學兵器

丹羽 藤吉郎

製藥全書(共編)

丹羽 長道

航空寫眞

丹羽 保次郎

音響工學

寫眞電送

テレビジョン

電 話

特殊電氣回路

無線寫眞電送

有線電話(共)

ヌキヌマ

貫名 基

最新內燃機關

拔山 四郎

熱機關

熱傳導測定法

拔山 大三

空中電氣學

交流理論

拔山 平一

電磁氣學

布川通璞	三三	根來簡二	九	野口尙一(續)	六・九	野坂喜代松	五
海岸備要(校)		獨和工學辭典		機械力學	八・九	普通測地學(編)	
布目四郎吉	一八三	ネスビット(米)	二五	機構學	八・九	野坂相如	五・三七
綱鐵加工法	一八七	送電回路の電氣特性		起重機及運搬機	八・九	土木建築構造力學(共)	
鐵及鋼の壓延作業法		ネットー(獨)	一八〇	コイルばねの振動の研究	二五・四六	土木建築構造力學(共)	
沼 正治	八・九	涅氏冶金學	一八〇	殼類層を通過する空氣流に就いて	二六	野坂孝忠	
工作機械	三三	冶金學	一八〇	材料力學	三・九	土壓論から見た關西線龜の瀬隧道附近地之りの一考察	一七
ラツカー硝化綿塗料		燃料協會	三〇	調整裝置	九・九	野崎誠近	二八
沼倉三郎	一〇・一七	最新燃料大觀	三〇	傳動裝置及實驗法	一〇・七・八九	吉祥圖案解題	
電氣磁氣測定		實用燃料便覽	三〇	輪 送	一三・四六	野崎林太郎	三
沼倉秀穂	二四	燃料大觀	三〇	リンク裝置	九・九	交流理論と其實際	
誘電體論		燃料問題圖說	三二	野口孝重	二五	野澤房敬	六
沼田多稼藏	三〇五	ノイーノロ				混凝土配合の設計(編)	六
日本陸戰新史						混凝土用型枠	六
						土木建築工事と機械	五・七
ネキーネン				ノイマン(獨)	三	野津正忠	五
				近世道路工學		機械圖面の讀方	六
				野口光嘉	二六	理論應用計算尺精義	六
根岸 博	一八	煖房と換氣		野口 誠	二三	計算尺原理及使用方法	六
應用音響學(譯)		野口尙一	三〇	水力電氣(共)	二三	機械材料強弱學	六
根岸門藏		應用彈性學	九・九	發電・水力	二三		
利根川治水考		カム及び斜板		野上八重治	六		
				鐵道車輛講義錄			



野田清一郎

實驗電氣工學

一〇五

野田哲夫

飛行機の力學(共譯)

二九

野田俊彦

建築法令

二五・二九

建築論

二四・二五

野田松男

密着印畫法(共)

三三・三三

野中正雄

水力及火力發電所

二四

野原作夫

應用電氣化學實驗

二〇五

登尾源一

文化小作家

二八四

野村孝

電燈及電力

一三六

野村茂治

住宅

二八二

どうすれば住宅が住み良くなるか

二八四

野村秀雄

石炭粘結狀態及び其の試験法(共)

三九・三三

野村龍太郎

工學字典(共編)

八

測量教科書(共抄譯)

鐵道測量用諸表(編)

四

野呂景義

釜石鐵山調査報告(共)

一五〇

涅氏冶金學(譯)

野呂長四郎

近世建築用材料

二六五

ノ

農業土木學會

本邦排水工事圖譜

七九

「メートル式」水流計算要表

七三

農商務省鐵山局

亞鉛鐵床調査報告文

一七〇

大阪鐵務署管内鐵區一觀

一五三

釜石鐵山調査報告

一五〇

金銀鐵床調査報告文

一七〇

黑鐵鐵床調査報告文

一七〇

鐵業特許一覽

一七〇

鐵山發達史

一八〇

農商務省鐵山局(續)

探鐵法調査報告文

一六九

製鐵ニ關スル參考資料

一八三

石炭調査概要

一七〇

鐵鋼調査概要

一五五

東京鐵務署管内鐵區一覽

一五五

東部内蒙古産業調査

一五五

日本鐵產地

一四九

福岡鐵務署管内鐵區一覽

一五五

本邦鐵業一斑

一四九

本邦鐵業ノ概要

一四九

本邦鐵業ノ趨勢

一四九

本邦重要鐵山要覽

一四九

農商務省工務局

機械工業

六

輕發動機用燃料ニ就テ

三六

護謄工業ニ關スル調査

二四七

工業調査彙報

三

燐素工業ニ關スル調査

一五五

獨逸加里工業狀況

二四八

農商務省山林局

塊太利ニ於ケル野溪留工事

六

海軍工業ト木材ノ關係ニ就テ

三〇

架空索道及其運材能力

一四

軍需用材ニ關スル調査

三八

砂防工事調査書

七

電柱ニ關スル調査

一六

農商務省山林局(續)

本邦ニ於ケル製紙原料木材「バルブ」ノ現況

三七七

松脂及松精油ニ關スル調査

三七七

木材乾留事業ニ關スル調査

三三

木材ノ工藝の利用

二四

我邦ニ於ケル木造洋風家屋ト其腐朽

二七一

農商務省商工局

歐洲ニ於ケル電氣化學工業特ニ空中窒素固定法ノ趨勢ニ就テ

二〇九

歐米各國美術工藝圖案ニ關スル報告

二八七

瓦斯事業要覽

三三

香料及香粧品

三八

北米合衆國窯業調査報告

二五

農商務省商務局

英米兩國ニ於ケル製鐵業及機械器具ニ關スル報告

一八四

人造絹絲ニ關スル調査

二六六

獨米兩國ニ於ケル「セメント」工業

二五

米國ニ於ケル罐詰業

二四

農商務省農務局

第四次全國製絲工場調査表

二五三

第五次全國製絲工場調査表

二五三

第六次全國製絲工場調査表

二五三

農商務省農務局(續) 第七次全國製絲工場調査表 糖業要覽	二三 二三 二三	農林省農務局 第九次全國製絲工場調査 第一〇次全國製絲工場調査 本邦内地ニ於ケル麥酒用大麥及麥酒 ニ關スル調査	二三 二三 二三 二四〇	農林省農務局耕地課 農村住宅設計圖案	二七四	萩原道二 測器詳解(共)	二五五	土師寅造 同期機	二三二
農商務省農務局地質課 地質調査報文分析之部	二五四	農林省農務局耕地課 農村住宅設計圖案	二七四	萩原拳吉 電氣化學(編)	二五五	橋口源太郎 發電氣電動機取扱法(譯)	二九六	橋爪源太郎 靜岡縣管下伊豆國地質取調報告	二六二
農商務省臨時產業調査局 染料工業	二三元	ハ―ハツ		萩原俊一 發電水力 發電水力工學	二二三 四〇・二三	橋爪準一郎 自動車工業漫談	二四四	羽島耀清 武術流祖錄(共編)	二四四
農林省蠶絲局 製絲業實態調査成績 全國器械製絲工場調 第一次全國製絲工場調査	二三三 二三三 二三三 二三三	巴爾博(民) 楊子江流域地文發育史 馬愚(清) 軍器則例(共校)	二六〇 二三三 二三三 二三三	伯麟(清) 欽定兵部處分則例(共編)	三三八	橋村正治 纖維質絶縁物に關する調査(共)	二三三	橋本宇一 金屬着色	二九〇・九〇
農林省山林局 歐洲各國ニ於ケル治水事業ノ現況 自動車發動機燃料としての木炭瓦斯 ねむのきト砂防植栽成績 ベニヤ板ニ關スル調査 木材と建築 やまはんのきト砂防植栽成績 やまももト砂防植栽成績	七 二四 二四 二五 二五 二六 二六 二六	パウエル(米) 航空醫學 パウム(米) 全米電力問題解決策としての水力開發及送電線に關する研究 芳賀惣治 電池及蓄電池(共)	三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 二〇六 二〇六	伯野慶三 電動機の應用と其運轉經濟 博物館博物科 有用木材捷覽 白爾捺(英) 井礦工程	二二〇 二二四 二二四 二二四 二二四・二四八 二二四・二四八	橋本 精 瓦斯倫自動車 橋本慶金 透視圖及實例 透視圖法	二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇・二五三 二〇〇・二五三		
農林省水産局 補助漁港修築工事計畫概要	八			箱守新一郎 基礎工業分析 合成燐光體	二 二〇一				

橋本敬之	四・六	長谷川如是閑	三〇三	服部武彦〔續〕	
都市鐵道工學		戰 争 論		臺灣金瓜石鑛山に於ける土木建築用骨材の試驗成績〔共〕一三・五四・二六	
橋本祐三郎	二五	長谷川保定	二二〇	郵便切手の刷色堅牢度比較試驗成績〔共〕	二三・三
建築論〔補〕		實用寫眞術			
燃料〔補〕	二七	畑 保之	三三・三四	服部延春	九三
橋本 基		現 像 法		實用機械製圖	
聚 樂〔編〕	二五九	秦 眞次	三三	八田四郎次	
バ ス ク〔英〕		帝國の國防		アルカリ液に依る炭酸ガスの吸收速度に就いて	二〇・四六
地質斷面圖の幾何學的作成法	一五	秦 常造	一三	液ガス接觸裝置の基礎的研究	二四六
長谷川一郎	八・九	水銀整流器〔共〕		化學工業	一九・一九
工作機械〔共〕	九	畑 行輝 治	五	吸 收	一五・四六
汎用工作機械〔共〕		最新日本工業通論〔共〕		蒸溜・吸收	一九・四七
長谷川熊彦	一五	畑中健三	五	濾過及粉碎と其機器	一九・四〇
砂 鐵		各種工事の見積と其價格	五	服部一治	一三〇
長谷川源太郎	一九〇	工事請負實務	二七	直 流 機	
實用電鍍法		最新工事請負便覽	五	服部勝吉	二五八
長谷川正道	二七	土木建築工事請負便覽	五・七	古建築巡禮	二五八
兵器大觀		名橋巡ぐり	六	中世の建築	二五九
長谷川眞治	二五	畠中武吉	一五	日本建築史	二五九
和洋折衷の住宅		放電電燈とネオンサイン		日本古建築史	二五七
				服部武彦	
				セメント工業に關する調査〔共〕一三・二五	
				服部兵次郎	
				戰跡を顧みて	二〇七
				服部報公會	
				研究抄録〔物理學及工學〕	一七
				服部宗三	
				ば ね	九二
				ばね及緩衝裝置	九・九三
				ハナ―ハム	
				花井健吉	五
				測量集成〔共〕	
				花井重次	一五
				河岸段丘	

花井卓藏	軍艦金剛の建造請負に關する事件を論ず	三〇〇	馬場禮次郎	直流電機之故障と取扱法	一〇〇	濱田成徳	眞空管工學 特殊眞空管 熱電子放出理論	一七〇・一七二 一七三・一七四 一七五・一七六	ハヤハハン		
花形觀司	變電設備	一〇五・一二六	土生英二	高周波測定(共譯)	二八	濱田八之助	金屬蝕蝕及着色法(編) 軸承金屬及其驗證法(編) 石炭の化學的用途(編) 浮選用油及試藥	一九〇 一九一 一九二 一九三	早川富正	架空送電線路用鐵塔の強度計算法	二六
花見朔已	小牧長久手の役	三〇四・三〇五	土生遠業	海防六論	三二四	濱田 稔	應用力學演習(共) 建築材料學(共) コンクリート總覽(共譯) コンクリートの配合について セメント及コンクリート試驗法 セメント及コンクリート實驗法	一九 二〇 二一 二二 二三 二四	早川直瀨	本邦蠶糸業と米國絹業	二四
花輪正虎	建築工事仕様積算教科書(共)	二七六	濱岡周忠	印度の文化と建築(共編) エジプトの文化と建築(編) 近代建築思潮(編)	二六三 二六四 二六五	應用力學演習(共) 建築材料學(共) コンクリート總覽(共譯) コンクリートの配合について セメント及コンクリート試驗法 セメント及コンクリート實驗法	一九 二〇 二一 二二 二三 二四	早川康式	初等量子力學	二五	
羽根田作兵衛	日本紅之研究	二九	濱口龜三郎	鐵道道路實用新曲線測量表(編)	五九・六〇	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二七五	早坂一郎	古生物學序論 ゴトランド紀デヴォン紀 石炭紀・二疊紀 石油の話(共) 本邦産化石腕足類文獻 腕足類	二六 二七 二八 二九 三〇 三一	
馬場秋次郎	圖學通論	元	濱住松二郎	金 屬 金屬總論 金相學 近代金屬材料 鍛造法 鑄鐵(共) 普通鑄鐵・高級鑄鐵 冶金學	一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五	濱部源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九八・九九	林 いと子	文化的住宅の研究(共)	二六
馬場敬治	工業統制 化學工業經濟論	一六・一九 一六・二七	金 屬 金屬總論 金相學 近代金屬材料 鍛造法 鑄鐵(共) 普通鑄鐵・高級鑄鐵 冶金學	一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五	濱部源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九八・九九	馬場貞由	泰西七金譯說(譯) 泰西七金譯說附錄(譯)	一五 一六	
馬場 毅	遷喬錄	三四	濱住松二郎	金 屬 金屬總論 金相學 近代金屬材料 鍛造法 鑄鐵(共) 普通鑄鐵・高級鑄鐵 冶金學	一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五	濱部源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九八・九九	馬場 毅	遷喬錄	三四



パーマー(英)	三元	半澤正四郎(續)	一五	比企 忠	一五	久野末五郎	四〇
無線工學の理論と實際		馬來及び比律賓群島の地史	一五	應用礦物精義(共)	一五	實地土木工學	
パーロース(米)	三四	有孔蟲類	一五	日本礦物各論	一五	久野拓治	一三・一四
照明工學	三四	ハ ン ド(米)	二八	正田桂太郎	一	眞空管及其應用	二二・四四
伴 信友	三四	高周波測定	二八	工業資料(編)	一	久野徹輔	二三
輒考補證	三四	般密爾縣(蘭)	三三	油脂工業(共)	三六	寫眞數學	二三
伴 義定		三兵答古知幾(譯)	三三	樋口紋太	一六	寫眞寶鑑(編)	二〇
各國に於ける低溫乾燥爐と其の必要條件に就て(共)	三三	ヒーヒヨ		工業と工藝品	一六	久松忠一	三八
石炭低溫乾燥工業	一九・二三	斐 文 中(民)	一六	樋口 弘	二五	製圖描法	三八
石炭低溫乾燥試驗報告(共)	二九・三三	周口店洞・穴層探掘記	一六	本邦糖業史	二五	土方鹿之助	一九・四三・四四
「リ」瓦斯製造試驗報告(共)	二九・三五	日置高志	一四	美 啓	二六	無線の航空上の應用	二〇・四三・四四
低溫乾燥工業(共)	二八・三三	電子工學及電子管	一四	日本船路細見記(編)	二六	菱田厚介	二五・二九
低溫乾燥用原料としての本邦石炭	二九・三三	日置兼次	三四	久恒治助	二六	建築法規(共)	二五・二九
低溫タールの成分に關する研究(共)	二八・三三	刀 劍	三四	建築工事仕様及積算法	二六	菱山衡平	二〇・三〇
連續式石炭低溫乾燥爐の試験(共)	二九・三三	東 彌三	九五・九六	久留春年	二六	精練漂白及染色染料と染織	二九
萬 表(明)	三三	航空發動機故障及修理法	九五・九六	正倉院式文様(編)	二六	費 而 奔(英)	二八
海 寇 議	三三	發動機工作法(共)	九五・九六	久野 清	一五・二四	礦務叢書	二八
半澤正四郎	二七	發動機設計法(共)	九五・九六	照明工學	一五・二四	肥田丈夫	二七
紡錘蟲科有孔蟲(Fusulinid Foraminifera)の分類に就て	二七			久野重一郎	二五・二六	電信及電話	二七

日高謹爾 海軍篇	三〇〇	日野壽一 電療電氣(共)	二〇・二五	標準仕様調査委員會 コンクリート及鐵筋コンクリート 標準仕様書	二六・元	平岡正夫 工場建築	二七元
日高巳雄 軍機保護法 軍事法規	三三三 三三二	日野神兒 圖解探鐵學(編)	一七〇	鐵筋コンクリート構造計算規程	三・三三	平賀源内 火流布説	一六四
陸軍軍法會議法講義	三八	日出新聞社 滿洲建國と上海大事變史	三〇七	漂白野人 古今軍理問答	三四	火流布略説	一六四
日高 胖	二五五	日比忠彦 鐵筋混凝土講話 鐵筋混凝土の理論及其應用	元 三〇	平井喜久松 鐵道 鐵道工學(共)	五 四・七	平賀大一 指向受信と方向探知(譯)	一三
野口博士建築圖集(編)	二五五	姫路市役所 姫路城	三八	平井千太郎 最新列國海軍(共)	三三	平賀讓 補助艦問題と最近の我軍艦(共)	三二
日高政一 歴延法	二六・二七	檜山義愼 本邦武家沿革圖考	三〇三	平石利太郎 メートル式道路曲線布設表	六四	平佐惟一 リミットゲージ・システムノ應用(編)	三
畢丁登(米)	二五五	兵庫縣警察部 市街地建築物法令	二九三	平岩庄一 煖房用汽罐構造及取扱方法(共)	二六	平澤 要 電氣事業經濟講話	三三
航海金針(共補)	二五五	兵庫縣内務部統計課 兵庫縣工業調査概要・兵庫縣工業調査書	六	平尾善保 最新住宅讀本	二六	平世將一 歴延法	二六・六七
備藤三郎 工作機械一般(共)	九	肥沼健次 鐵筋混凝土校舍と設備	二六・八五			平瀬作五郎 用器畫法圖式	元
日夏繁高 兵家茶話	三〇三					平田潤雄 最新テレウキジョンとトリーキの研究(共)	一四三
兵具詠草	三三三						
武藝小傳	三三二						
本朝武藝小傳	三三二						

平田晋策	軍縮の不安と太平洋戦争	三三	平野 茂	建築塗料に就て	二五・六六	平林寛雄	切削工具	100・101	故廣井工學博士記念事業會	八	
軍縮批判	三三	樹脂及び漆	一九・三七	樹脂及漆器(共)	二〇・三七	切創工具	100・101	英和工學辭典	廣岡保教	番匠町家雛形	二四
若槻氏の軍縮を評す	三三	わが兵衛論の序言	三〇三・三七	平野武文	實地應用測量要覽	六	海防問答	三二四・三五	廣川廣四郎	虎の巻 (The notes and extracts about railway & engineering works)	五九
土木氣象學	四四・五二	鐵道線路概要	六〇	平野利貞	電氣の廣野を行く	10・六	劍 說	三九・四一	廣島遞信局	管内電氣事業要覽	110
平田秀樹	眞空放電現象とX線管球の理論	二四	平野井雷治	土木建築工事施工用機械	五・七八	平山 正	劍 徵	三九・四一	廣瀨 芳	實驗礦物學	113
平塚 篤	兵政關係資料(共校)	三六	唧筒工學	九	平山復二郎	工事と請負	上執政相公閣下	三三	廣瀨元恭	築城新法(譯)	三三
平塚忠之助	電氣學・磁氣學(編)	一二三	平林金吾	商店・百貨店(共)	二五・八〇	山岳トンネル	上北闕書	三三	廣瀨實常	城制圖解(共)	三四
平野一貫	香粧品製造法(編)	三六	新意匠の住宅(共)	二八・三	トンネルの話(譯)	七二	西洋火攻神器說(校)	三三・三四	廣瀨先一	市町村と電氣事業	110
平野榮助	熱量標準藥としての安息酸に就て(共)	二〇四・二八	和洋住宅圖說(共)	二七五	平山勘重	耕地山林量地縮圖解	陸軍省沿革史(共)	三八	廣瀨 將	世界大戰(共譯)	三二
ポンプ熱量計に關する參考事項(共)	二四五	平林 武	亞鉛鑛床調査報文	一七	廣井 勇	セメント用法實驗報告	日本築港史	八二	廣瀨 將	世界大戰(共譯)	三二
		應用地質學	四〇・五三	廣井 勇	セメント用法實驗報告	二五					
		黑鑛床調査報文	一七								
		鑛床分類法	一五七・一七								
		マグネサイト鑛床	一七								



廣瀬茂一 機械工師必携(共) 近世紡績術 三三	廣瀬基 特許法實用解説 五・八九	弘川龜之助 火力發電所設計 二三・二四 蒸氣タービン發電所 二四 燃燒及び汽罐設備熱工學計算法 九四 配電盤及開閉設備 二六 配電盤用器具 二六	廣田和一 瓦斯發生爐(共) 乾留筒を有する瓦斯發生爐試驗 報告(共) 三九 石炭完全瓦斯化試驗(共) 三九 石炭の完全瓦斯化及び其の方式(共) 三八	廣田友義 交流理論(共) 二・二三 真空管回路 二四	廣田 徹 化學工業關係特許發明の大勢 一・六・四六	廣田守道 飛行機(共) 二六・三〇〇	弘津史文 防長兩國に於て蒐集せる甲冑 研究資料 三三	廣部 一 近世應用電氣學(譯) 一四	弘山尙直 水力發電 二二 水力發電計畫 二三・二三 水力發電所 二四	ビーケ 高電壓工學に於ける誘電體現象 三三	ヒーゲル(露) ソヴエト建築思想 二五〇	フーフク フアイユ(白) 白耳義と歐羅巴戰亂 三二 フキッセル(獨) 製藥化學新藥篇 二四 フイシンク(米) ネオンサイン(共) 二五 フエッブル(獨) 應用力學 一九 深井宗吉 工業數學 六 交流理論及其計算法(共) 二三	深井冬史 輾近醬油釀造加工論 二四〇	深川庫造 汽罐用復水器管の異常腐現象 一九七	深川 實 空氣機械 八九・九六	深崎 秀 赤外線寫眞 二三・三四	深澤甲子男 羊毛工業論 三五	深澤幾市 建築設備 二八五	深津了藏 風洞實驗法 一〇・九六	福井英一郎 氣候學關係の圖書 氣候變化 一五 福井工務所 建築工事關係法令及標準仕様書 集 二七・二九	福井萬次郎 機器ノ應用 三三	福井幸雄 金屬着色法と鍍金法 一九	福井義長 建築工事仕様見積及施工法 建築施工法 和風建築構造 和洋建築構造及設計製圖 二七 二七 二八 二六・二七
----------------------------------	------------------------	--	--	--	------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--	-----------------------------	----------------------------	---	--------------------------	------------------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	---------------------	------------------------	--	----------------------	-------------------------	---



福永佐和吉

鐵筋「コンクリート」構造施工

指針

二五・二七

福原信三

寫眞藝術

二三・三四

福原達三

應用光彈性學

一八

材料力學

三・八

捲掛傳動裝置

九・九

福本福三

製絲學

二三

福山敏男

初期天台眞言寺院の建築

二六

福良虎雄

千島艦事件(編)

三三

## フサ―フィン

富山房

地質學新書

一五四

富士貞吉

臺灣産バガス(Baggase)をもつて

二六六

製せる室壁材料(共編)

二六六

藤井篤

孫子口義詳解

三九

藤井厚二

衛生設備

二五・二六

鐵筋混凝土の住宅

二八三

床の間

二九

日本の住宅

二八四

藤井鹿三郎

建築測量

二五・二六

最近測量學

三

藤井眞透

アスファルト

五・五三

瀝青乳劑及ビチュムルス鋪裝に

關する試験(共)

貨物自動車の燃料消費量と路

面抵抗に關する試験(共)

現場コンクリートの強度並に之

に及ぼす施工條件の影響に

就て(共)

四九・五〇

骨材の最大密度の粒度に就て

採用自動車の燃料消費量と路

面抵抗とに關する試験

四八・四九

鐵輪帶を有する車輛に對する

路面抵抗に關する試験

土木材料

四〇・四一

藤井眞透(續)

道路・隧道・地下鐵道・擁壁(共)

五・六・三・七

道路の背向曲線の設計に就て

四七・四八

道路用骨材の性質に及ぼす粒

子形狀の影響に就て

鋪裝コンクリート工に及ぼす

氣象作用の影響並に之に應ず

る設計及工法に就て(共)

四七・四八

鋪裝コンクリートの力學的性

質に關する試験

路線路面の經濟的價値に關す

る試験

路面構造の運輸經濟に及ぼす

影響並に之に基く道路設計の

基本に關する研究

四七・四八

路面構造の運輸經濟に及ぼす

影響に就て(共)

藤井甚太郎

西南戰役

四六・四七

藤井龍藏

寫眞鏡玉(共)

四六・四七

藤井光五郎

英國海軍協會年報(譯)

三三

列國海軍對勢表(編)

三三

藤井光藏

寫眞鏡玉(共)

二〇

藤井義信

機械設計(共)

六

藤井隣次

電燈及照明

一五

藤岡市助

電氣鐵道論集

一五

藤岡有貞

渾發量地速成

一五

富上川游

電氣療法

一六

藤川得三

經緯距速算表

一七

藤本經明

染料及中間物

二〇・二一

藤倉電線株式會社

被覆電線に關する二・三の事項

二六

に就ての報告

二六

藤倉電線彙報

二六

藤崎喜代太	塗裝工業及塗料製造法	三一	藤田重文	充墳塔に關する研究(共) 對流に依る傳熱	二四・二六 一九・二六	藤田文太郎(續)	放電管に依る諸測定 放電現象	二八・二三 二四・二三	藤野 準	機械工作法講話(共) 機械仕上(共)	一〇〇 一〇一
藤澤國太郎	セメント混凝土としての臺灣 産砂の試験成績	二・二五	藤田 駿	材料力學	三・九	藤田 穆	有機分析	一・九	藤平 正一	電解腐蝕に依る製版法の研究(共)	九〇
臺灣金瓜石鑛山に於ける土木建築用骨材の試験成績(共)	一・三・四・六・六		藤田 隆	鐵道技術必携(共)	五	藤田宗光	都市計畫道路工學及國立公園	三	藤村建次	合成石油	一〇・三五
藤澤久三郎	發電所	二三	藤田龍藏	木竹・土石の加工と利用	二四	藤田元春	江戸時代に於ける我國地理學 の發達	一・五	藤村信次	電磁光學	一一三
藤島亥治郎	日蓮宗寺院の建築	二・二	藤田經定	送電及配電(共)	二五	日本民家史	日本歴史地理	一・五	藤村 朗	事務所(共)	二五・二〇
明治大正昭和佛教建築史	二・五七		電燈初步	一・五		藤根大庭	耐震耐火建築構造法 木造家屋切組圖解	二・七 二・八	藤村義樹	實地機構學	九
藤田伊八郎	調相機	二・三・二	藤田信達	土木建築構造力學(共)	五・二七	藤野篤之	新研究商車 商車設計法及表 平商車と傘商車	九 九・九 九	藤元光忠	測量諸器圖	六
藤田 清	軍事年報(編)	三・三	藤田信久	尊 船(編)	三・五	藤野篤之	商車	九・九	藤本治義	外因的地質營力篇(共)	一五・一四
藤田金一郎	刑務所	二・五・二九	藤田治夫	自動車工學大成	一〇三	藤野 革	金屬鍍着法(校)	一・九	關東の地質(編)	地質學汎論	一・六
藤田敬二	鐵道車輛實驗法	一〇・二〇	藤田文太郎	電子工學の基礎(共譯)	一四三	金屬鍍着法(校)		一・九	動力地質學(共)		一四・一五

藤森大雅  
海防備論  
三四・三五

藤森正彦  
基本試料油に對する諸性狀の  
測定結果  
二九・三五  
基本試料油の品質の判定  
三〇・三五  
混合燃料油の諸性狀測定結果  
三〇・三三  
混合油の品質  
三〇・三三  
内燃機關に使用する燃料油の  
研究報告  
三〇  
燃料及び氣力ノ溫度ニ就テ  
二九  
燃料油の品質を判定する上に  
於ける諸性狀の價值並に諸性  
狀測定法の概要  
三三  
燃料油の品質の判定法  
三三

伏屋義一郎  
乾電池の亜鉛極電位の測定  
二〇・二三  
乾電池用二酸化マンガンに關す  
る研究(共)  
二〇

藤山雷太  
工業編(共)  
一

藤原義一  
日本美術工藝史  
二五  
淨土眞宗の寺院建築  
二六

藤原咲平  
地滑に就て  
一九

藤原信  
寫眞  
一〇

### フターフン

二兄鏡三郎  
鋼拱橋及鐵筋混凝土拱  
土木工學講義  
五  
土木工學鐵道篇(編)  
四  
土木必携  
四

二兄秀雄  
鐵筋コンクリート構造(共)  
三・五二  
鐵筋コンクリート構造(共譯)  
三・五三  
長谷川輝雄氏遺稿(編)  
二五

淵 通義  
近代戰爭と森林  
三七

復興局技術試驗所  
復興局技術試驗所報告  
三

復興局建築部  
市街地建築物關係法規  
二五  
東京及横濱地質調査報告  
二六

復興局建築部(續)

東京地質調査報告  
二六  
壁體及防火戸耐火試驗報告書  
二七  
横濱地質調査報告  
二六

復興局土木課  
復興局道路工事材料購買仕様書  
三

復興局道路工事設計基準並工事  
仕様書集  
三

復興局土木部橋梁課  
橋梁設計圖集  
六

武 帝(魏)  
孫子(註)  
三九

舟岡省吾  
顯微鏡寫眞  
三三・三四

舟木好右衛門  
カーバイト・燐及燐酸(共)  
三四

船木勝三  
鐵產物工業分析法  
一八〇

船越義房  
俱樂部(共)  
二五・二七

船山晴雄  
瀝青透入マカダムに關する試驗  
四七・四八・五

(共)  
貨物自動車の燃料消費量と路面  
抵抗に關する試驗(共)  
六三

簡易鋪裝に關する實地比較試驗  
(共)  
四七・四八

混凝土鋪裝の粗骨材別磨耗比較  
試驗(共)  
四六・四五

混凝土鋪裝の繼目に關する試驗  
(共)  
四七・四五

砂利層の支持力に關する試驗  
(共)  
四七・四八

砂利路面工の配合比に關する試  
驗(共)  
四八・四九

施工方法による砂利路面工の耐  
力の比較試驗(共)  
四八・四九

ブロックに關する試驗(共)  
鋪裝コンクリート工に及ぼす氣  
象作用の影響並に之に應ずる設  
計及工法に就て(共)  
四七

ポーランドセメント混凝土鋪  
裝の磨耗試驗(共)  
路面構造の運輸經濟に及ぼす影  
響に就て(共)  
四六・四五

武 揚 堂  
陸軍成規類典  
三八



ペーダーゼン  
電波傳播論  
一四〇

ベッカー  
理論電氣學(訂)  
一二三

別 屈 滿(蘭)  
築城新法  
三三

別有天地書屋主人  
城保攻守沿革編(譯)  
三三

西洋砲術火具篇補遺(譯)  
三三

ペ  
ル(英)  
埃及建築史  
二五七

ヘルツ(獨)  
電波に關する論文集  
二四

ヘルフェリヒ(獨)  
世界戦争  
三二

ペールチッヒ(獨)  
建築作品集  
二五四

ベンニー(米)  
工業方面に於ける電子管の應用  
一四四

## ホイーホヤ

ホキーラー(米)  
發電氣電動機取扱法  
三元

北米合衆國聯邦政府超電力調  
査委員會  
二九

北米合衆國大西洋沿岸超電力  
聯系調査報告書  
二九

保坂龍雄  
分析成績彙集(共)  
二三

星合正治  
氣體中の放電(共)  
一〇・二四

眞空工学  
電子管  
一〇・二四

電氣工学原論(共)  
電子工学概論  
一〇・二四

電子とその作用(共)  
熱電子管其他放電管の各種應用  
一四  
一三九・一四四

星野榮二郎  
通俗清酒釀造法(共)  
三元

星野正三郎  
化學純絹絲の工業的完成  
二五

星野常富  
武學拾粹  
三〇二

武學拾粹抄錄  
星野保治郎  
百分勾配對水平距離及高低差速  
算表(共)  
三〇一

星野保治郎  
百分勾配對水平距離及高低差速  
算表(共)  
三七

細井岩彌  
金鑛製鍊法(編)  
一八五

炭坑通氣取締心得  
細川幸重  
生絲の格と製絲法  
一七〇

細川幸重  
生絲の格と製絲法  
二三四

細川賴直  
機巧圖彙  
九

細木松之助  
築窯論(編)  
三五

燃料(編)  
燃料ノ應用機關(編)  
三七  
三二

細野軍治  
軍備縮少の過去及び現在  
三三

細野辰次  
電氣工学(共)  
二五

細谷源四郎  
成案礪北浦煤田調査報告  
一七

〔臺灣〕  
地質及礦物  
調查報告(共)  
一六

細山角三  
常願寺川産砂に關する試験(共)  
四六・五一

石材類試験成績(共)  
ソリデチットの耐壓強度に關する  
試験(共)  
四六

帆足竹治  
工業數學  
一六・二二

電氣回路  
北海道經濟研究所  
土功組合の研究  
二五

北海道工業試驗場  
北海道工業試驗場報告  
四二

北海道鑛山學會  
實務資料  
一五・二九

北海道石炭鑛業會  
北海道鑛業誌  
一四八

北海道石炭鑛業會  
北海道石炭鑛業會會報  
一五〇

北海道水産試験場	二四三	堀田勉一郎	實地測量術講義	三
小磯油漬罐詰製造法	二四三	保柳陸美	都市景觀に關する二・三の問題	一六
トマトサーデン罐詰製造法	二四三			
北海道地質調査會	二六	<b>ホリホリ</b>		
北海道地質調査會報告	二六	堀 (織部正)	箱根丸御船出來形仕様書(共)	二五
北海道廳	八	堀 覺太郎	エレベーター	二五・二七
小樽港灣調査報文	八	堀 謙作	旋盤仕事(共)	一〇
小樽築港工事報文	八	堀 孝治	搬送波電信電話	二九・四一
北海道廳土木部	四	堀 紫朗	建築施工法	二七
土木事業執行規程	四	施工法	仕様書及工事監督者心得	二五・二七
北海道港灣概要	八	仕様書及工事監督者心得	二五・二七	
北海道廳函館支廳	八	堀 仲二	戰爭論	三三
函館港改良工事報文	八			
ボッシュ(獨)	七			
機械要素	七			
堀田蘇彌太	六			
自働索道運搬法	六			
		堀 宗一	朝鮮の糖業	二四
		堀 辻	土木施工法	七
		堀井啓次	鐵骨鐵筋建築工事現場の缺陷	二六
		鐵骨鐵筋建築構造解説並實例	(共)	二八
		堀内利器	香料及び其の應用	三八
		堀内利正	煖房及冷凍(共)	九・二六
		冷 凍		二六
		堀内文次郎	陸軍省沿革史(共)	三八
		堀江賢三	實驗鐵物界精義	一三
		堀江貞治郎	共電式電話	二八
		自働式電話交換		二八
		堀江清三	動力用汽罐取扱法(共)	九
		堀江長吉	電氣博覽會報告(編)	一〇
		堀江宏	小型カメラ	二〇・二四
		堀江不器雄	油脂工業(共)	三六
		堀岡正家	配 電	一〇・二五
		堀口貞雄	金屬及合金加工法	九・一三
		堀口甚吉	建築工學鐵骨構造	二八
		建築構造力學	建築土木材料學	二七
		鐵筋コンクリート建築構造	鐵骨家屋構造	二六
		鐵骨構造		三



堀口拾巳

現代オランダ建築

二六四

建築様式論叢(共編)

二六八

住宅双鐘居(編)

二五九

ホテル建築

二五二・六二

堀越三郎

住宅の合理化と研究問題片々 二五三・二六二

堀野正雄

舞臺寫眞の撮り方

二二・二三

堀場信吉

觸媒作用の理論

一五・一〇一

ボルトン

電氣經濟學

一〇六

ボレボイ(露)

露領樺太ニ於ケル石油調査書

一七九

ホワイトヘッド(英)

固體誘電體の破壊

二四

方 俊(民)

測量經緯度報告

一六〇

地圖投影

三九・一六〇

鮑 方(清)

輿地形勢論

三三

寶 鏡 會

國寶解説

二五九

紡織雜誌社

ステイフルファイバー講座

二六六

紡織要覽

二四

報知新聞經濟部

代用品物語

二六八

寶田石油株式會社臨時編纂部

寶田二十五年史

一七九

法隆寺國寶保存事業部

國寶建築造物食堂及細殿工事

二六二・六三

報告

國寶建造物東院禮堂及び東院鐘樓

二六二

修理工事報告(編)

二六二

國寶建造物東大門修理工事報告

二六二

國寶建造物法隆寺西四堂修理工

二六二

事報告

二六二

法隆寺國寶保存工事報告書

二六三

法隆寺東院に關する發掘調査

二六三

ボ ー ル(加)

砂糖精製法講話(共)

二四

ホー ルマン(獨)

超高周波工學

一四

貌朗度多(獨)

三兵答古知幾(共)

三三

ホ ン

本阿彌光遜

日本刀

三四

本郷弘作

近代兵學

三三

ホンジウス(蘭)

堂家典諸別之法國

二四

本庄伯郎

生還寫眞の寫し方

二二・二三

本城 巖

電球及真空管(共)

一五

本田喜一郎

熱量測定ニ關スル研究

六

本田次郎

建築法規(共)

二五・二九

本多勘一郎

發電所及原動機

二四

發電水力の經濟的利用

二三

本多侃士

氣體中の放電(共)

一〇・一四

高電壓現象

一〇・一三

電子とその作用(共)

一四

本多錦吉郎

茶室圖錄

二五九

本多熊太郎

軍縮會議と日本

三三

本多光太郎

鋼の焼入

一七

磁氣と物質

二三

磁性體に關する學說

二三

鐵及び鋼の研究

一八

本多二郎

事務所(共)

二五・二六〇

本多靜六

中等農林測量學教科書(編)

三六

農林測量學(編)

三六

本多利明 河 道	三	本間百里 尙古鏝色一覽(編)	三三	前田孝矩 實用便覽鑛業日誌(共編)	一四七	牧内武司 川路村水防史(共)	七
本多正道 クラブ建築	二五・二七九	本間不二男 構造地質學 構造地質學講話(譯) 信濃中郡地質誌	一五・一五 一五 一六	前田利一 自動車	六九・一〇三	槇尾 榮 簡易な無線電話 乾電池製作法と其の特性並に試験法	一四〇 一四〇 一四〇
本間旭也 一般工場に於ける機械据付法	二〇一	マエーマス		前田久雄 ケーオー無線資料真空管と其應用	一四	高氣壓狀態下に於ける蓄電池	一〇六・一〇七
本間順治 國寶刀劍圖譜(編)	三三三	前川幸一郎 繼電器工學 送電及配電 電力故障計算法 電力輸送(共) 配 電(共)	三七 一〇五・一〇五 三七 二二・二五 二二・二五	前橋俊一 波狀磨耗を通じて軌道磨耗を見る	六〇	高氣壓狀態下に於ける鉛蓄電池 極板容量變化 蓄電池ノ研究 船用蓄電池に就て	一〇六 一〇六 一〇七 一〇七
本間 仁 浦戸港々口の潮流に關する試験 (共)	四八・七四 四八・七三	前澤初治 土木建築材料検査及使用方法(共編)	二六五	牧 彦七 土木瑣談 道 路 路面及び勾配が馬車運送に及ぼす 影響に就ての研究	四〇・四二 四二 四二 四二	牧野雅樂之丞 道路工學	四〇・六二
横溢流堤流量試験(共)	四八・七四	前田滋樹 發電所及原動機(共補)	二四	牧 銳夫 インキ工業 コールドール工業 染料 料 染料及染色 爆發物及び毒瓦斯	一九・三三 一九・三三 三九 一九・三九 二四五	牧野善兵衛 歷代事實出所書目(補)	三〇四
河川彎曲部に於ける水流に就て	四八・七四	前田七之進 回轉變流機	二三				
下關海峽の潮流に關する模型 試験	四八・七四	前田松韻 近世住宅	二六二				
鐘口狀河口に於ける水流に就て	四八・七四						
新土壓計算圖表	四七・五一						
水 理 學	七二						
水理學提要	七二						
阻柱に關する試験	四七・六六						
田中村調節池溢流堤に關する 水理試験	四七・六六						
津浪の變形の理論	四七・七四						

牧野 喬	橋梁工學(共) 國道銕結銑桁橋標準設計案(共) 鋼橋設計法	四・六七 四・六九 六九	眞崎季隆(續)	常願寺川産砂に關する試験(共) ブロックに關する試験(共) 本邦産鋪裝用石材(共)	四 四 四七・五
牧野 正巳	競技場建築	二七九	間崎則實	土木設計ハンドブック	五
牧山 鶴彦	臺南州玉井油田調査報告(共) 高雄州恒春油田調査報告(共)	一七 一七	正田貞一郎	製粉工業	九・四三
横山 次郎	魚類・兩棲類・爬蟲類・鳥類 新第三系	一五 一五・一六	眞島卯太郎	架空索道の理論と其設計	六
マクドゥガル(英)	陸軍士官必携	三九	眞島健三郎	地震と建築	二七〇
正木 助三	旋盤工必携	一〇一	眞島正市	壓力測定法 應用物理學實驗(共) 應用物理學實驗法(編) 光彈性學と理研光彈性裝置(共) 船型試驗法 電氣物理實驗法(編) 粘性測定法	一〇・一〇 七 七 八 一〇 一三 一〇・八
眞崎季隆	工事用石材試驗成績(共) 石材類試驗成績(共)	四・五 四	升田 憲元	兵役稅論	三六
益田 森治	瓦斯電氣金屬銑接法	一八	眞住 衡平	發電水力	二三
増田 喜一郎	機械と計畫と設計 能率増進工場設備の計畫	九 二	眞隅 隆介	技術家用製圖要鑑(編) 土木製圖要覽(編) 發電水量	元 五 三
増田 淳	土木工學	四	増田 正文	グライダー	三〇〇
増田 八郎	溫室	二五・二六	松井 勇	獨逸を中心とした人文地理學の	二・三
待矢 場兩	堰普通水利組合 待矢場兩堰々史	九	松井 清足	歐米中央市場圖集(共)	二五八
町田 長作	朝鮮の金鑛(編)	一五	松井 邦寧	送信眞空管	一九・一四
増山 新平	日本建築時代樣式鑑識圖表 新時代の住宅設備	二六 二五	松井 元太郎	アルカリ工業 化學工業計算法 工場内測定と作業の自動化	一九・二〇 一九・一九 一九・一九

マキーマツ

松井元太郎(續)	二〇三	松浦春吉	一六・一七	松尾春雄(續)	四九・七四	眞繼義一郎	一七
接觸硫酸製造の概要	一九・〇三	鑄物の發達		利根川河口の防波堤・導流堤・		鑛床學提要	一七
無機酸工業	二〇・〇三	松浦久信	二五	航路浚渫及砂洲の消長に關		銅冶金術	一五
硫酸製造法	一九・〇三	匠家故實錄	二五	する模型試驗	四八・八〇	マックラックラン(英)	二
硫酸製造法(編)	一九・〇三	松尾哲太郎	元	阪神地方沿岸風水害調査報告	四八・八〇	擴聲器	二
		最近實用製圖便覽(編)	元	防波堤の安定に關する一試驗	四八・八〇		
松井光太郎	一八	松尾小三郎	二五	矢板擁壁の控版に作用する力	四八・八〇		
鐵及鋼	一八	航海術	二五	に關する試驗	四八・六	松崎福三郎	一八
松井元興	二〇	松尼春雄	二五	擁壁裏込の土壓輕減の效果に	四八・五	金屬工藝	一八
電解分析	二〇	浦戸港々口の潮流に關する試	四八・七	關する試驗	四八・五		
有機電氣化學	二〇	驗(共)	四八・七	擁壁の安定増大の一提案及之	四八・五	松下清夫	二七・二五
		松浦四郎	二九・三〇	に關する試驗	四八・五	冬のコンクリート(共譯)	二七・二五
		航空路・航空港・航空法規	二九・三〇	流速計檢定成績(共)	四八・七		
		松浦二郎	二九		四八・七	松下進	一五
		水銀蒸氣整流器	二九	松岡明義	三三	地史學總論	一五
		松浦進	二四	甲冑著用圖	三三	松下芳男	三〇
		酒精に關する調査報告書	二四	松岡久雄	一	日本軍事發達史(共)	三〇
		松浦武四郎	三三・三五	綜合工業概論	一	明治軍制史論集	三六
		海防策	三三・三五	マツカ—マツワ		松島剛	三六
		鹿角日誌	三三・三五	松川昌藏	二〇	兵役革新論	三六
		佐渡日誌	三三・三五	流體力學(共譯)	二〇	松島鐵也	二六
		東奥沿海日誌	三三・三五	松川雄三	一〇	木材工藝	二六
		林氏雜纂(編)	三三・三五	英獨和獨英和挿圖電氣工學辭典	一〇	松代松之助	二九
				(共編)	一〇	現時之無線電信	二九

松瀬勇雄	三〇	松平道夫	一六	松宮觀山	三〇	松村孫治	四七・五
汽力發電所	二五	最近趣味の化學工業界	一六	城制圖解(補)	三〇	基礎の沈下計算定法	四八・四六
送電回路の電氣特性(譯)	二五	松平義雄	三〇	天地圓德卷詳解	三〇	基礎版の基本的研究	四八・四六
電力制御裝置と配電盤(共)	二六	最近の航空機(共)	三〇	武學爲初入門說	三〇	地震動による土堰堤の變形	四七・六
マツダ照明學校	二四・六七	松永 工	五	武學答問書	三〇	自動車の路面に及ぼす衝擊に關する研究	四七・三
建築と照明	二四・六七	アーチ設計法(共)	五	北條流乙中甲傳秘訣	三四	彈性地盤上の圓形水槽(共)	四七・六
松田和 三	一〇	松永芳治	一八	松宮春一郎	三三	松村光雄	九七
仕上及組立仕事(共)	一〇	金屬の物理的性質	一八	海戰史論(共譯)	三三	最新水力學及水力機械	九七
松田 權六	二五・七七	松繩信太	六	松宮俊英	三六	松本秋男	二七
漆塗裝の雜作及家具	二五・七七	運輸法規及理論	六	武備日捷(校)	三六	電氣通信測定法	二七
松田竹太郎	九・〇〇	松野千勝	九	松村 瞭	一五	松本榮三郎	一四七
旋 盤	九・〇〇	機關車工學(共)	九	化石人類	一五	鐵山學(編)	一四七
松田秀任	三四	松野吉松	一五	周口店洞窟と最近發見の Sinanthropus に就て	一五	松本儀八	二六五
三將軍解	三七	工業比色化學分析	一五	人種及人種分布	一五	最新和洋住宅別莊建築法(共)	二六五
武者物語	三七	松前重義	一七	松村金助	五	松本駒次郎	一四七
武者物語之抄	三七	電氣通信概論(共)	一七	日本工業地帶の展望	五	鐵山學(譯)	一四七
松田泰彦	一四	無裝荷ケーブルによる長距離通信 方式の研究	一七	松村光亨	一三	松本 榮	四八・五
短波無線通信(共譯)	一四	松見三郎	八	機械工場精密測定法と其要具	一三	瀝青繼目材試驗成績(共)	四八・五
松平信興	三五	下水道及汚水處理法(共譯)	八	松村定雄	二二・元	瀝青鋪裝切取供試體の試驗結 果より見たるその性質の 比較(共)	四九・五
雜兵物語	三五			無線工學測定法(共)	二九・四〇		

松本 榮(續)	瀝青鋪裝切取試驗體の性質(共)	四七・六	松本胤親	獻芹微忠	三三	松本容吉(續)	水力學要綱	三三	眞鍋嘉一郎	電療電氣(共)	二〇・二五
瀝青乳劑の試驗成績より見たる品質の比較及其の晩近の趨勢に就て(共)	四九・五	松本楢治	計算尺の原理及び使用法(共編)	二六	松本容吉	水力學例題演習	七三	眞野安道	武具故傳(校)	三五	
アスファルトブロック試驗成績(共)	四六・六	松本彦七郎	陸前國登米郡南方村青島介塚調査報告	一五	松山基範	重力偏差計による地下探索法	一五・二六	眞野安代	武具故傳	三五	
〇市のアスファルト鋪裝に關する試驗	四六・六	陸前國桃生郡小野村川下り響介塚調査報告・同附圖	一五	松山芳治	金屬の物理的性質	元	眞野安代	武具故傳	三五		
各種アスファルト・ブロック比較試驗成績(共)	四六・六	松本顯雄	本邦製護設絶緣電線に關する調査資料	二三	松良正一	機械工作法	八九・一〇〇	馬淵精一	構造地質學	一五	
揮發油に對するアスファルトの可溶率に就て(共)	四六・五	松本正則	ブライアン及ジョンソン交流機(譯)	二三	松原 厚	數種の硫化鐵物及び酸化鐵物の化學的性質	一五・一六四	馬淵精一	新期岩層	一五	
混凝土鋸裝繼目川エラストイト試驗(共)	四七・五	松本安藏	航海表	二五	松原 厚	地球化學	一五	馬淵精一	間宮保三	ラテックス及其の工業	二六
松本純三	二〇・三三	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	電氣的地下探査法	一五・一六八	馬淵精一	丸毛 登	鑽石受信機(共)	一四・二
顔料・繪具及インキ(共)	二〇・三三	松本容吉	水力學	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
製版用冷エナメルの製造法(共)	二二	松本容吉	水力學及水力學機械設計	六〇・九七	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
松本 健	二二・三三	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
迅速寫眞仕上げ法	二二・三三	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
松本猛彦	二二	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
建築物關係法規圖解	二二	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
市街地及一般建築物關係法規	二二	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二
全書(編)	二二	松本容吉	往復機械の主要部分	六〇・六	松原 厚	的場 中	一四・二	馬淵精一	丸毛 登	放送無線電話	一四・二

丸澤常哉	一六・三七	〔滿洲國公主嶺〕農事試驗場 滿洲に於ける纖維作物	二三
バルフ及び紙 硫酸及硝酸製造法	二三	〔滿洲國〕財政部 滿洲國釀造業調査書	二四〇
丸善株式會社 精密工學 電信イロハ暗號	一〇一 一七	滿洲國產業部大臣官房資料科 綿布並に綿織物工業に關する 調査書	三四
マルチ	一三	滿洲國實業部臨時産業調査局 酒精に關する調査報告書	二四二
水銀整流器	一三	石鹼に關する調査報告書	三八
マルチン(米)	三九	メリヤス製品並にメリヤス工業に 關する調査書	二五
陸地戰例新選(譯)	三九	滿洲戰蹟保存會 明治三十七八年戰蹟記念寫眞帖	二六
株式會社丸紅商店京都支店 丸紅商店京都支店工事概要	二二	滿洲炭鑛株式會社 滿洲石炭事情	二三
丸山新藏 實用土木工學便覽	四	滿洲電業股份有限公司調査課 北滿鐵道沿線に於ける電氣事業 概況	二八
丸山 壽 變電所	二三・二六	滿洲輸入組合聯合會商業研究部 滿洲に於ける石鹼	三六
マ 一(米)	二六	滿洲に於ける染料	三〇
電 鐵	二六		

### ミウーミン

滿洲輸入組合聯合會商業研究部(續)	二三	滿洲に於ける電球	二五
滿洲に於ける磁器鐵器	二七		
三浦 寅吉	二二・三四	スボーツ寫眞攝影法	二五・二六
三浦 元秀	二五	理想的家の造り方 理想的住宅の間取	二五
三枝彦雄	二四	金屬内電子現象	二四
新電子論	二四	磁氣と電氣	二三
電氣磁氣學	二三		
三重縣工業試驗場	一五	三重縣工業試驗場業務功程	一五
三上新九郎	一〇一	孔明け及中ぐり仕事	一〇一
三上致之	三三	城制類聚	三三
水 戰 考	三三	築城要法	三五
三上知友	一五・一六	秋田縣仁賀保油田地形及地質 圖說(共)	一五・一六
建築架橋の解法	二六		
建築構造強度計算法	二六		
建築構造力學	二六		
三浦 尚史	二七		
單鉸拱橋模型試驗	二七		
單鉸拱の振動に關する理論及に 實驗	二七		
鋼 橋	二七		
橋梁工學	二七		
三浦 七郎	二七		
最新機織法	二七		
三浦 乾太郎	二七		
木材化學(共)	二七		
三浦 伊八郎	二七		
剛節構理論	二五		
建築・風景	二五		
三浦 耀	二五		

三上安美	滿洲の纖維工業	二三	三木榮三(續)	コイル・タール・ビッチ中の純瀝青に就て(共)	四・五	三雲次郎	石鹼及グリセリン 石鹼・脂肪酸・グリセリン及び蠟燭工業	二〇・三六 一九・三八	箕作洋輔	石炭液化と代用燃料(共)	三五
三川 一	最新探炭學	一七二	石油アスファルトとコイル・タール・ビッチとの混合物に關する試験(共)	四・五	三島徳七	金屬材料及其熱處理 高温高壓水素による耐蝕腐蝕の研究	九・七 一五・四六 二六・八三 八九・八三	水島三二郎	分子と電氣	二四	
探炭學		一七三	ソリディチット及ポルトランド・セメント(共)	二五・四六 四六・六四	炭素鋼 鐵と鋼	本邦に於ける製鋼平爐の形狀及び其大さ(共)	二・八三	水田信利	幕末に於ける我海軍と和蘭	三〇	
三木榮三	瀝青質材料及鋪裝 瀝青質材料の滲透性に關する試験 瀝青質材料の比粘度及容積膨脹係數並に其の滲透操作に對する關係(共)	四・五 四・五 四・五	八幡製鐵所副産部製品タール・ビッチ・スラッグ・ビッチ煉瓦試験成績(共)	四六・六四 四五・六四	三島泰雄	眼のあたり見た滿洲事變	二・八三	水田政吉	實用石油及アスファルト類試験法	一七九	
瀝青質材料の滲透性に關する試験		四・五	三木巳代吉	瀝青質材料及瀝青質混合物に關する研究	四五・五三	箕作阮甫	鷺毛筆餘	石 油		一七九	
瀝青質材料の比粘度及容積膨脹係數並に其の滲透操作に對する關係(共)		四・五	瀝青質材料の滲透性に關する試験		四・五	箕作元八	世界大戰史	水谷清重	科學的製パン工業	二四三	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五	三木吉平	實用自動車工學 自動車 自動車用機關(共) 自動車用機關故障及修理法	八九・〇三 八八・〇三 九五・〇四 九五・〇四	箕作新六	化學熱力學 化學化學 電氣化學	水谷 鑄	尾張治水史	四・七	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五	右田秀雄	接合劑	一〇一・一〇四	化學化學 電氣化學	二四七 二〇五	水野常吉	英獨和獨英和工業用語新辭典(編)	九	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五	三國庄次郎	海景寫眞の作り方	二二・二三	電氣化學	二〇五	水野敏之丞	電子及原子論大要	二四	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五				電氣化學	二〇五	電子ノ活動	電子論	二四	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五				電氣化學	二〇五	電波ト無線電信	無線電信電話論	二四	
瀝青質材料の滲透操作に對する關係(共)		四・五				電氣化學	二〇五	無線電信電話論		二四	



水野敏之丞(續)	無線電話大要	理論電氣學	三田民雄	消弧裝置(其)	二三・三七	密田良太郎(續)	其一 一般特性に就て(其)	二三	三菱電機株式會社	三菱電機總型錄	二九
水野行敏	蘭均氏土木學(譯)	四	三谷 徹	最新製絲學	二三	水銀整流器に依る脈動の弱電	流線への誘導障害並に其防止	一三	光村利藻	複寫の秘訣	二三・二三
水橋東作	短波無線通信(其譯)	二四	製絲祕術	製絲學	二三	方法に就て(其)	纖維質絕緣物に關する調査(其)	二三	南 英一	鐵物及び岩石の化學分析	一五・一六
無線工學の理論と實際(其譯)	二五	三田村鐘三郎	船舶噸數之辨(譯)		三三	電力輸送(其)	變電所	二〇・二六	人工鐵物		一五・一六
水原 旭	鐵筋鐵骨構造計算圖表と實例(其)	三	道田貞治	最新電話	二七	鋼道路橋の設計	光水一三男	充	南 省吾	一般構造(其)	二五
溝江 昇	流體力學と航空力學	二六	有線電話	二五・二六・二六	三橋四郎	大建築學	二九	二九	南 保賀	近世道路工學(譯)	三
溝上 銈	高周波(其譯)	二六	三井啓策	石炭液化	二〇・三五	本造洋館詳細雛形集(編)	和洋改良大建築學	二五	南川利雄	土木機械	五
無線工學の理論と實際(其譯)	二九	三井嗣善	機械減摩法	一〇	三菱重工株式會社名古屋	航空機製作所	一八	一八	南滿洲鐵道株式會社	鞍山製鐵所新設工事紀念寫真帖	一八
溝口好忠	立體圖學	三九・四〇	發動機燃料	三三	薄板電氣點熔接研究報告書	三菱航空機研究報告	二八	二八	土木協議會議事錄(其)		八三
溝口良吉	齒切機械及齒切法	八九・一〇〇・一〇三	滿田隆一	食養化學汎論	二四	三菱造船株式會社長崎造船所	職工課	二四	南滿洲鐵道株式會社技術研究所	技術研究所報告	三
ミタ―ミノ			密田良太郎	水銀整流器(其)	二〇・三三	三菱造船株式會社長崎造船所	職工課	二四	南滿洲鐵道株式會社經濟調查會	支那住宅志	二六
			水銀蒸氣整流器の試作研究と								

南滿洲鐵道株式會社經濟調查會〔續〕	二三六	南滿洲鐵道株式會社庶務部	二五	南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局	一八四	峰 彌太郎	二七九・二八五
獨逸に於ける油脂工業の現勢	二七	調查課〔續〕	二五	亞米利加合衆國製鐵業	一八四	現代小學校の建築と設備	
滿洲に於ける炭田並炭質調査	二五	滿洲の莫大小工業	二五	石炭ノ利用〔譯〕	一七三	峰尾芳男	
滿洲の鐵業	二五	滿洲油坊業の現勢調査資料	二九	本邦鐵鋼業の現勢	一八四	トーキ	一四六・一四
		遼河水運調査資料	二九	我國に於ける化學工業の發達	一八六	嶺田楓江	
南滿洲鐵道株式會社工務課	五	遼河の改修	二九			雅片戰志	三〇
安奉線改築工事記念寫眞帖	五	勞農露國の軍事	三〇	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所庶務課	一七三	窪田猪太郎	二六
南滿洲鐵道株式會社庶務部	二五	南滿洲鐵道株式會社地質調査所	一六	北滿之石炭〔譯〕		硝子製造法〔編〕	二六
露領極東の鐵產	二五	「アラスカ」及北米合衆國ニ於ケル	一六				
		砂金採取法調査報告	一六	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課	二八	ミハエリス〔獨〕	二四七
南滿洲鐵道株式會社庶務部	二五	南滿洲鐵產地及鐵產統計一覽	一五	北滿洲に於ける電氣業	二四	膠質化學概論	
調查課	二五	滿洲鐵產物分析試驗表	一五	北滿に於ける小麥と製粉工業	二五	三平 圓治	二九二
印度の黃麻工業と滿洲に於ける	二五	滿洲鐵物調査報告	一六	滿洲纖維亞麻作論	二五	市街地建築物法	
麻袋	二五	〔滿洲鐵物〕埋藏量一覽	一六			三平 文	二四
昭和四年滿洲油坊現勢	二七	滿洲地質及鐵產分布圖	一六	南滿洲鐵道株式會社撫順炭坑	一七三	絹精練・漂白・錫増量及其仕上	二四
バルブ工業に關する調査	二七	滿鐵地質調査所要覽	一六	炭鐵讀本	一七三	三村寅吉	二二・二三
奉天昭陵調査報告	二六	滿蒙及北支那ノ炭田	一七	撫順炭坑	一七三	夜景の寫し方	二二・二三
奉天昭陵圖譜	二六					宮内幸太郎	三三・三三
滿洲に於ける硝子工業	二七	南滿洲鐵道株式會社中央試驗所	一六			カーボン印畫法	三三・三三
滿洲に於ける高粱酒釀造業	二四〇	中央試驗所報告	一六	源 德修	三九・四一		
滿洲に於ける榨蠶製絲業	二四	南滿洲鐵道株式會社鐵道建設局	一六	擊劍叢談			
滿洲に於ける砂糖事情	二四	建設要覽	一六				
滿洲に於けるセメント工業と	二五	海克線・泰克線・拉訥線建設紀要	一六				
其の需給狀況	二五						
滿洲に於ける紡績業	二四						
滿洲に於ける燐寸工業	二四						
滿洲に於ける油坊業	二九	南滿洲鐵道株式會社鐵道部	一六				
滿洲の纖維工業	二九	運轉課	一六				
		エヤーブレーキ説明書	一六				

宮内良明	軍儀臨戰兵道之部	三三	三宅晴輝	電力コンツェルン讀本	三	宮下孝雄	裝飾構成之研究	二九	宮田保郎	電氣工業論	二八
宮川邦基	蒸氣罐及蒸氣機關設計	八・四	三宅福馬	電氣事業經濟論	三	宮島利七	壓延法	二・七	宮部直巳	山崩に關する文獻抄録	一七
宮川三一	一次及二次電池	二六	宮崎喜左右衛門	自動電壓調整器	二三	宮田應禮	電氣點火(共) 電氣點火故障及修理法(共)	九・六 九・六	宮部宏	電氣磁氣學(共)	二・三
宮城音五郎	渦卷ポンプ	九	宮崎縣	宮崎縣鑛物調査報告	二六	宮田敏	皇朝戰略編	三〇	宮本茂業	計器用變成器 消弧裝置(共)	一六・三 一三・三
機械學	機械學通論	六	宮崎謙三	建築藝術(譯)	二五	宮田聰	アブラハムベッカー理論電氣學 (譯)	二三	宮本武之輔	煙突及電柱	二九・七八
機械設計	近世機械學	九	宮崎虎一	鑛業	二四	宮田三郎	機壁紙文様集(編)	二九〇	河川工學	鋼矢板工法	五
工業力學	材料強弱學	一九・六	宮崎柳條	隄防溝洫志(訂)	七	宮田道雄	感光材料	二〇・三四 二〇・三四	混凝土及鐵筋混凝土	試驗報告	二六・九・五
材料力學	水力及水力機械	七	宮崎幸磨	石燈籠	二五	寫眞化學	寫眞材料	九・二〇	混凝土道路	災害讀本	二
水力學	流體力學	二・八	宮崎好文	蒸發	一九・九七	宮田彌治郎	冷凍冷蔵の話	二四	最新河川工學	材料及施工	五
宮城縣	水害豫防工事ニ關スル千頭知事	七							最新鐵筋コンクリート工學	鐵筋コンクリート	二九・三
三宅克巳	寫眞のうつし方	三二							治水工學		七

宮本忠平	日本家具圖案と製作法(共)	二九	三輪周藏	河川工法(共)	五	向井參之允	化學分析の理論と計算 電氣分析	一五 一八・二〇元	武藤俊之助	強磁性の量子理論	二四
宮本武藏	五輪の書	三四・三四	三輪時雄	英國六製鋼會社ニ於ケル鋼分析法 ニ關スル報告	一四	向井鹿松	石炭(共編) 銅(共編)	一三 一五	村井純之助	香料總論(共編) 樟腦(編)	三八 三七
兵法三十五箇條		三六・三四	三輪 寬	工業材料の管理 工業材料の購買	三 三	日本石油史(共編)	本邦産油の現在及將來(共編)	一七 三五	調香術(共編)	天然香料(共編) 薄荷油(編)	三八 三六 三七
宮本幸恵	彩色の研究と其取扱法	三〇	ミース(米)	寫眞の原理	三〇	向井哲吉	工業用鐵鋼材 最新簡易製鐵術 坩堝製鋼と電氣製鋼	一七 一八・一六	村井昌弘	神武迪精 單騎要略被甲辨 坩堝指南	三三・三四 三四〇 三五
三好彰三	リノリウム リノリウム及油布	三〇 三五	明 亮(清)	軍器則例(共)	三三	向山幹夫	金屬電氣材料と其の製造法 工業用電氣爐 最新工業電氣化學 電熱工業化學	二六 一六・二五 二五 一六	村井八藏	郵便切手の刷色堅牢度比較試驗 成績(共)	三三・三一
三好東一	簡易曹達木材バルブ製造法に 就て(共)	三七	ムウームー			武者金吉	航空の現状と將來(共)	二七	村尾 栄	水力發電所 電氣通論	二四 二二
三好 學	植物の分布 名所圖會解説	二八 二九	ムウンツインゲル(獨)	蒸氣原動力	六	武藤 清	家屋耐震並耐風構造(共) 矩形ラーメン及アーチ 建築構造力學(共)	二五・七〇 二五 二七	村上永治	鉛蓄電池陽極に於ける分極に就て	二〇・一〇八
ミラ ー(米)	ネオンサイン(共)	二五	向井元成	測量秘辭	五	建築物の震動	テルツァギの基礎工學	二五・七〇 二五・三五			

村上恵一

石灰・石膏・プラスチック類(共)

二四・一〇一・二二七

無機質化学工業材料(共)

一五・二四六

村上啓作

戦争要論(編)

三〇三

村上武次郎

耐酸耐蝕及耐熱合金

一六・一八

鉄鋼の顕微鏡組織

一八

特殊鋼(共)

一八

特殊鋼の組織

二六・一八

村上透

電鍍化学

一七〇

村上俊男

工業方面に於ける電子管の應用

一四四

(共譯)

村上英俊

佛蘭西答屈智幾(譯)

三六

村上元紀

近世道路工学

六

混凝土構造物防水工学

三

自動車道及道路舗装技術

四

村越(淡路守)

箱根丸御船出来形仕様書(共)

二四

村瀬英一

構造強弱學

二〇

村田治郎

滿洲回教寺建築史の研究

二七

滿洲建築

二五・二四

奉天昭陵調査報告

二四

村田正志

石津の合戦

三〇・三三

村田恒光

六分圓器量地手引草

一六

村田直景

談兵知要(共校)

三五

村田房一

膠質化学實驗法

二四七

村田文夫

西洋家作雛形(共譯)

二四

村田懋磨

最近海軍之趨勢(編)

三〇

村野爲次

應用水理學

四〇・七

村松繁樹

聚落

一五

日本地理學史

一五

村山賢一

秋田縣神宮寺油田地質及地形圖說明書

一五・一六

秋田縣矢島油田地形及地質圖說明書

一五・一六

秋田縣和田油田地質及地形圖說明書

一五・一七

新潟縣村上油田地質及地形圖說明書

一五・一七

村山茂

上田電氣機械工学(共)

一五・一六

電氣機械應用(共)

一六・一七

電氣機械檢査(共)

一六・一七

電氣機械設計(共)

一六・一七

電氣機械理論(共)

一六・一七

室賀徳次郎

測量便覽(共)

一四

室田久良三

店鋪の設計と裝飾

二四・二六

ムーア(米)

現代の海權爭霸

三三

メイ・メリ

明治専門學校

鐵及び鋼の研究

一八

明治二十七八年戰役統計

編纂委員

二六

明治二十七八年戰役統計

二六

明電舎

電氣機器仕様書の書き方

二六

瑪高溫(米)

金石識別(譯)

一八〇

航海金針(譯)

二五

目崎憲司

鐵鋼及石炭業に於ける企業組織

一八

目戸繁榮

最新電氣機械器具試驗法

二〇

實務電氣工学

二〇

メラン(獨)	七	望月重雄	二三	物部長穂(續)	五	森慶三郎(續)	八三
橋梁工學		高壓工學		土木耐震學	四七・七三	上水道詳論	七三
メリマン(米)	三	望月勝海	二五	背水曲線の一般的解法(共)		水工學	七三
衛生工學		地形發達史(共)		桃木武平	二九四	水理學理論及應用	七三
		持田軍十郎	六	日本船舶構造の變遷		水力學	七三
		砂防工法		百瀬泰次郎	七	測量師必携	七三
モカ―モリ		本木正榮	三三・三五	水工學叢書(編)	七	鐵筋混凝土橋梁及び樞構	七三
		海岸備要(譯)		測量必携實用曲線表	七・七三	鐵筋混凝土の理論と實際	四・三八
最上武雄	元	元良 勳	二五・二七	流水の測定(編)	七・七三	森 景鎮	三四・四一
フエッブル應用力学(譯)		意匠及裝飾論(共)	二四九・五三	森 岩太郎	三	劍法擊刺論	
最上徳内	三	建築論	六	農林地測量術		森 五六	三二
大測表解(譯)		大大阪橋梁選集(共編)	六	森 學機	三〇四	世界大戰史講話	
		茂庭忠次郎	四	古戦得失論		森 秀	一〇六
木材工藝學會	二六	下水學大意	四〇・四四	森 規矩	二七八	改正電氣工作物規程要旨	一〇六・二四
室内裝飾原色版圖集	三三	下水工學		塗裝工作法		水力發電所	
木材工藝		物部長穂	四〇・五三	森 慶三郎	七	森 周一	三五
		應用地震學		橋梁工學	八四	製 麻	
望月 要	二六・二七	北上川降開式轉動堰模型	四七・六	下 水道	八四	森 純正	二六
壓 延 法		試驗(共)		構造ノ理論ト設計	四三・五五	航空學(譯)	
		水 理 學	六	最新道路工學	八三	森 晋太郎	三〇七
望月小太郎	三三	世界橋梁寫真集(共編)	六	上 水道	八三	タイムス日露戰爭批評(譯)	
軍備制限と日米關係		地震に因る動水壓を考慮せる	四七・五				
		重力堰堤の斷面決定法					

森 忠藏

水力電氣(共)

二三

森 徹

木構造(共)

二五・三六

森 彦三

機關車工學(共)

五五

森 兵吾

交流理論

二三

森 元七

理論實驗酵素化學

三七

森 芳太郎

新しい寫眞畫の作り方

二三・三四

寫眞術講話

二二〇・二二

寫眞の原理(譯)

二二〇

撮映の理論と實際

二二・三四

### モリオ―モン

盛岡 勇夫

立體寫眞像

二五・三四

森川 清

實用アセチレン銲接法

一八

森口 多里

印度の文化と建築(共譯)

二六三

希臘の文化と建築(共編)

二六四

ゴシックの文化と建築(編)

二六四

ビザンチン文化と建築(共編)

二六四

表現主義建築圖集(編)

二七四

文化的住宅の研究(共)

二八四

ローマネスクの文化と建築(編)

二八四

森重 都山

合武三島流舟戰法要(編)

三三

森下 正信

地質學通論

二五四

守田 榮

騒音

一八

盛田 曉

帝國海軍之危機

三〇

森田 清

電氣物理超短波

二四

森田 慶一

ネトル―ネウスの建築論的研究

二四九

森田 重彦

電氣工學(共)

四〇・四五

森田 虎起

實用測量法講義

三三

測量法講義

三三

森谷 延雄

これからの室内裝飾

二八八

小きき室内美術(編)

二八九

森友 芳二郎

テレビジョンの原理と製作

一四三

森本 貫一

發生爐瓦斯試驗報告

一四四・三六・三七

森本 衆逸

護謨の研究(共)

二四七

森本 昂

連算スタヂア成果表(編)

二七

守屋 逸男

銑鐵の性質及び鑄造法

一六

守屋 物四郎

木材乾留法

三三

森安 靜太

硝子中の硼酸定量法に就て(共)

二六

森山 義一

航空發動機(共)

二九・九九

航空發動機理論

二九

森山 一二郎

絹絲紡績

二四

最新紡績原料論

二四

森山 藤吉郎

ゴム及エボナイト配合

二四七

森山 信規

米西戰爭

三二

森山 弘助

機織準備法

三三

最新綿絲紡績術

三三

糊調合と糊附機取扱法

三三

諸井 貫一

セメント

九・三四

諸戸 北郎

簡易測量學

三三・三

經緯距表(編)

三三

斜距離改算表

三三

砂防工學

三三

製圖の凡例及雛形(編)

三三

諸戸北郎〔續〕	六	八木龜助	三八	安江安吉	二九
線路運搬法〔編〕	四四	溢流堤下游洗掘防止に關する 一試驗	四八・七六	蘭領東印度に於ける電氣事業の 現況暨に將來	二九
測量學	四四	流速計檢定成績〔共〕	四九・七三	保岡勝也	二八三
測量家必携	四四	八木金藏	二四	最新住宅建築〔編〕	二八三
測量教科書	四四	發電所設計の經濟的要素〔譯〕	二四	住宅の重要設備	二八三
測量平均法	四四	八木憲一	二五・二六	小住宅の洋風裝飾	二八八
測量問答	四四	一般構造〔共〕	二五・二六	茶室と茶庭	二八八
諸戸砂防工學	四四	建築構造〔共〕	二五・二六	日本化したる洋風小住宅	二八八
歐羅巴諸國ニ於ケル野溪留工事	四四	煉瓦及石構造	二五・二六	安河内治一郎	二八八
調査復命書	四四	八木幸次郎	二五・二六	人物寫眞の寫し方	二八八
理水及砂防工學	四四	鐵筋コンクリート結構と耐震的 計算法	二五・二六	安河内鶴千代	二八八
諸橋秀策	四四	八木千之	二五・二六	鐵道工學講義〔編〕	二八八
戰略論〔共譯〕	四四	防海集說	二五・二六	安田一次	二八八
毛利貞齋	四四	海綠石	二五・二六	全流舟車之卷〔共編〕	二八八
通俗戰國策	四四	八木貞助	二五・二六	安田正鷹	二八八
文部省	四四	信濃鐵物誌	二五・二六	河水統制事業	二八八
歐洲戰爭寫眞帖	四四	八木秀次	二五・二六	安松長一	二八八
普通木工術	四四	無線遠隔操縱〔共〕	二五・二六	瓦斯事業の研究〔編〕	二八八
ヤイ―ヤヘ	四四			安村義一	二八八
矢板豐一	四四			滿洲の工業と其の資源〔編〕	二八八
機械工作法	四四				二八八



柳河春蔭	三三	矢野宗幹	二三・五三	山岡元一	八四	山縣昌夫	二四
海軍沿革論(共譯)	三〇	木材の害蟲		水道及下水道		船型試驗法	
寫眞鏡圖說(譯)	三〇	矢野常太郎	三〇	山鹿素行	三三・三五	山形縣	
楊基之進	三四	海軍軍政要覽	三〇	海備全策	三九	山形縣治水調査書	六
刪定紀效新書秘解(校)	三四	矢野道也	三二	孫子諺義	三〇	山形縣治水山林會	六
柳澤彰	三五・二〇	繪の具製造法	三三	武教小學	三〇	山形縣治水山林會報	六
倉庫	三五・二〇	油脂工業分析(編)	三六	武教全書	三〇	山形縣土木課	
柳原英一	三四	矢儀平一	三七	武教要錄	三〇	山形縣コンクリート試驗鋪裝工事報告	五
現代ノ電氣化學工業	三四	流量算定圖表	三七	武家事紀	三〇	山上八郎	三四
柳町政之助	三五	矢部長克		山鹿素水	三三	日本甲冑の新研究	三四
建築設備(共)	二六	北樺太亞港封鎖炭田南部に發達せる第三紀及白亜紀兩層の層序(共)	一五	海備芻言	三三	八卷彌一	二五
煖爐と換氣	二六	中・下部瑞穗統	一五	練兵說略抄錄	三三	電氣工学(共)	二五
我家の煖房	二六	日本近生代地層の對比(共)	一五	山鹿高恒	三〇	山岸龍二	二五
築瀬幸三郎	二五	日本洪積世氣候論	一五	武事提要	三〇	市街地建築物法規類集(編)	二五
自動車學(共)	二五	ヤマオ-ヤマタ		山方岩熊	二七	山際滿壽一	二七
矢野剛	二	山岡長則	二四〇	實用炭鐵電氣工学	二七	英獨和對照電氣工学術語辭典	二七
運河論	二	釀造甘味料	二四〇	山形甚吉	六	山口卯三郎	二四
矢野仁一	三〇	釀造設備と建築機械設計	二三八	小型發動機	六	電波傳播論(譯)	二四
アヘン戦争と香港	三〇	山岡包郎	三〇	ディーゼル・エンジン	六		
		應用彈性學(譯)	三〇	山縣有朋	三〇		
				軍人訓誡	三〇		

山口貫一 旋盤仕事(共) 刃物及其熱處理	二〇一 六九・八三	山口縣内務部電氣局 錦川發電事業誌	二三	山口義勝 鑛床學 探鑛學 試金術	二七 二六 一八〇	山崎長節 最新實地測量術	三五
山口儀三郎 建築構造學(共)	二六七	山口修一 蒸汽機關工學	六四	山越邦彦 格納庫 耐構學 冷藏庫	二五・二六 三三・三五 二五・二六	山崎利雄 水路と溜池(共)	九
山口古郎 選鑛學實驗法 粉 碎	一〇・一八〇 一九・一九七	山口順忠 平削盤・形削盤及堅削盤仕事	一〇一	山崎喜一郎 煙道瓦斯計(共) 煖房汽罐の操業調査(共) 東京市内主要建物の煖房事情(共) 物理的炭酸瓦斯計の機能試驗(共) Lancashire 汽罐の手焚試驗(共)	三八・三三〇 三三・三三六 二六・二六六 三三〇 三三・三三〇	山里尙行 發電水力之設計實例	二三
山口久左衛門 兵法水練全書	三二	山口昌三 タール水素添加	二〇一・二三	山崎喜一郎 煖房汽罐の操業調査(共) 東京市内主要建物の煖房事情(共) 物理的炭酸瓦斯計の機能試驗(共) Lancashire 汽罐の手焚試驗(共)	三八・三三〇 三三・三三六 二六・二六六 三三〇	山路信藏 硫化染料製造法(共)	三〇
山口桂次 金屬材料 金屬の物理的實驗法 寫眞機械 非鐵金屬材料	一七 一〇・一八一 九・三〇・三二四 三・八九	山口誠太郎 實驗有機化學	一九二	山崎鉦次郎 水理公式(編) 土木工學道路篇(譯)	三 三	山下脩式 淺深及掘鑿機械	七
山口謙次 火山噴出物概説	一五	山口鐵四郎 小型變壓器(譯)	一三〇	山崎靜太郎 建築論 製圖法	二五・二五二 二六・二五二	山下誠太郎 內燃機關	六
山口憲三 航空醫學(譯)	三〇〇	山口昇 應用力學ポケットブック 材料強弱及土壓論 土性力學	一九 二三 四〇・五〇	山崎靜太郎 建築論 製圖法	二五・二五二 二六・二五二	山下太作 普通規矩術	二五
山口縣總務部電氣局 山口縣管電氣事業十周年誌	二三	山口文之助 燃料・燃燒及潤滑油(共)	九五・三〇	山崎匡輔 鐵道工學(共)	五七	山下直一 土木應用力學 土木工事材料 土木工事施工法	五 五 五
山口縣管電氣事業十周年誌	二三	山口増人 船の常識	二五				

山下 壽郎	二五・三七	山田 幸五郎	一八	山田 櫻	二〇・三七	山田 元(續)	四七・六四
契約・仕様・積算		光學機械論		化學兵器		簡易鋪裝に關する實地比較試驗	
現場及其設備	二五・二八	寫眞光學	二〇・三四	山田 準	三九	(共)	
山下 弘一	二七	山田耕之助		孫子(共譯)		混凝土鋪裝の粗骨材別磨耗比較試驗(共)	四六・六五
ゴム製造化學		瀝青質材料の比粘度及容積膨脹係數前に其の滲透操作に對する關係(共)	四六・五三	山田 醇	二四九	砂利層の支持力に關する試驗(共)	四七・六五
山下 行雄	二六	アスファルト・タールの性質に及ぼす氣象作用の影響・特にその薄層の場合の性質變化(共)	四八・五三	家の建て方	二八二	砂利路面工の配合比に關する試驗(共)	四七・七四
電氣ローマンス		瓦斯爐及焦炭爐タール及ビッチに關する試驗成績(共)	四六・一九四	住宅建築の實際	二七三	施工方法による砂利路面工の耐力の比較試驗(共)	四八・六四
山下 芳雄		コイル・タール・ビッチ中の純瀝青に就て(共)	四六・五三	木造中流住宅模範設計圖		土の乾燥に伴ふ壓縮強さの變化	四八・六三
滿洲産タール・重油・中油及び重油に依るカット・バック・タール等の鋪裝材料としての性質(共)	四九・六六	混成タールの性質に及ぼす氣象作用の影響、特に薄層の場合に於ける性質變化(共)	四九・五三	山田 正平	二九・九六	土砂の安定強度試驗	四八・六三
山田 賀一	二七・八〇	石油アスファルトとコイル・タール・ビッチとの混合物に關する試驗(共)	四六・五三	燈 臺		土砂の安定強度に及ぼす加壓回數の影響	四八・五一
金屬礦物の選礦法		東京市瀝青質鋪裝試驗(共)	四六・五三	山田 德明	三〇六	ポルトランド・セメント混凝土鋪裝の磨耗試驗(共)	四八・五五
山田 邦三郎	一七	本邦鋪裝用タールの性質に就て(共)	四七・六七	征清戰史		山田 英雄	一六
木型と鑄造(共)		八幡製鐵所副産部製品タール・ビッチ・スラッグ・ビッチ煉瓦試驗成績(共)	四五・六四	山田 直平	一五	計算尺の使ひ方	
山田 邦彦	一八〇			ミラーフィニク・ネオンサイン(共譯)		山田 廣	二二六
吹管分析手引表				山田 元	四七・四八・五三	染色加工篇	
山田 顯義	三三			瀝青透入マカダムに關する試驗(共)		山田 復之助	一四七
建 白 書						鐵山の開發と經營	

山田 守	二五・六三	山中靜次	二五	山内市太郎	三	山ノ内 弘	八九・八七
ジードルング		建物保護法釋義		韓國木浦港附近干潟締切工事 調査書		厭延・引拔及押出し加工法	八八・〇〇
山田光雄	一〇・二五	山中節治	二六	山内伊平	三	機械工作法	二七・二六
X線分析法	八	文化生活と其の住宅		水力工事編		金屬材料	二七
溫度と其測定法(共)		山中秀男	六	山内寛一	七	金屬材料學	二七
金屬及合金とX線(共)	二六・八三	汽罐の設計	六	メラン橋梁工學(譯)	七	粘性大なる流體の絞り流れに 關する實驗	一九・二四六
結晶物理學	二七	實用機械製圖法	六	山内喜之助		建築法令	二五・二五二
山田良之助	二七	製圖の指針	六	基礎工學	五	山之内嘉兵衛	
金屬材料	二七・六	山中良樹	五	樋門・開門	九	山村清脩	二五・二五二
金屬材料の機械的性質	三	鐵道工學(共)		山内俊吉	五	綿紡式紡績篇	二五・二五二
材料試驗法	三・九	山梨高等工業學校	三	土木材料		山本 勇	二五・二五二
材料試驗法及試驗機	一〇・三	山梨高工研究報告		山内二郎		交流理論	二〇・三
材料試驗法附試驗機械		山根新次	二六	光電管・光電池・セレンセル	二四・四四	直流電氣機械實驗法	二〇・三
山田嘉久	九	內蒙古南東部礦物調査報文	二六	照明電燈及電熱(共)	二四・三六	電氣機械實驗法	二九
蒸汽機關		大阪市地質概觀	二六	照明用放電管	二五・四三	電氣磁氣學	二九
山田要吉	二〇	支那地史	二五	電燈照明	二〇・二五	無線電話の基本智識	二〇
工場用具論(譯)		東部內蒙古産業調査(共)	二五	電燈・晝光・照明工學	二五	山本 次	二五
山田陽清	七五・六	山野好恭	二七	山内不二雄	六・九五	規 矩 術	二五
河川及運河		常磐炭鐵誌(共)		船用機關		山本氏榮	二〇・一
發電水力	二三	山内一次	六・九三	機械製圖法(共)		武家拾要記抄錄	二〇・一
ヤマナ・ヤワ							

山本永之助 デァン化合物の水溶液中に於ける 分解速度に關する研究	二〇四	山本拙郎 和洋住宅設計の知識	二七三	山本貞吉 建築金物	二六六	山本洋一〔續〕 金屬の耐腐蝕性に就いて 金屬の腐蝕及防蝕	一八・二四六 二六・二八・二四六
山本 潔 土木工事仕樣設計實例〔編〕	五五	山本惣治 自動車	二〇三	山本 亨 歐米都市ニ於ケル鋪道及橋梁 調査報告書 歐米都市鋪道ノ技術的觀察	三六・六 三三	山本和七 瀨山電氣鐵道鋼索線	一四六
山本研一 石油及天然ガス	一九・二〇一	山本重吉 臺灣の工業用水分析試驗成績	三・三三	山本倍夫 商切仕事	一〇一・一〇一	山脇重顯 八陣圖說	三三一
山本嶽記 旋動齒輪機械	一〇〇	山本武藏 船 舶	二五三	山本信行 セメント及人造石	二五・一〇一	山脇正準 海防四百首	三三四・三五
山本五郎 金工萬國博覽會報告 電氣鐵道〔其〕	一八 二二・二五	山本忠興 家庭用電氣設備に就て 照明及電氣設備 テレビジョン〔其編〕	二五・二六 二五・二七 一四三	山本廣三郎 周波數變換機 紡織電化〔譯〕	二五・二三 一四三	八幡一郎 馬 具	三四
山本悟郎 誰にでも解る直ぐ役に立つ 建築の實際知識	二四九	電氣機械 電氣工學大意 電氣工學練習問題 電氣工業篇 變 壓 器	二二・二六 八・二五 一〇六・一〇 一八 二〇	山本 博 機械設計及製圖〔其〕	九	矢幡源三 電磁氣測定及測定器〔其〕	一七
山本實彦 支那事變	三〇三	山本達雄 密着印畫	二二・三四	山本峰雄 飛行 船	二六・一〇〇	ユー・ユン	
山本正一 溫度と其測定法〔其〕	一八	山本次男 工業力學	一	山本芳男 電弧銲接検査法	一		
山本祐徳 火藥・花火及マツチ	二〇一・二四			山本洋一 金屬材料及其の耐蝕性 金屬材料腐蝕試驗及防蝕法	二五・一〇〇 九・七	湯淺龜一 材料力學 水力機〔其〕	三・八 九七

湯淺得之	三五	ヨ—ヨシキ	横田清義	一八	横堀治三郎	一五
武器訓蒙圖彙			電弧銲接實習法(共)		銅冶金學	
山岐 一	二九	余 元 長(明)	横田成年	二五	横山 磐	二四
石油の話(共)	二九	武家設(訂)	造船學		門と垣	
本邦石油史	二九	與菴伽禮斯多夫并兒(蘭)	横田周平		横山 信	二七
ユシール(英)	二八	砲術基礎(譯)	江戸川河水統制水門下流洗掘に關する水理實驗(共)	四七	建築構造の知識	二七
測量器械取扱法		横井時冬	江戸川河水統制水門に於ける鹹水の侵入に關する實驗	四七	仕 様 書	二七
結城一郎		日本工業史	砂防堰堤の洗掘防止に關する水理實驗(共)	四七	横山壯次郎	
中國地方に於ける砂鐵製鍊法の史的研究(共)	一五	日本工業史對照圖(編)	勢力式に依る變斷面對稱長柱の挫屈荷重を求むる近似計算法	四九・五二	北海道「地質調査」礦物調査報文(共)	一六
有 終 會		日本工業史要	停止波に就て	四八・八〇	横山武一	一九・二七
海軍及海事要覽	三〇	横井寅雄	横濱高等工業學校建築科教室建築競技設計圖集	二三	高壓化學技術	二〇・二九
海軍要覽	三〇	實用機械法	横濱市役所	五	室素工業	
帝國海軍史要	三〇	横井素男	横濱水道誌	五	横山武人	八九・九
米國海軍の真相	三二	靜物寫眞の作り方(共)	横濱市水道第二擴張誌	五	實用力學	
有 生 會		横河橋梁製作所	横濱市水道第二擴張誌	五	横山辰次郎	七
精油の化學	三八	製作品寫眞帖	横濱正金銀行頭取席調査課米國航空工業に就いて	二九	最新隧道工學	七
燃 料	三八	横須賀海軍工廠			水 理 學	七
ユ—ンケ(獨)		横須賀海軍船廠史			横山文司	二〇
石炭ノ利用	二七				最新應用セメント工學	二〇

横山正次  
固體誘電體の破壊(譯)

二四

横山又次郎

自然地質學

一五

地質學教科書

一五

地質學概要

一五

地文礦物講話(共編)

一五

地文講話

一五

普通地質學講義

一五

横山盛彰

鉛蓄電池に對する有機物質の

影響に就て(共)

二〇六・二〇八

吉井豐藤丸

セメント回轉窯に關する一二の

化學工學的研究

二四五・二四六

吉江介三

壓力容器

九〇・九三

辨

九〇・九三

漏洩防止法

九〇・九三

吉岡藤作

耐火物

一九九・二〇六

燃料汎論

二八

吉川岩喜

坑氣調整學(共)

一七〇

吉川龜次郎

工業電氣化學

二〇五・二〇五

蓄電池及其取扱法

二七

吉川清作

現代の住宅

二六

吉川晴十

鍛造

九一・九六

電氣製鋼術

二〇・二六

熔解爐と熱處理爐(共)

二六・二八

吉川玉吉

化學機械の計算法

二五

化學機械の理論と實際

二五

吉川長之助

本邦主要工業要覽(編)

五

吉川速男

暗室の作り方

三三・三三

小型映畫の寫し方

三三・三四

吉木一朗

機械工學要項

六

吉本文平

窯業原料礦物(共)

一七〇・一七

### ヨシタ・ヨーセ

吉田五十穗

甜菜砂糖製造法(譯)

二四

吉田一保

和漢軍書要覽(編)

三〇三

吉田弟彦

應用地質學

一五

中立地帶鐵物調査報告

一五

南滿洲ニ於ケル鐵產地

一五

吉田 薫

高層架構の實用的解法

三

吉田 要

〔臺灣〕新竹州苗栗及竹東油田

二六

調査報告(共)

二六

〔臺灣〕臺南州小梅油田調査報告

二六

〔臺灣〕高雄州旗山部油田調査

二六

報告

二六

吉田 寛

輕工業

一

吉田寛一郎

京城府に於ける硝子工業の趨勢

二七

に就て

吉田享二

建築物の耐久性

二七

漆喰壁の知識

二五・二六

吉田庫三

武教全書講草(編)

三〇一

吉田三郎

橋梁工學講義

二七

吉田 潤

人物寫眞の急所

三二・三三

吉田松陰

西洋歩兵論

三九

孫子評註

三〇

武教講義

三〇

武教全書講草

三〇

武教全書講錄

三〇

吉田次郎

線引

二六・二七

吉田全三 建築工事仕様見積(共) 實地指導建築材料(編) 仕様見積(共)	二六 二六五 二七	吉田久義 最新内外鑛物圖說	一五	吉町太郎一 臺灣土木事業調查報告(編)	四	吉原鐵夫 應用自在工業便覽 見習から機械師になるまで	八 一〇一
吉田 晴 鑛石受信機(共)	一四	吉田宏彦 材料の力學的性質	三・三二	吉見 誠 木工具使用法及手入法	一〇三	代田豐太郎 川路村水防史(共)	七
吉田宅紹 城築準繩(共)	三四	吉田 貢 病院建築	二五・二六	吉村信吉 海洋學・湖沼學關係圖書・雜誌類 湖沼學 地域計測論 日本の湖沼の地方湖沼學的展望	一五 一六 一五	淀川左岸水害豫防組合 淀川左岸水害豫防組合誌	六
吉田徳次郎 鐵筋混凝土施工法 鐵筋コンクリート設計法 土壓及擁壁設計法	三〇 三〇 五	吉田彌七 コンクリート及び鐵筋コンクリート 汎論 鐵筋混凝土工學	二・元 二・元 二・四〇	吉村豐文 結晶投影圖法	一五	米澤 滋 ブラウン管と其の應用(共譯)	一四
吉田敏成 海衛妄言	三三・三五	吉田安三郎 伯林建築條例註解	二九	吉村萬治 最新燃料の知識 製鐵事業綱要 燃料の知識 米國に於ける鑛煙處理法(譯) 有用鑛物の産地及用途(共)	二八 二八 一八 一七 一六	米澤政治郎 郊外電氣鐵道 鐵道 電氣鐵道 米澤與三七 放送無線	一〇・一四 一五・一四
吉田友三郎 測量便覽	四	吉武榮之進 機械篇 染色法(共編) 捺染法(共編) 配色法(共編)	六 三〇 三〇 三三	吉村倫之助 水性瓦斯反應	一〇・一四	米田英夫 工業紡織(共)	三三
吉田東伍 利根治水論考	六	吉富 滋 軍事援護制度の實際	三三	良本正勝 コンクリート堰堤	六	米田文治 誰にもわかる實用實際的木材 着色塗料法 木材ニカワ貼合(マジ)木實施法	二二 二二 二六
吉田信武 社會と建築	一五〇・一五三	吉野信次 我國工業の合理化	六				



米田正文  
土と杭の工學(共)

四二

來特非爾(米)  
航海金針

二五五

米谷 稔

バルブ及製紙

二〇一・三七

ライナー(米)  
テレビジョン

一四二

米村鍵一

商車の計算法

九三

來 曼

北海道地質測量(圖)  
北海道地質總論

一六〇

米元晋一

汚水淨化裝置

二五・二六

羅 雅 谷(伊)  
測量全義

三三

米山梅吉

幕末西洋文化と沼津兵學校

三九

ラスキン(英)  
建築と繪畫

二五五

米山清三

電照養蠶

一三五

建築の七燈

二五

楊 鐘 健(民)

中國人類化石及新生代地質

一六〇・一六一

ラッ ク(米)  
動力

九

## ライーラン

ラドナー(米)  
短波無線通信

一四

ランキン(英)  
土木學

四

賴 俊一

汽罐設備(共)

九四・二三・三四

ラングスドルフ(米)  
直流機

一〇

## リーリメ

李 石 亨(朝鮮)  
歷代兵要(共編)

三三

李 騰 芳(明)

三七・三三

尉繚子(校)  
孫子(校)

三九・三三

リヴシツ  
電氣機械

二八

理化學研究所  
理化學研究所彙報

一三

力丸之光  
武學啓蒙

三〇一

武教錄(編)

三〇一

陸 世 儀(清)  
八陣發明

三一

陸 費 達(民)  
司馬法(校)

三八

陸軍科學研究所  
化學兵器寫真帖

三六

陸軍科學研究所報告

三八

陸軍技術本部高等官集會所  
軍事と技術

三三

陸軍軍醫團	三九	陸軍省醫務局	三八	陸地測量部	三六	笠敬	三六
陸軍衛生制度史		大日本帝國陸軍患者統計報告	三八	一等三角測量實行法	三七	日本始築怡土城址(編)	三六
陸軍經理學校研究部		陸軍省醫務局年報	三九	奧丹後半島復舊三等三角測量記事	三七	龍肅	三〇四・三〇五
防空建築	二七	陸軍省人事局	三八	關東震災地復舊測量記事	三七	源平の合戰	三〇四・三〇五
陸軍航空本部		陸軍共濟組合事業成績	三八	三角及水準測量成果摘要	三七	前九年後三年の兩役	三〇四・三〇五
航空事情	二九七	陸軍省新聞班	三三	三四等三角測量實行法	三七	保元平治の兩亂	三〇四・三〇五
獨國防空團(譯)	三五	陸軍軍備の充實と其精神	三三	實體寫眞測量ノ研究	三七	劉寅(明)	三〇四・三〇五
獨國民間防空(譯)	三五	陸軍省整備局	三八	大地測量法式	三七	尉繚子直解	三〇六・三〇七
陸軍主計團		陸軍共濟組合事業成績	三八	地形測量實行法	三七	三略直解	三〇六・三〇七
糧食に關する研究	三八	陸軍省糧秣本廠	三八	日露戰役寫眞帖	三七	司馬法直解	三〇六・三〇七
陸軍省		日本兵食史	三八	二等三角測量實行法	三七	李衛公問對直解	三〇六・三〇七
英國六製鋼會社ニ於ケル鋼分析法	一八四	陸軍大臣官房副官部	三八	陸地測量部沿革誌	三七	六韜直解	三〇六・三〇七
ニ關スル報告	一八四	陸軍省統計年表	三八	陸地測量部寫眞帖	三七	劉致平(民)	三〇六・三〇七
韓國平壤三登及砂里院附近石炭	一七三	陸軍省統計年表	三八	陸地測量部年報	三七	建築設計參考圖集(共編)	二七
調査報告	一七三	陸軍省統計年表	三八	陸地測量部年報抄錄	三七	外檐裝修(共編)	二六九・二七〇
軍制綱領	三六	陸軍文庫	三七	理想社	三〇三	雀替駝峯隔架(共編)	二六九・二七〇
交戰諸國ノ陸軍ニ就テ	三八	日本兵器沿革誌	三六	戰爭論	三〇三	石欄干(共編)	二六九・二七〇
帝國陸軍概要	三八	日本兵制沿革史	三六	利瑪竇(伊)	三五	藻井天花(共編)	二六九・二七〇
兵器保存要領	三〇七	陸軍兵學寮	三九	測量法義(譯)	三五	臺基(共編)	二六九・二七〇
明治三十七八年戰役檢校誌	三〇七	陸軍日典	三九			柱礎(共編)	二六九・二七〇
明治三十七八年戰役俘虜取扱顛末	三〇七	陸軍步兵學校	三九			店面(共編)	二六九・二七〇
明治三十七八年戰役陸軍衛生史	三〇七	小部隊の戰例	三九				
陸軍醫事統計	三九						
臨時陸軍檢校部報告摘要	三九						

劉致平(續)	二六・七三
斗拱(共編)	二六・七三
琉璃瓦(共編)	二六・七三
劉敦楨(民)	二六
大同古建筑調查報告(共)	二六
リューデンベルヒ(獨)	二五
過渡現象論	二五
旅順工科大学	三
旅順工科大学彙報	三
旅順工科大学報告	三
梁思成(民)	二五
雲岡石窟中所表現的北魏建築(共)	二五
營造算例	二五・二六
外檐裝修(共編)	二五・二六
建築設計參考圖集(共編)	二五
雀替駝峯隔架(共編)	二五・二六
清式營造則例	二五
石欄干(共編)	二五・二六
藻井天花(共編)	二五・二六
臺基(共編)	二五・二六
大同古建筑調查報告(共)	二五
柱礎(共編)	二五・二六
店面(共編)	二五・二六
斗拱(共編)	二五・二六
琉璃瓦(共編)	二五・二六

麟慶(清)	五
河工器具圖說(編)	五
臨時議院建築局	二六
本邦產建築石材	二六
本邦產主要建築石材琢磨效果圖	二六
臨時產業調查局	二七
海外礦物調查報告	二七
機械工業ニ關スル統計表	二七
時局の影響を受けたる本邦化學工業	二六
時局の機械工業に及ぼしたる影響	二七
滿蒙及支那ニ於ケル鐵山調查摘要	二五
露國黑龍江洲及黑龍江沿岸地方ニ於ケル鐵山業	二五
露國黑龍江洲管區ニ於ケル鐵山業	二五
臨時製鐵事業調查委員會	二七
釜石附近鐵礦床地質調查報文	二七
臨時臺灣總督府工事部	四
臺灣總督府土木部第三年報	四
臨時室素研究所	二六
臨時室素研究所報告	二六

臨時葉煙草取扱所建築部	二六
臨時葉煙草取扱所建築部建築一班	二六
臨時發電水力調查局	二三
發電水力事業概覽	二三
發電水力調查書	二三
黎特(米)	二五
航海金針(共補)	二五
レザル(佛)	二五
土壓論	二五
レナール(佛)	二六
航空學	二六
レング(米)	二九
兵士懷中便覽	二九

呂社(宋)	三三
東南防守利便	三三
呂望(周)	三三
六所文三	三三
木材の糖化及利用(共)	三三
錄草會	二四
民家圖集	二四
ロザンベルク(佛)	二八
金屬の銲接及切斷法	二八
ロシア問題研究所	三三
英米建艦競争(譯)	三三
ロゾヴスキー(露)	三三
軍事科學とストライキ	三三
六角英通	三七
異常電壓と送電系統の防護	三七
六角兵吉	二六
〔臺灣〕臺南州嘉義油田調查報告	二六
〔臺灣〕臺南州玉井油田調查報告	二六

六角兵吉〔續〕 〔臺灣〕高雄州恒春油田調査報告 (共)	二六	若杉松三郎 保温材の理論及實際	二六	別宮貞俊 送電 對稱座標法解説	二〇・二五 二六	早稻田大學理工學部 早稻田大學理工學部紀要	二
ロッフ(米) 水力發動所	二四	若林勝村 古代の馬具	三三	和佐田金義 汽罐設備(共)	九四・三三・三四	早稻田大學理工科建築學教室 建築工事實施例	二七
ロース(米) 電氣測定法	二七	若林金五郎 燃料試驗法及石炭購買法	三三	和島藤助 保護繼電器(共)	二八	早稻田電氣工學會 早稻田大學電氣工學研究論文	二〇
ローマイヤ(獨) 基礎工		若林與左衛門 釀造論文集(編)	三九	和碩果親王(清) 工程做法(共編)	二七	早稻田電氣工學會雜誌	二〇
ローラン(佛) 地質學	一五	若松雅太郎 琵琶湖疏水要誌	三	早稻田應用化學會 早稻田應用化學會報	一九	和田篤憲 近世道路史論	四〇・三
ローレンス(米) 交流機	二二	若目田利助 英米に於ける電話事業 英和對譯電氣用語集 電氣及磁氣 電氣事業技術者用電話學 電燈及電氣鐵道 電話機及電話交換	二八 二九 一〇六 一一 一七 一六・一五 一八	早稻田大學 日露戰役史 早稻田大學建築學科住宅研究室 近代西洋住宅設計資料	三〇 三〇 三三	和田維四郎 金石識別表 日本鑛物誌 本邦鑛物標本	一〇 一五・一六 一六
ワイーワタセ		和歌山高等商業學校產業研究部 和歌山綿ネル業研究	二四	早稻田大學建築學教室建築史 裝飾美術研究室 建築史・裝飾美術參考圖集	三三 三三 三三	和田重暢 演算子法及其應用 化學工學及化學機械(共) 最新電氣機械器具	一六 二四 二六
ワインバッハ(米) 電話傳送學	二七	脇水鐵五郎 鑛物教科書 新式小鑛物學	一三 一四	早稻田大學出版部 電氣工學豫備講義 早稻田電氣工學講義	二二 二二 二二	和田錄治 製藥化學粹(編)	二四
若尾璋八 明治大正電氣事業發達小史	三三						

渡瀬完三  
硫 安

二四八

渡瀬 要

二五・七一

渡瀬正三郎

白金 鑛

一五

渡瀬 貫

開通せる清水隧道と地質問題

一五

セメント注入(共)

二五

地質現象の新解析法

一五

地質工學

一五

地質工學(共)

一五

鐵道省土質調査委員會の設立

一五

上壓論(譯)

五

土木地質學

五・五・二五

物理地下探査法

一六

六九・二九  
三九

渡部 一郎

航空發動機

陸軍士官必携(譯)

渡邊幾治郎

明治天皇と軍事

三〇二

渡邊以親

町見術阿弧丹度用法略圖說

三五

渡邊 一郎

瓦斯發生爐(共)

三八

乾餾筒を有する瓦斯發生爐試驗

報告(共)

二九

石炭完全瓦斯化試驗(共)

二九

石炭の完全瓦斯化及び其の方式

(共)

二八

渡邊 洪貢

山城國從水車之圖  
山城國從天守之圖

欠  
三元

渡邊 剛亮

鐵道曲線設置法(編)

五

渡邊 定男

引伸印畫法

二二・二四

渡邊 周

綿絲紡績

二五

渡邊 十千郎

鑛山物語

一八

渡邊 俊平

歷電氣實體法

九・二三・三三

渡邊 正三郎

白金 鑛

一五

渡邊 四郎

人造石油と原料石炭

三五

渡邊 靜

鐵骨構造施工指針(共)

三・五三

渡邊 節

日本興業銀行建築概要(編)

二六〇

渡邊 卓郎

アセチレン誘導體

二〇一・二四

渡邊 貞助

天然瓦斯鑛業

一九〇

渡邊 定靜

慣 機 論

三三

渡邊 俊雄

齋藤大吉先生還曆記念論文集(編)

二

渡邊 虎一

大島盈株氏遺作日本建築圖集

二五四

渡邊 寅次郎

ディーゼル機關

九七

渡邊 久夫

外線工事

二七

渡邊 秀幸

測量便覽(共)

三四

渡邊萬次郎

銀

一六四

金鑛と金鑛床

一六七

金屬礦物と其產狀

一六五・一六六

鑛物と岩石

一六三

接觸鑛床論

一七〇・一七一

テテル金銀鑛の研究

一六五

渡邊全太郎

實用測量學(共)

三

渡邊 裕

清國內蒙古喀喇沁王部鑛業調査

報文(共)

一五二

渡邊義雄

建造物の撮影法

二二・二三

渡邊義勝

圖式及び圖計算

元

渡邊世祐

嚴島合戦

二〇四・二〇五

長篠の戦

二〇四・二〇五

渡邊 渡

尾去澤鑛山ニ關スル調査報告

一五〇

鑛床學大意

一七

渡邊 渡〔續〕

試金術特論

一八〇

試金術汎論

一八〇

別子銅山熔鑛爐付屬煙道排氣法

一七〇

試驗報告書

一七〇

冶金學(共編)

一八〇

綿貫勇彦

シレジャの農村居住形態に關する

一九九

シュニガの研究

一九九

地理學方法論

一九六

渡 六之助

法普戰爭誌略(譯)

三二

ワ ッ ト(英)

ブラウン管と其の應用

一四五

ワット誕生二百年記念會

日本蒸汽工業發達史

九三

昭和十六年九月二十日印刷  
昭和十六年九月二十五日發行

非賣品

編纂兼  
發行者

京都帝國大學附屬圖書館

印刷者

京都市中京區柳馬場通三條南入  
福井松之助

印刷所

京都市中京區柳馬場通三條南入  
株式會社 似玉堂